

FTP2166000EQ
FTP-POS
POSPrinter OPOS コントロール
機能仕様書

第 6 版
2024 年 6 月 12 日

FCL コンポーネント株式会社

FTP2166000EQ
FTP-POS
POSPrinter OPOS コントロール機能仕様書

目次

1. 概説	4
1. 1. 本ドキュメント対象範囲	4
1. 2. OPOS コントロール概要	5
1. 3. 制限事項	7
1. 4. ご注意	7
1. 5. 商標	8
2. OPOS コントロールのインストール方法	9
2. 1. インストール条件	9
2. 2. 対応プリンタ	9
2. 3. インストール媒体	11
2. 4. インストール手順	12
2. 5. アンインストール手順	15
2. 6. インストールファイル一覧	17
3. OPOS コントロールの使用方法	18
3. 1. 共通	18
3. 2. POS プリンタ	18
3. 3. OPOS コントロール実装方法	19
4. OPOS インターフェース仕様 (プリンタ)	24
4. 1. 一覧	24
4. 2. 印字データとエスケープシーケンス	30
4. 3. 共通プロパティ	34
4. 4. 共通メソッド	44
4. 5. 専用プロパティ	58
4. 6. 専用メソッド	75
4. 7. イベント	106
5. ログファイル出力	110
6. プリンタ仕様	112
6. 1. FTP-627DSL440	112
6. 2. FTP-629DSL310	115
6. 3. FTP-629DSL350	118
6. 4. FTP-839DSL310	121
6. 5. FTP-62GDSDL000	124
6. 6. FTP-63GDSDL483/FTP-83GDSDL483	128
6. 7. FTP-62HWSL001	131
6. 8. FTP-62HDSL100	134

6. 9. FTP-62EDSL200.....	137
7. POS for .NET	140
7. 1. インストール	140
7. 2. 注意事項.....	141
7. 3. OPOS との相違.....	142
8. オープンソースソフトウェア	150
8. 1. OPOS Common Control Objects.....	150
8. 2. Apache License Version 2.0.....	151
9. 修正履歴.....	154
10. ドライバ変更履歴.....	155

1. 概説

FTP-POS POSPrinter OPOS コントロールは、FCL コンポーネント社製 POS プリンタを制御する、OPOS 1.9 POSPrinter 準拠の OPOS コントロールです。FTP2166000EQ の利用にあたっては、「OLE for Retail POS Application Programmer's Guide 日本版仕様書 第 1.9 版」(OPOS-APG V1.9)も併せて参照ください。

なお、本書では、「OPOS コントロール」と「OPOS OCX」という表現を同じ意味で使用しています。

本 OPOS コントロールを使用して POS for .NET アプリケーションを開発することも可能です。詳細は [POS for .NET](#) を参照して下さい。

1. 1. 本ドキュメント対象範囲

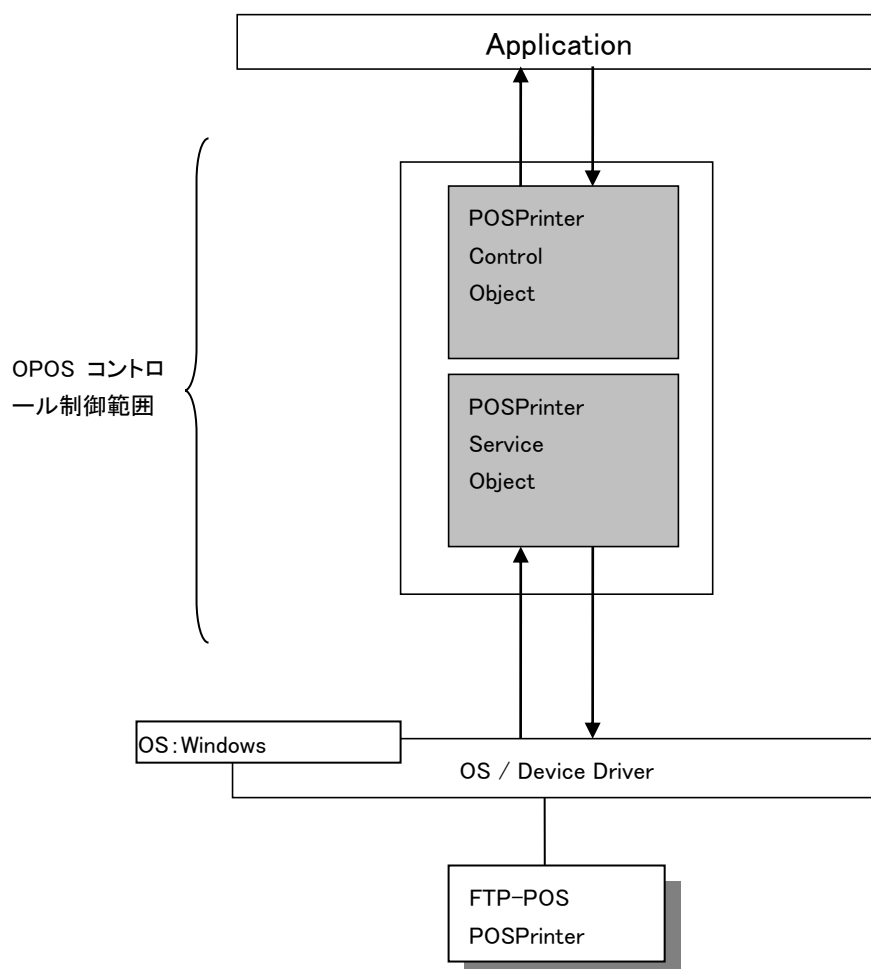
本仕様書では、FTP-POS POSPrinter OPOSコントロールを使用するアプリケーション開発者が主に参照することを目的とし、その為に必要な以下の内容を記述しています。

- ・ OPOS コントロールのインストール方法
- ・ OPOS コントロールの使用方法
- ・ OPOS コントロールの制限事項
- ・ OPOS コントロールのインターフェース仕様(プリンタ)
- ・ ログファイル出力

1. 2. OPOS コントロール概要

1. 2. 1. OPOS コントロール構造図

本 OPOS コントロールは ActiveX コントロール仕様に準拠します。プロパティ、メソッド、イベントをアプリケーションに提供します。コントロールはアプリケーションの実行時には UI 上には見えず、それを使用するアプリケーションだけが、メソッドおよびプロパティを通じて処理要求を行います。アプリケーションは、メソッドの戻り値とパラメーター、プロパティ、イベントを通じて、処理結果を受け取ります。本 OPOS コントロールはインプロセスサーバとして実装されています。本 OPOS コントロールが制御可能なのは、**POS(PC)に接続された1台の POS プリンタ**となります。



1. 2. 2. 用語

①コントロールオブジェクト(Control Object ; CO)

デバイスクラスごとに、プロパティ、メソッド、イベントのセットをアプリケーションに提供するものです。本ドキュメントではこれらの API について説明します。

②サービスオブジェクト(Service Object ; SO)

コントロールオブジェクトより呼び出され OPOS が規定する機能を、各デバイス向けに実行するものです。

1. 3. 制限事項

以下の制限事項が存在します。

1. 3. 1. POS プリンタ

【OPOS 仕様上の制限】

OPOS POS プリンタデバイスの全てのインターフェースが提供されますが、以下の制限があります。

- ① ジャーナル印刷とジャーナルに関するプロパティ設定はサポートしません。
- ② スリップ印刷とスリップに関するプロパティ設定はサポートしません。
- ③ イタリック、カスタムカラー、網掛け印刷、カートリッジ機能はサポートしません。
- ④ レシート印刷の文字フォントの変更はサポートしません。(印字フォント変更)
- ⑤ 以下のメソッドは、イネーブル後はいずれも必ず OPOS_E_ILLEGAL(106)を返します。
PrintTwoNormal メソッド
BeginInsertion メソッド
EndInsertion メソッド
BeginRemoval メソッド
EndRemoval メソッド
ChangePrintSide メソッド
ClearPrintArea メソッド
PageModePrint メソッド
ResetStatistics メソッド
RetrieveStatistics メソッド
UpdateStatistics メソッド
- ⑥ RS-232C 接続時のみ、電源オフもしくは未接続後に発生したエラーを電源オンもしくは接続時に通知します。
- ⑦ 上記以外の機能についても、プリンタによってはサポートしていない場合があります。[プリンタ仕様](#)を参照して下さい。

1. 3. 2. 共通の制限事項

本 OPOS コントロールはシングルスレッドアパートメント(STA)モデルで動作しており、OPOS コントロールへの呼出しは、プロセス内の 1 つのスレッド(通常はアプリケーションのメインスレッド)から行う必要があります。

本 OPOS コントロールは複数のセッション(ユーザー)による同時使用はサポートしておりません。複数のセッションからメソッドやプロパティにアクセスする場合、予期せぬ結果が発生する可能性があります。

本 OPOS コントロールは同時に 1 台の POS プリンタのみ制御可能です。

当社 OPOS は CCO をサポートしていません。

1. 4. ご注意

- 1) 本書の内容は予告無く変更する場合があります。
- 2) 本書の一部あるいは全部を無断で複写・複製・転載することは、固くお断りします。
- 3) 本書および本書に記載された製品の利用に起因するいかなる損害に対しても、当社は責任を負うものではありません。

1. 5. 商標

Windows®、Visual Studio®、Visual C++®、Visual Basic®、ActiveX®は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Windows の正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。

QRコード®は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、FCL コンポーネント株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

Bluetooth®は、米国 Bluetooth SIG, INC.の米国ならびにその他の国における商標または登録商標です。

Wi-Fi®は、Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。

本書に記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

2. OPOS コントロールのインストール方法

FTP-POS POSPrinter OPOS コントロールのインストールは下記手順で行います。

2. 1. インストール条件

■ 動作環境

- ・OS : Microsoft Windows 7 / 8.1 / 10 / 11 32bit / 64bit (WOW64 のみ)オペレーティングシステム
 - ・CPU : 各オペレーティングシステムの推奨値に従ってください。
 - ・RAM : 各オペレーティングシステムの推奨値に従ってください。
 - ・HDD : 15MB 以上の空き領域
- インストールには管理者権限が必要です。

2. 2. 対応プリンタ

	インターフェース				備考
	USB-COM	RS-232C	Bluetooth SPP	Wi-Fi	
FTP-627DSL440	✓	✓			設定ツールのプリンタモデルで"FTP-627DSL440"を選択して下さい。
FTP-629DSL310	✓	✓			設定ツールのプリンタモデルで"FTP-629DSL310"を選択して下さい。
FTP-629DSL350 FTP-639USL100 FTP-639USL200	✓	✓			設定ツールのプリンタモデルで"FTP-629DSL350"を選択して下さい。
FTP-839DSL310	✓	✓			設定ツールのプリンタモデルで"FTP-839DSL310"を選択して下さい。
FTP-62GDSL000 FTP-62GDSL100 FTP-62GDSL110 FTP-62GDSL120 FTP-62GUSL000 FTP-62GUSL070 FTP-62GUSL100 FTP-63GUSL000 FTP-63GUSL070 FTP-64GDSL130	✓	✓			設定ツールのプリンタモデルで"FTP-62GDSL000"を選択して下さい。
FTP-63GDSL483	✓	✓			設定ツールのプリンタモデルで"FTP-63GDSL483"を選択して下さい。

FTP2166000EQ

FTP-POS

POSPrinter OPOS コントロール機能仕様書

FTP-83GDSL483	✓	✓			設定ツールのプリンタモデルで”FTP-83GDSL483”を選択して下さい。
FTP-62HWSL001	✓		✓		設定ツールのプリンタモデルで”FTP-62HWSL001”を選択して下さい。
FTP-62HDSL100		✓			設定ツールのプリンタモデルで”FTP-62HDSL100”を選択して下さい。
FTP-62EDSL200	✓	✓			設定ツールのプリンタモデルで”FTP-62EDSL200”を選択して下さい。

RS-232Cの場合、プリンタのフロー制御をハードウェア、パリティをなしに設定して下さい。

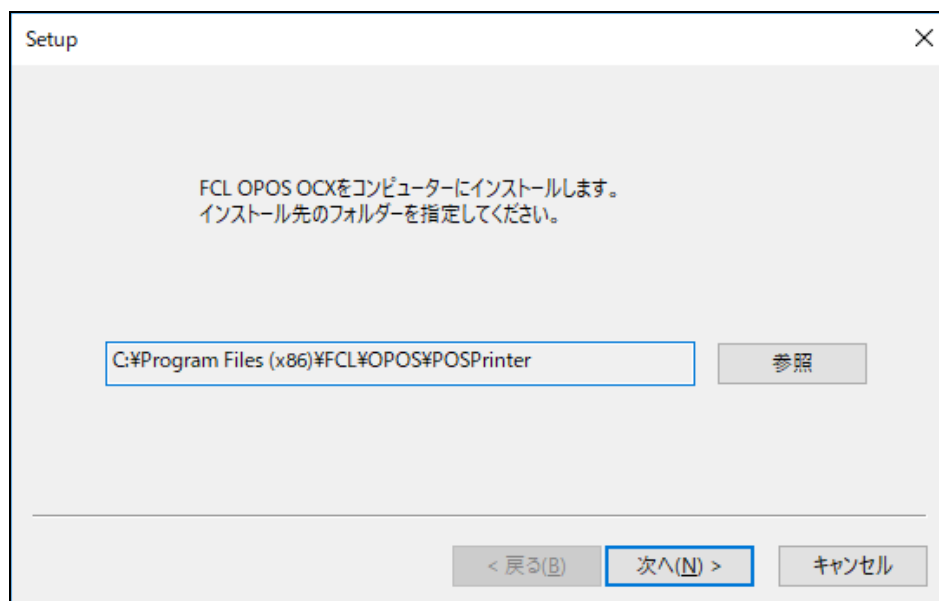
2. 3. インストール媒体

本製品は圧縮形式で配布されます。
展開したファイルの構成は以下のようになります。

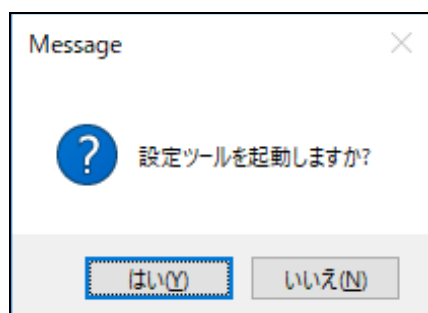
```
FTP2166000EQ_FTP-POS_OPOSVxxx
  OPOSInstaller.exe
  FTPOCXConfig.exe
  FTPOSPrinterCO.ocx
  FTPOSPrinterSO.dll
  AddReg.reg
  AddReg64.reg
  Install.cmd
  Uninstall.cmd
  OPOS_Sample forVB Vxxxx.zip
  OPOS_Sample forVCSharp Vxxxx.zip
  POSforDotNETPluginX64.msi
  ¥include
```

2. 4. インストール手順

1. “FTP2166000EQ_FTP-POS_OPOSVxxx”フォルダー内の OPOSInstaller.exe をダブルクリックします。
[ユーザーアカウント制御]ダイアログが表示された場合、[はい]をクリックしてください。
2. インストールが開始されます。デフォルトのインストールフォルダーは、
32bit: [システムドライブ] :%Program Files%FCL%OPOS%POSPrinter
64bit: [システムドライブ] :%Program Files (x86)%FCL%OPOS%POSPrinter
となっています。



3. インストール場所を選択し、インストール完了後、下記のダイアログが表示されます。[はい]を選択すると、POS プリンタの設定変更を行う設定ツールを起動します。



4. 設定ツールは下記の画面で構成されます。

設定値	意味
プリンタモデル	プリンタモデルを選択します。
通信ポート	POS プリンタが接続されるシリアルポート(COM1～COM9)を設定します。 COM10 以降を指定する場合、“COM10”のように直接入力してください。プレフィックス(“¥¥¥”)は不要です。
接続方法	POS(PC)に接続されている POS プリンタの接続方法を選択します。
ボーレート	通信速度(bps)を設定します。 RS-232C 接続以外の場合、指定不要です。
印字幅	ご使用のプリンタに合わせて設定します。
用紙タイプ	用紙タイプを選択します。 指定可能なタイプはプリンタによって異なります。 プリンタ仕様 を参照して下さい。
自動分割	自動分割印字を指定します。 詳細は各プリンタのコマンド仕様書もしくは製品仕様書の GS E コマンドを参照して下さい。
エネルギー	エネルギーを調整します。 調整を行う場合、各プリンタのコマンド仕様書もしくは製品仕様書の GS E コマンドを参照して下さい。
ログ出力	詳細は「 ログファイル出力 」を参照して下さい。

設定ツールは、

Windows 7	[スタート]→[すべてのプログラム]→[FCL FTP-POS OPOS OCX]→ [OCX 設定ツール]
Windows 8.1	[スタート画面]→[アプリビュー]→[OCX 設定ツール]
Windows 10	[スタートメニュー]→[FCL FTP-POS OPOS OCX]→[OCX 設定ツール]
Windows 11	[スタートメニュー] →[すべてのアプリ]→[OCX 設定ツール]

の手順でも起動できます。

設定ツールの起動には管理者権限が必要です。

2. 5. アンインストール手順

1. アンインストーラーを起動します。

コントロールパネルを開き、「プログラムと機能」を選択して実行します。



「FCL FTP2166000EQ OPOS OCX」を選択してダブルクリックしてください。

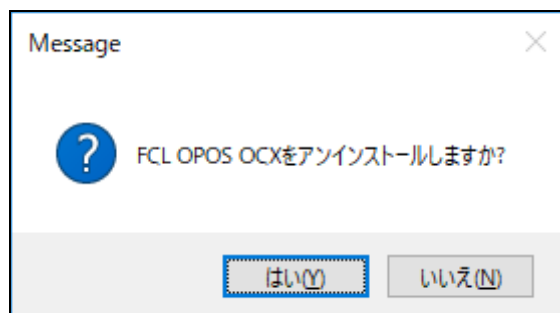
Windows 10 の場合、「設定」アプリの「アプリと機能」からも起動できます。

Windows 11 の場合、「設定」アプリ→「アプリ」→「アプリと機能」から起動できます。

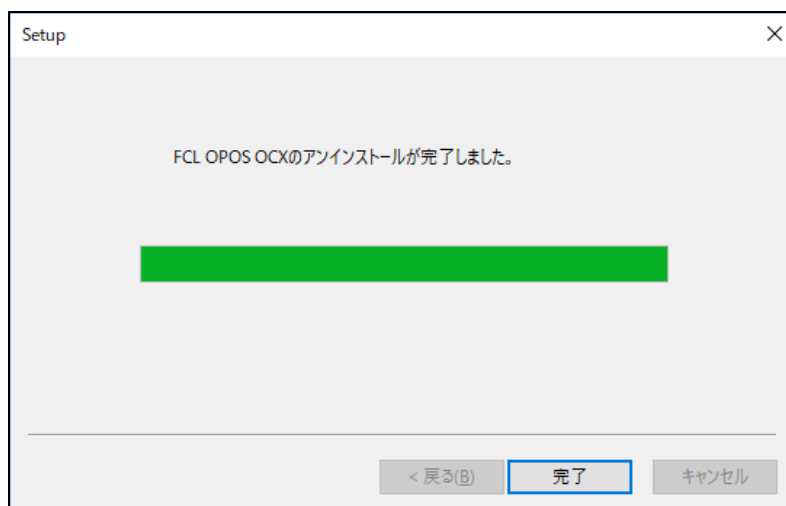


「FCL FTP2166000EQ OPOS OCX」をクリックし、「アンインストール」ボタンをクリックしてください。

2. アンインストールを確認するダイアログが表示されます。[はい]をクリックしてください。



3. アンインストールが実行されます。



以上でアンインストールは終了です。

2. 6. インストールファイル一覧

FTP-POS POS Printer OPOS OCX コントロールのファイル群は以下のように配置されます。
(初期設定および 32bit OS の場合)

[システムドライブ]:¥Program Files¥FCL¥OPOS¥POSPrinter¥FTP2166000EQ

FTPOSPrinterCO.ocx	POS プリンタのコントロールオブジェクト
FTPOSPrinterSO.dll	POS プリンタのサービスオブジェクト
FCLOCXConfig.exe	OCX 設定ツール
OPOSInstaller.exe	アンインストール用プログラム
Uninstall.cmd	アンインストール用 cmd ファイル

[システムドライブ]:C:¥Users¥Public¥FCL¥OPOS¥POSPrinter¥FTP2166000EQ¥Log
ログファイルが出力されるフォルダー

[システムドライブ]:¥Program Files¥FCL¥OPOS¥POSPrinter¥FTP2166000EQ¥Include

OPOS-OCX コントロールで定義されるインクルードファイル群

Opos.h	OPOS 共通定義定数ヘッダーファイル
OposPtr.h	OPOS POS プリンタ定義定数ヘッダーファイル
OPOSEvent.h	OPOS イベント定義定数ヘッダーファイル
FTPptr.h	OPOS POS プリンタ定義定数ヘッダーファイル
OposAll.bas	OPOS 定義定数標準モジュール (Visual Basic 用)
OposFCL.bas	OPOS POS プリンタ定義定数ヘッダーファイル (Visual Basic 用)

3. OPOS コントロールの使用法

3. 1. 共通

アプリケーションは以下の手順にて OPOS コントロールを使用します。

- ① **Open** メソッド: コントロールオブジェクトをサービスオブジェクトにリンクするために呼び出します。
- ② **ClaimDevice** メソッド: デバイスに排他アクセスできるようにするために呼び出します。
排他使用するデバイスでは必須であり、共有可能デバイスには任意のメソッドです。
- ③ **DeviceEnabled** プロパティ: デバイスを動作させる場合 **TRUE** に設定します。
- ④ デバイスを使用します。(各プロパティ・メソッド・イベント)
- ⑤ **DeviceEnabled** プロパティ: **FALSE** に設定してデバイスをディセーブルにします。
- ⑥ **ReleaseDevice** メソッド: デバイスの排他アクセスを解除するために呼び出します。
- ⑦ **Close** メソッド: サービスオブジェクトをコントロールオブジェクトから解放するために呼び出します。

その他使用法の詳細については、「OPOS-APG V1.9」のドキュメントを参照して下さい。

3. 2. POS プリンタ

POS プリンタは「レシート」のみをサポートします。従って、それ以外(ジャーナル/スリップ)のメソッド・プロパティは、インターフェースは提供されますが、動作はサポートされません。

POS プリンタは一般的な出力モデルに従い、同期/非同期の出力が可能です。

また、POS プリンタは排他的に使用するデバイスです。

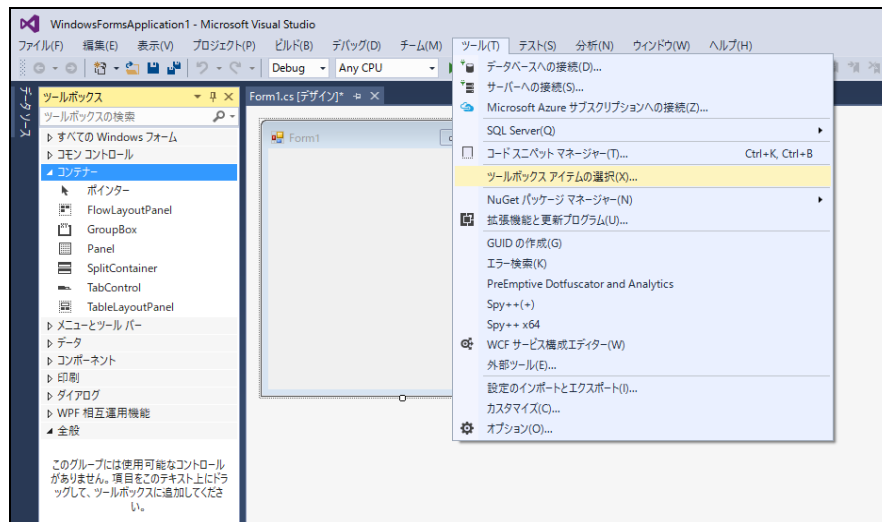
3. 3. OPOS コントロール実装方法

OPOS-OCX コントロールをアプリケーションに実装する方法を以下に記します。

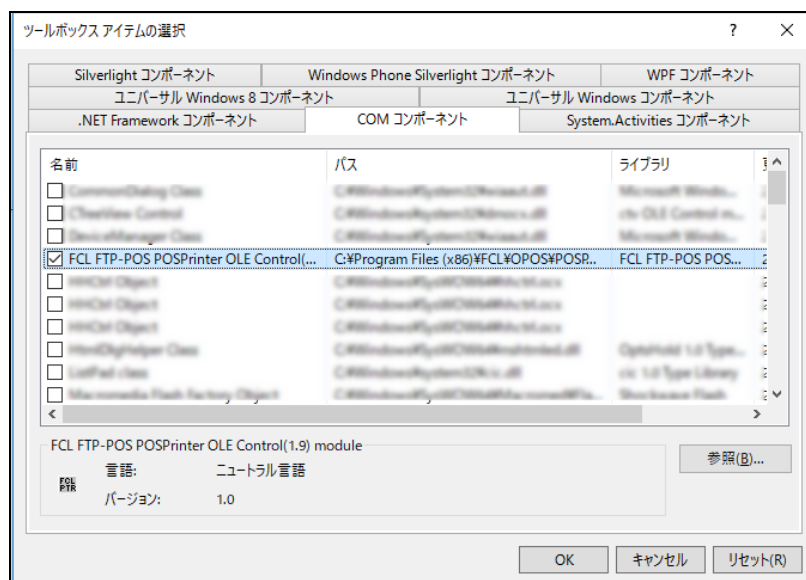
下記は Visual Studio 2015 で OCX コントロールをアプリケーションに実装する方法です。

3. 3. 1. Visual Basic で実装する場合

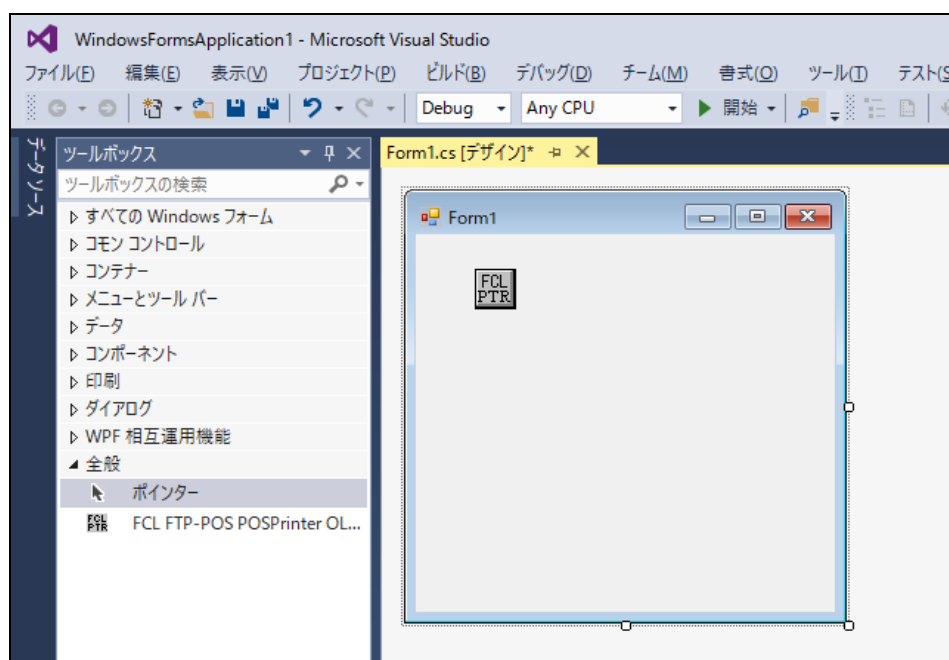
1. 作成するプロジェクト種類を選択します。ここでは、[Windows フォームアプリケーション] を選択した例を示します。プロジェクト作成後、メニューの[ツール]を選択し、[ツールボックス アイテムの選択]を選択します。



ダイアログが表示されるので、[COM コンポーネント]タブを選択し、[FCL FTP-POS POSPrinter OLE Control (1.9) module] にチェックを入れて、[OK]ボタンを押下します。

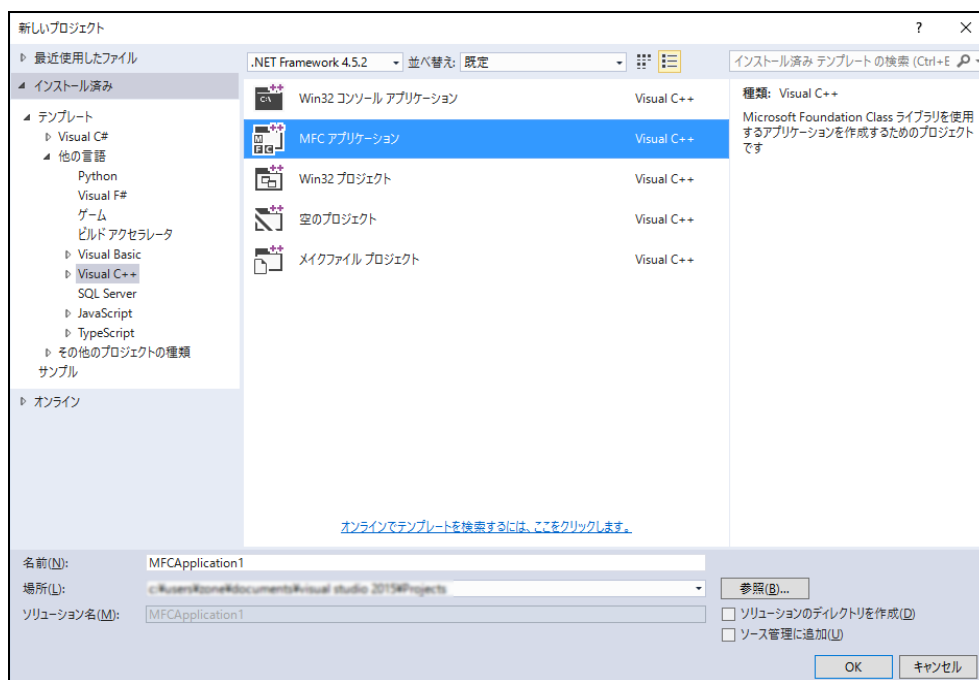


2. ツールボックスに OCX が表示されるので、それをフォームに貼り付けます。後は、通常の OCX と同様に使用してください。

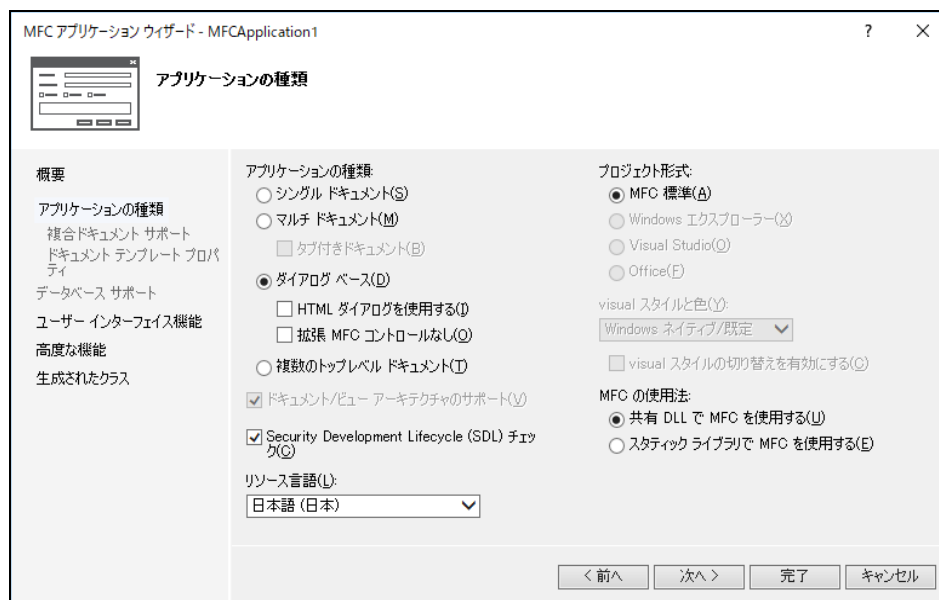


3. 3. 2. Visual C++ で実装する場合

1. VisualC++を起動し、[新しいプロジェクト]を選択後、[MFC アプリケーション]を選択し[OK]を押下します。



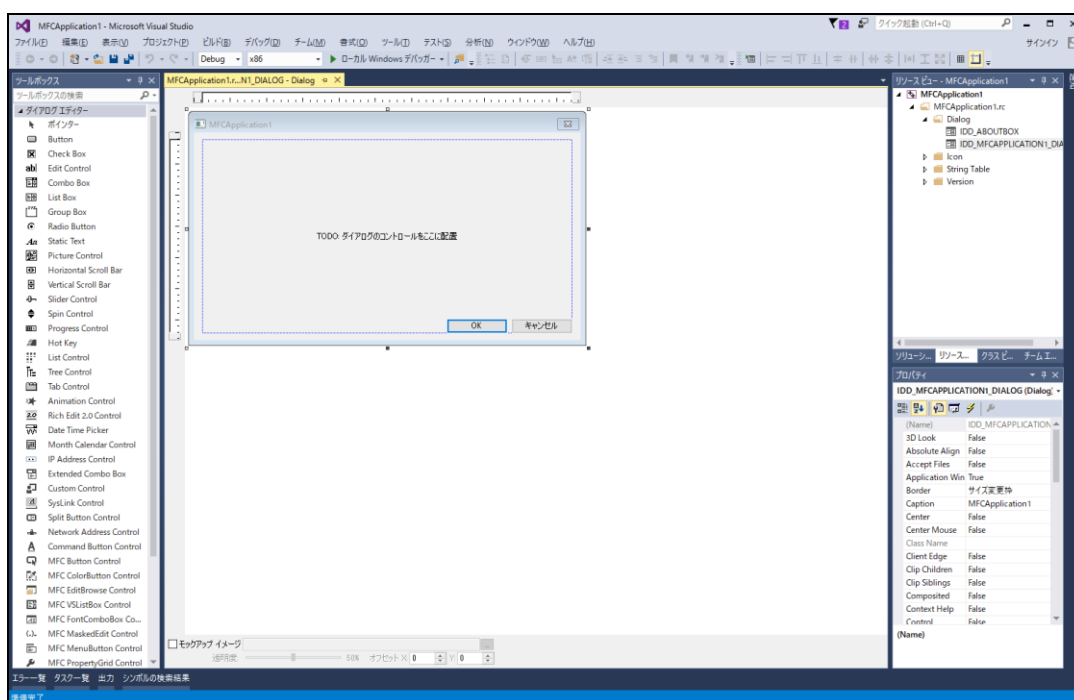
2. [MFC アプリケーションウィザードによるこそ]画面で[次へ]を押下します。
[アプリケーションの種類]画面で「ダイアログベース」を選択して[次へ]を押下します



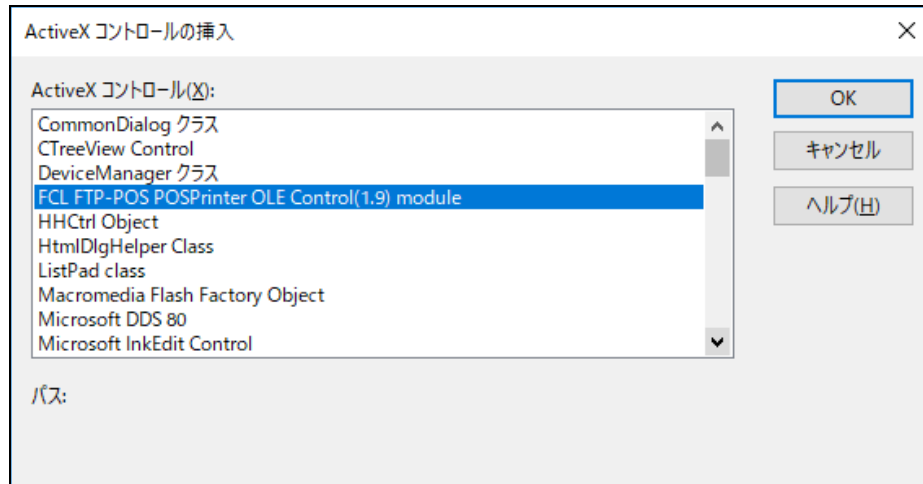
3. [ユーザーインターフェイス機能]画面では作成するプロジェクトにより設定を変更後、[次へ]を押下します。
[高度な機能]画面では[ActiveXコントロール]のチェックボックスをONにします。それ以外は、作成するプロジェクト種類により変更してください。[次へ]を選択し、後の指示については適宜必要な設定を行ってください。



4. プロジェクトが作成されたら、[リソースビュー]を選択し、メインダイアログを表示します。



- ダイアログ上で右クリックし、ポップアップメニューが表示されたら[ActiveX コントロールの挿入]を選択します。ダイアログが表示されたらその中から、[FCL FTP-POS POSPrinter OLE Control(1.9) module]を選択し、[OK]を選択します。



- OCX がダイアログに挿入されたら、コントロール上を選択し右クリックをし、ポップアップメニューから[変数の追加]を選択します。[メンバー変数の追加ウィザード]で任意の変数名を入力し、[完了]をクリックします。OCX を利用するには、このメンバー変数を用いてプロパティ、メソッドを利用します。
使用例 : `m_POSPrinter.Open("FTP-POS");`
メンバー変数追加後、ビルドすると error C2664 が発生する場合、該当する行を削除してください。
例 : `//, m_POSPrinter(0)`



4. OPOS インターフェース仕様(プリンタ)

4. 1. 一覧

プロパティ

共通	型	アクセス	初期化	書込み条件
BinaryConversion	Long	R/W	Open	OPOS_BC_NONE(0) Open 後、書込み可能
CapCompareFirmwareVersion	Boolean	R	Open	
CapPowerReporting	Long	R	Open	
CapStatisticsReporting	Boolean	R	Open	
CapUpdateFirmware	Boolean	R	Open	
CapUpdateStatistics	Boolean	R	Open	
CheckHealthText	String	R	Open	
Claimed	Boolean	R	Open	
DeviceEnabled	Boolean	R/W	Open&Claim	
FreezeEvents	Boolean	R/W	Open	Open 後、書込み可能
OpenResult	Long	R	無し	
OutputID	Long	R	Open	
PowerNotify	Long	R/W	Open	Open 後、書込み可能。Enabled 後、書込み不可
PowerState	Long	R	Open	
ResultCode	Long	R	--	
ResultCodeExtended	Long	R	Open	
State	Long	R	--	
ControlObjectDescription	String	R	--	
ControlObjectVersion	Long	R	--	
ServiceObjectDescription	String	R	Open	
ServiceObjectVersion	Long	R	Open	
DeviceDescription	String	R	Open	
DeviceName	String	R	Open	

専用	型	アクセス	初期化	備考
CapCharacterSet	Long	R	Open	
CapConcurrentJrnRec	Boolean	R	Open	
CapConcurrentJrnSlp	Boolean	R	Open	
CapConcurrentRecSlp	Boolean	R	Open	
CapConcurrentPageMode	Boolean	R	Open	
CapCoverSensor	Boolean	R	Open	
CapMapCharacterSet	Boolean	R	Open	
CapTransaction	Boolean	R	Open	

FTP2166000EQ

FTP-POS

POSPrinter OPOS コントロール機能仕様書

CapJrnPresent	Boolean	R	Open	
CapJrn2Color	Boolean	R	Open	
CapJrnBold	Boolean	R	Open	
CapJrnDhigh	Boolean	R	Open	
CapJrnDwide	Boolean	R	Open	
CapJrnDwideDhigh	Boolean	R	Open	
CapJrnEmptySensor	Boolean	R	Open	
CapJrnItalic	Boolean	R	Open	
CapJrnNearEndSensor	Boolean	R	Open	
CapJrnUnderline	Boolean	R	Open	
CapJrnCartridgeSensor	Long	R	Open	
CapJrnColor	Long	R	Open	
CapRecPresent	Boolean	R	Open	
CapRec2Color	Boolean	R	Open	
CapRecBarCode	Boolean	R	Open	
CapRecBitmap	Boolean	R	Open	
CapRecBold	Boolean	R	Open	
CapRecDhigh	Boolean	R	Open	
CapRecDwide	Boolean	R	Open	
CapRecDwideDhigh	Boolean	R	Open	
CapRecEmptySensor	Boolean	R	Open	
CapRecItalic	Boolean	R	Open	
CapRecLeft90	Boolean	R	Open	
CapRecNearEndSensor	Boolean	R	Open	
CapRecPapercut	Boolean	R	Open	
CapRecPageMode	Boolean	R	Open	
CapRecRight90	Boolean	R	Open	
CapRecRotate180	Boolean	R	Open	
CapRecStamp	Boolean	R	Open	
CapRecUnderline	Boolean	R	Open	
CapRecCartridgeSensor	Long	R	Open	
CapRecColor	Long	R	Open	
CapRecMarkFeed	Long	R	Open	
CapSlpPresent	Boolean	R	Open	
CapSlpFullslip	Boolean	R	Open	
CapSlp2Color	Boolean	R	Open	
CapSlpBarCode	Boolean	R	Open	
CapSlpBitmap	Boolean	R	Open	
CapSlpBold	Boolean	R	Open	
CapSlpDhigh	Boolean	R	Open	
CapSlpDwide	Boolean	R	Open	
CapSlpDwideDhigh	Boolean	R	Open	
CapSlpEmptySensor	Boolean	R	Open	
CapSlpItalic	Boolean	R	Open	
CapSlpLeft90	Boolean	R	Open	
CapSlpNearEndSensor	Boolean	R	Open	

CapSlpPageMode	Boolean	R	Open	
CapSlpRight90	Boolean	R	Open	
CapSlpRotate180	Boolean	R	Open	
CapSlpUnderline	Boolean	R	Open	
CapSlpBothSidesPrint	Boolean	R	Open	
CapSlpCartridgeSensor	Long	R	Open	
CapSlpColor	Long	R	Open	
AsyncMode	Boolean	R/W	Open	Enabled 後に書込み可能
CartridgeNotify	Long	R/W	Open	書込み不可
CharacterSet	Long	R/W	Open,Claim & Enable	Enabled 後に書込み可能
CharacterSetList	String	R	Open	
CoverOpen	Boolean	R	Open,Claim & Enable	
ErrorLevel	Long	R	Open	
ErrorStation	Long	R	Open	
ErrorString	String	R	Open	
FontTypefaceList	String	R	Open	
FlagWhenIdle	Boolean	R/W	Open	Enabled 後に書込み可能
MapCharacterSet	Boolean	R/W	Open	
MapMode	Long	R/W	Open	Open 後に書込み可能
PageModeArea	String	R	Open	
PageModeDescriptor	Long	R	Open,Claim & Enable	
PageModeHorizontalPosition	Long	R/W	Open,Claim & Enable	書込み不可
PageModePrintArea	String	R/W	Open,Claim & Enable	書込み不可
PageModePrintDirection	Long	R/W	Open,Claim & Enable	書込み不可
PageModeStation	Long	R/W	Open	書込み不可
PageModeVerticalPosition	Long	R/W	Open,Claim & Enable	書込み不可
RotateSpecial	Long	R/W	Open	Open 後に書込み可能
JrnLineChars	Long	R/W	Open,Claim & Enable	書込み不可
JrnLineCharsList	String	R	Open	
JrnLineHeight	Long	R/W	Open,Claim & Enable	書込み不可
JrnLineSpacing	Long	R/W	Open,Claim & Enable	書込み不可
JrnLineWidth	Long	R	Open,Claim & Enable	

FTP2166000EQ
FTP-POS
POSPrinter OPOS コントロール機能仕様書

JrnLetterQuality	Boolean	R/W	Open,Claim & Enable	書込み不可
JrnEmpty	Boolean	R	Open,Claim & Enable	
JrnNearEnd	Boolean	R	Open,Claim & Enable	
JrnCartridgeState	Long	R	Open,Claim & Enable	
JrnCurrentCartridge	Long	R/W	Open,Claim & Enable	書込み不可
RecLineChars	Long	R/W	Open,Claim & Enable	Open 後に書込み可能
RecLineCharsList	String	R	Open	
RecLineHeight	Long	R/W	Open,Claim & Enable	書込み不可
RecLineSpacing	Long	R/W	Open,Claim & Enable	Open 後に書込み可能
RecLineWidth	Long	R	Open,Claim & Enable	
RecLetterQuality	Boolean	R/W	Open,Claim & Enable	Open 後に書込み可能
RecEmpty	Boolean	R	Open,Claim & Enable	
RecNearEnd	Boolean	R	Open,Claim & Enable	
RecSidewaysMaxLines	Long	R	Open,Claim & Enable	
RecSidewaysMaxChars	Long	R	Open,Claim & Enable	
RecLinesToPaperCut	Long	R	Open,Claim & Enable	
RecBarCodeRotationList	String	R	Open	
RecBitmapRotationList	String	R	Open	
RecCartridgeState	Long	R	Open,Claim & Enable	
RecCurrentCartridge	Long	R/W	Open,Claim & Enable	書込み不可能
SlpLineChars	Long	R/W	Open,Claim & Enable	書込み不可能
SlpLineCharsList	String	R	Open	
SlpLineHeight	Long	R/W	Open,Claim & Enable	書込み不可能
SlpLineSpacing	Long	R/W	Open,Claim & Enable	書込み不可能
SlpLineWidth	Long	R	Open,Claim & Enable	

SlpLetterQuality	Boolean	R/W	Open,Claim & Enable	
SlpEmpty	Boolean	R	Open,Claim & Enable	
SlpNearEnd	Boolean	R	Open,Claim & Enable	
SlpSidewaysMaxLines	Long	R	Open,Claim & Enable	
SlpSidewaysMaxChars	Long	R	Open,Claim & Enable	
SlpMaxLines	Long	R	Open,Claim & Enable	
SlpLinesNearEndToEnd	Long	R	Open,Claim & Enable	
SlpBarCodeRotationList	String	R	Open	
SlpBitmapRotationList	String	R	Open	
SlpPrintSide	Long	R	Open,Claim & Enable	
SlpCartridgeState	Long	R	Open,Claim & Enable	
SlpCurrentCartridge	Long	R/W	Open,Claim & Enable	書込み不可能

※アクセスの R は読み専用、R/W は読み、書き込み可能であることを示します。また、初期化は、初期化に必要なメソッド・プロパティを示し、Open は Open メソッド、Claim は ClaimDevice メソッド、Enable は DeviceEnabled プロパティを TRUE に設定することを意味します。初期化に必要な手続きを実行しない場合、ResultCode プロパティにエラーが設定される場合があります。また、初期化条件が Open&Claim および Open,Claim&Enable 状態になっているプロパティについては、Open メソッド実行後に取得可能となりますが、Open,Claim &Enable 後にはじめて値が初期化される場合があるため、プロパティ取得時には条件を満たした上でアクセスを行ってください。

メソッド

共通	必要条件
Open	--
Close	Open
ClaimDevice	Open
ReleaseDevice	Open, Claim
ClearOutput	Open, Claim & Enable※1
CheckHealth	Open, Claim & Enable
CompareFirmWareVersion	Open, Claim & Enable
UpdateFirmware	Open, Claim & Enable
ResetStatistics	Open, Claim & Enable
RetrieveStatistics	Open, Claim & Enable
UpdateStatistics	Open, Claim & Enable
DirectIO	Open, Claim & Enable※1

専用	必要条件
PrintNormal	Open, Claim & Enable
PrintTwoNormal	Open, Claim & Enable
PrintImmediate	Open, Claim & Enable
BeginInsertion	Open, Claim & Enable
EndInsertion	Open, Claim & Enable
BeginRemoval	Open, Claim & Enable
EndRemoval	Open, Claim & Enable
CutPaper	Open, Claim & Enable
RotatePrint	Open, Claim & Enable
PrintBarCode	Open, Claim & Enable
PrintBitmap	Open, Claim & Enable
TransactionPrint	Open, Claim & Enable
ValidateData	Open, Claim & Enable
SetBitmap	Open, Claim & Enable
SetLogo	Open, Claim & Enable
ChangePrintSide	Open, Claim & Enable
MarkFeed	Open, Claim & Enable
ClearPrintArea	Open, Claim & Enable
PageModePrint	Open, Claim & Enable

イベント

名称	必要条件
DirectIOEvent	Open, Claim & Enable※1
ErrorEvent	Open, Claim & Enable
OutputCompleteEvent	Open, Claim & Enable
StatusUpdateEvent	Open, Claim & Enable

※1 …OLE for Retail POS Application Programmer's Guide 日本版仕様書 第 1.9 版 とは必要条件が異なる箇所です。

4. 2. 印字データとエスケープシーケンス

本 OCX は以下のエスケープシーケンスをサポートします。

1) 指定時のみ、動作するエスケープシーケンス

名称	データ	内容
用紙カット	ESC #P	<p>レシート用紙を切ります。文字'#'は、要求されたカットのパーセンテージを示す ASCII10 進数(1~100)の文字列です。'#'を省略することも可能です。'1' ~ '99' の場合はパーシャルカット、'#'省略時、及び'100'が指定された場合フルカットを実行します。尚、POS プリンタにバッファリングされているデータがある場合(印字要求をしたが、POS プリンタに印字されていない場合)は、バッファリングされたデータを印字後にカット動作を行います。</p> <p>RotatePrint メソッドによる右 90 度もしくは左 90 度回転時はサポートしません。</p> <p>プリンタモデルによって対応が異なります。プリンタ仕様をご参照下さい。</p>
フィードと用紙カット	ESC #FP	<p>RecLinesToPaperCut 行分の紙送りをした後、レシート用紙をカットします。文字'#'は、「用紙カット」エスケープシーケンスで定義されています。尚、POS プリンタにバッファリングされているデータがある場合(印字要求をしたが、POS プリンタに印字されていない場合)は、バッファリングされたデータを印字後にカット動作を行います。</p> <p>RotatePrint メソッドによる右 90 度もしくは左 90 度回転時はサポートしません。</p> <p>プリンタモデルによって対応が異なります。プリンタ仕様をご参照下さい。</p>
フィードとカットとスタンプ印刷	ESC #sP	サポートしません。
ビットマップ印刷	ESC #B	<p>SetBitmap メソッドで保存したビットマップを印刷します。'#'はビットマップ番号で、'1~255'のみサポートしています。</p> <p>RotatePrint メソッドによる右 90 度回転および左 90 度回転時はサポートしません。</p> <p>プリンタモデルによって対応が異なります。プリンタ仕様をご参照下さい。</p>
トップロゴ印刷	ESC tL	<p>SetLogo メソッドで保存したトップロゴを印刷します。</p> <p>RotatePrint メソッドによる右 90 度もしくは左 90 度回転時はサポートしません。</p>
ボトムロゴ印刷	ESC bL	<p>SetLogo メソッドで保存したボトムロゴを印刷します。</p> <p>RotatePrint メソッドによる右 90 度もしくは左 90 度回転時はサポートしません。</p>
スタンプ印刷	ESC sL	サポートしません。

FTP2166000EQ

FTP-POS

POSPrinter OPOS コントロール機能仕様書

複数行フィード	ESC #IF	複数行のフィードをします。文字'#'は、フィードする行数を示す ASCII10 進数の文字列です。もし、'#'が省略されていれば、1 行分のフィードをします。'#'は'0'～'255'までの値をサポートします。印字データがなければ改行量にしたがった改行動作を実行し、印字データがある場合には、印字データの高さ分の改行動作を実行します。
単位フィード	ESC #uF	MapMode で指定された単位でフィードをします。文字'#'は、フィード量を示す ASCII10 進数の文字列です。もし、'#'が省略されていれば、1 単位分のフィードをします。'#'は PTR.MM.DOTS(1)単位に変換した値が'0'～'255'となる値をサポートします。改行量は、プリンタに設定されている改行量に影響されません。
逆フィード	ESC #rF	複数行の逆フィードをします。文字'#'は、フィードする行数を示す ASCII10 進数の文字列です。もし、'#'が省略されていれば、1 行分の逆フィードをします。'#'は'0'～'255'までの値をサポートします。印字データがなければ改行量にしたがった逆フィード動作を実行し、印字データがある場合には、印字データの高さ分の逆フィード動作を実行します。

2) 印字中に、動作するエスケープシーケンス

明確に変更されるまで、その状態を保つ属性があります。

名称	データ	内容
フォントタイプ指定	ESC #fT	サポートしません

(3) 印字時に、動作するエスケープシーケンス

各印刷メソッドの終わりや、あるいは”ノーマル”シーケンスによってリセットされる属性があります。

名称	データ	内容
ボールド	ESC bC	ボールド体で印刷します。 プリンタモデルによって対応が異なります。 プリンタ仕様 をご参照下さい。
アンダーライン	ESC #uC	アンダーラインと共に印刷します。文字’#’は、アンダーラインの太さ(ドット単位)を示す ASCII10 進数の文字列です。 省略時は、1ドットのアンダーラインを印字します。 プリンタモデルによって対応が異なります。 プリンタ仕様 をご参照下さい。
イタリック	ESC iC	サポートしません。
カスタムカラー	ESC #rC	サポートしません。
赤色	ESC rC	サポートしません。
反転文字	ESC rvC	明暗を反対にして印刷します。 プリンタモデルによって対応が異なります。 プリンタ仕様 をご参照下さい。
網掛け文字	ESC #sC	サポートしません。
縦横 1 倍角	ESC 1C	通常の大きさで印刷します。
横倍角	ESC 2C	横倍角文字で印刷します。
縦倍角	ESC 3C	縦倍角文字で印刷します。
縦横倍角	ESC 4C	縦横倍角文字で印刷します。
横倍率	ESC #hC	文字を横方向に拡大して印刷します。文字”#”は、横方向の拡大倍率を示す ASCII10 進数の文字列です。 ”#”省略時は 1 倍の大きさで印刷します。 プリンタモデルによって対応が異なります。 プリンタ仕様 をご参照下さい。
縦倍率	ESC #vC	文字を縦方向に拡大して印刷します。文字”#”は、縦方向の拡大倍率を示す ASCII10 進数の文字列です ”#”省略時は 1 倍の大きさで印刷します。 プリンタモデルによって対応が異なります。 プリンタ仕様 をご参照下さい。
色指定	ESC #fC	サポートしません。
中央揃え	ESC cA	中心に以下のテキストを整列させます。行の先頭で指定しなければ有効となりません。 RotatePrint メソッドによる右 90 度もしくは左 90 度回転時はサポートしません。 プリンタモデルによって対応が異なります。 プリンタ仕様 をご参照下さい。
右寄せ	ESC rA	右に以下のテキストを整列させます。行の先頭で指定しなければ有効となりません。 RotatePrint メソッドによる右 90 度もしくは左 90 度回転時はサポートしません。 プリンタモデルによって対応が異なります。 プリンタ仕様 をご参照下さい。

FTP2166000EQ

FTP-POS

POSPrinter OPOS コントロール機能仕様書

ノーマル	ESC N	POS プリンタの属性を通常の状態に回復させます。行の先頭でなければ、中央揃え、右寄せを回復させることはできません。
サブスクリプト	ESC tbC	サポートしません。
スーパースクリプト	ESC tpC	サポートしません。
埋め込みデータの送信	ESC #E	<p>“#E”に続く文字列は、一切変更されずにデバイスへ渡されます。’#’は、ASCII10 進数の文字列で、このエスケープシーケンスに続く、そのままデバイスへ渡されるべき文字列のバイト数を指定します。</p> <p>BinaryConversion プロパティが OPOS_BC_NONE の場合、正しく送信できない場合があります。OPOS_BC_NIBBLE もしくは OPOS_BC_DECIMAL での使用を推奨します。</p>

4. 3. 共通プロパティ

POS プリンタに対して共通に提供されるプロパティを説明します。

プロパティは読み込み専用のものと、読み込み、書き込み可能なものの 2 種類が存在します。書き込み可能なプロパティには、R/W をプロパティ名の横に記述します。

また、戻り値は特別な意味合いがあるものについてのみ明記します。初期化条件を満たさずにアクセスした場合のエラーについては、ResultCode プロパティを参照してください。

BinaryConversion プロパティ R/W

形式

LONG BinaryConversion;

説明

OPOS は BString を使用してマルチキャラクター入力／出力を受け渡します。BString は安全にテキストデータに使用できます。Bstring はアプリケーションと OPOS コントロールの間の受け渡し時に、OLE は Unicode コードから、または Unicode コードへと、言語固有の変換を行います。BString がバイナリデータの受け渡しに使用される場合、アプリケーションでの BString 文字内のデータバイトがコントロールでの対応データと適合しない時は、これらの変換は元のデータを変更してしまう場合があります。Unicode コードキャラクターがアプリケーションやコントロールに渡される時、各コンポーネントの言語固有の違いが誤解釈を引き起こすため、この不適合は BString ポインターが使用されている場合にも起こり得ます。

0x00 から 0x7F までの文字は問題ありません。0x80 から 0xFF までの文字のみが時々不正な変換を引き起こします。

本仕様書では、**BinaryConversion** に影響されるプロパティとメソッドのパラメーターについては、各々のプロパティとメソッドの説明箇所に、以下の行が記述されています。

このデータのフォーマットは **BinaryConversion** プロパティの値に依存します。詳細は **BinaryConversion** プロパティを参照してください。

BinaryConversion の値は以下の通りです。

値	意味
OPOS_BC_NONE(0)	データは変換されずに Bstring 一文字は 1 バイトで格納されます。(デフォルト)
OPOS_BC_NIBBLE(1)	各バイトは二つの文字に変換されます。(このオプションでバイナリと ASCII 文字間の最速変換ができます。) 各データバイトは以下のように変換されます。 第一文字=0x30+データバイトの 7-4 ビット 第二文字=0x30+データバイトの 3-0 ビット 例: バイト値 154=0x9A は文字 0x39 0x3A (文字列"9:") の文字に変換されます。この変換方法は、バイト値 154=0x9A をコード 0x39 0x41 (文字列の"9A") の文字に変換する、一般的な 16 進値の ASCII 文字変換とは異なります。
OPOS_BC_DECIMAL(2)	各バイトは三つの文字に変換されます。VAL(<i>string</i>) は ASCII からバイナリへ変換するために各 3 文字で使用されます。各バイトから 3 つの ASCII 文字を作成するために RIGHT("^^"+STR(<i>byte</i>),3) が使用され、'^' はスペース文字を表します。 例 1: バイト値 154=0x9A は、文字 0x31 0x35 0x34 になります(=文字列"154")。

FTP2166000EQ

FTP-POS

POSPrinter OPOS コントロール機能仕様書

例2: バイト値 8 は、文字 0x30 0x30 0x38 になります (= 文字列 "008")。

BinaryConversion 設定時 (OPOS_BC_NONE(0)でない場合) で、プロパティやメソッドパラメーターが **BinaryConversion** の指定が適用される場合は、アプリケーションは、プロパティの設定とメソッドパラメーターの受け渡し前に、文字列データを **BinaryConversion** 値に指定されたフォーマットに変換する必要があります。

このプロパティは **Open** メソッドにより OPOS_BC_NONE(0)に初期化されます。

戻り値

本プロパティ設定時、次の値のいずれかが **ResultCode** プロパティに格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	プロパティの設定に成功しました。
OPOS_E_ILLEGAL(106)	不正な値が指定されました。

CapCompareFirmwareVersion プロパティ

形式

BOOL CapCompareFirmwareVersion;

説明

TRUE ならばサービス/デバイスは、ファームウェアファイルのバージョンと物理デバイス内のファームウェアバージョンを比較する機能を有します。
このプロパティは **Open** メソッドにより初期化されます。

CapPowerReporting プロパティ

形式

LONG CapPowerReporting;

説明

デバイスの電源通知能力を識別します。電源通知能力を示す値は下記の通りです。

値	意味
OPOS_PR_STANDARD(1)	SO は 2 種類の電源状態を判断し、通知が可能です。(ONLINE と OFF_OFFLINE)

このプロパティは **Open** メソッドにより初期化されます。

CapUpdateFirmware プロパティ

形式

BOOL CapUpdateFirmware;

説明

TRUE ならばデバイスのファームウェア UpdateFirmware メソッドにより更新されることを可能とします。
このプロパティは **Open** メソッドにより初期化されます。

CheckHealthText プロパティ

形式

BSTR CheckHealthText:

說明

直前に呼び出した **CheckHealth** メソッドの結果を保持します。以下に診断結果の例を示します

- Internal の場合
成功時: “Internal HCheck: Successful”,
失敗時: “Internal HCheck: OFF/OFFLINE”
- External の場合
成功時: “External HCheck: Successful”,
失敗時: “External HCheck: Failure”
- Interactive の場合
実行完了時: “Interactive HCheck: Complete”

最初の `CheckHealth` メソッド呼び出し以前にはこの値は初期化されません。(空文字)

Claimed プロパティ

形式

BOOL Claimed:

說明

TRUE: デバイスの排他アクセス権が獲得されています。

FALSE: デバイスはほかのアプリケーションと共有できるよう解放されています。

Claimed プロパティの値は **Open** メソッドによって **FALSE** に初期化されます。

DeviceEnabled プロパティ R/W

形式

BOOL DeviceEnabled;

説明

TRUE:

デバイスはイネーブルにされています(動作状態です)。TRUE に変更するとイネーブルにされます。

FALSE:

デバイスはディセーブルにされています。**FALSE** に変更すると、ディセーブルにされます。

デバイスを使用する前に、アプリケーションはこのプロパティを **TRUE** に設定しなければなりません。

また、**DeviceEnabled** が **TRUE** の間、デバイスの接続状態(**PowerReporting**)が通知されます。このプロパティは **Open** メソッドにより **FALSE** に初期化されます。

戻り値

本プロパティ設定時、次の値のいずれかが **ResultCode** プロパティに格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	プロパティの設定に成功しました。
OPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他使用デバイスをイネーブルにするには、その前に排他アクセス権を獲得しなければなりません。
OPOS_E_BUSY(113)	処理中の為、プロパティの設定に失敗しました。処理終了後にプロパティを設定してください。
その他	ResultCode プロパティを参照してください。

FreezeEvents プロパティ R/W

形式

BOOL FreezeEvents;

説明

TRUE の場合、コントロールからイベントが通知されません。

凍結が解除されるまで、イベントはコントロールが保持しています。

FALSE の場合、コントロールからイベントが通知されます。凍結されていた間に保持されたイベントがあれば、FreezeEvents を FALSE に変更すると、そのイベントが通知されます。

イベントによる割り込みが望ましくない状況で、アプリケーションはイベントの凍結を選択できます。

ErrorEvent を凍結した場合、State プロパティが OPOS_S_BUSY(3)となります。この場合、コントロールをクローズすることができなくなりますので、この場合は、ClearOutput メソッドで凍結中のイベントを破棄するか、TRUE に設定して、ErrorEvent を発生させた後、Close メソッドを実行してください。

このプロパティは Open メソッドにより FALSE に初期化されます。

戻り値

本プロパティ設定時、次の値が ResultCode プロパティに格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	プロパティの設定に成功しました。

OpenResult プロパティ

形式

LONG OpenResult;

説明

最新の Open メソッドでの結果を保持しています。OpenResult の値は下記の通りです。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	オープンが成功しました。
OPOS_OR_ALREADYOPEN(301)	すでにオープンされています。
OPOS_OR_REGBADNAME(302)	レジストリに指定したデバイス名称キーが存在しません。あるいはデバイス名が指定されていません。
OPOS_OR_REGPROGID(303)	デバイス名キーのデフォルト値が読めないか、そこに保持されたプログラマティック ID を有効なクラス ID に変換できませんでした。
OPOS_OR_CREATE(304)	サービスオブジェクトインスタンスを生成できなかったか、IDispatch インターフェースを取得できませんでした。
OPOS_OR_BADIF(305)	サービスオブジェクトは指定版数で要求される一つ、もしくはそれ以上のメソッドをサポートしていません。デバイス名の設定が、サービスオブジェクトと異なっている可能性があります。

このプロパティは Open メソッドで初期化されます。

FTP2166000EQ

FTP-POS

POSPrinter OPOS コントロール機能仕様書

OutputID プロパティ

形式

LONG OutputID;

説明

非同期要求 (**AsyncMode** プロパティが **TRUE** に設定されているときの、非同期対応メソッドの呼び出し) を一意に識別するための識別子を保持しています。

メソッドが非同期出力の開始に成功すると、コントロールはリクエストに識別子を割り当てます。出力が完了すると、**OutputCompleteEvent** を通知して、その出力 ID をパラメーターとして渡します。

出力 ID 番号は、1～99999 の間でサイクリックに採番されます。

PowerNotify プロパティ R/W

形式

LONG PowerNotify;

説明

アプリケーションから設定された電源通知機能のタイプです。

電源通知機能を示す値は下記のとおりです。

値	意味
OPOS_PN_DISABLED(0)	コントロールはアプリケーションに対していかなる電源通知を提供しません。 電源通知に関する StatusUpdateEvent は通知されず、また PowerState プロパティには何も設定されません。 (デフォルト値)
OPOS_PN_ENABLED(1)	DeviceEnabled が TRUE に設定されると、コントロールは電源通知に関する StatusUpdateEvent の通知、 PowerState プロパティの更新が行われます。

PowerNotify プロパティは、デバイスがディセーブルの間、すなわち **DeviceEnabled** プロパティが **FALSE** の間のみ設定が可能です。

戻り値

本プロパティ設定時、次の値のいずれかが **ResultCode** プロパティに格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	プロパティの設定に成功しました。
OPOS_E_ILLEGAL(106)	次のいずれかが発生しました: <ul style="list-style-type: none">・ デバイスは既にイネーブル。・ プロパティ設定値が不正。
その他	ResultCode の項目を参照してください。

PowerState プロパティ

形式

LONG PowerState;

説明

PowerNotify が OPOS_PN_ENABLED(1)の間、現在のデバイスの電源状態が設定されます。電源状態を示す値は下記のとおりです。

値	意味
OPOS_PS_UNKNOWN(2000)	下記の理由のいずれかにより、デバイスの電源状態の判断ができません。 (デフォルト値) PowerNotify = OPOS_PN_DISABLED(0)で電源通知機能がディセーブル。 DeviceEnabled = FALSE、電源状態監視はデバイスがイネーブルになるまで動作せず。
OPOS_PS_ONLINE(2001)	デバイスは電源オンでかつレディ状態です。
OPOS_PS_OFF_OFFLINE(2004)	デバイスは電源オフ、または本体に接続されていない、もしくはオフライン状態です。復旧方法については、ResultCode プロパティの OPOS_E_NOHARDWARE(107)を参照してください。 プリンタモデルおよび接続インターフェースによって通知される状態が異なります。 プリンタ仕様 を参照して下さい。

ResultCode プロパティ

形式

LONG ResultCode;

説明

このプロパティは各メソッドが設定します。プロパティを取得したときや書込み可能プロパティを設定したときも設定されます。

このプロパティはいつでも読み取り可能です。Open メソッドを呼び出すまでは、OPOS_E_CLOSED(101)を戻します。結果コードの値は次のとおりです。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	正常動作。
OPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとした。
OPOS_E_NOTCLAIMED(103)	メソッドまたはプロパティ設定処理を使用する前に、排他アクセス権の獲得をしなければならない排他使用デバイスにアクセスしようとした。
OPOS_E_NOSERVICE(104)	コントロールがサービスオブジェクトと通信できません。おそらく、セットアップエラーかコンフィギュレーションエラーを修正しなければなりません。
OPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
OPOS_E_ILLEGAL(106)	デバイスに無効な動作か、サポートされていない動作を実行しようとしたか、無効なパラメーター値を使用しました。
OPOS_E_NOHARDWARE(107)	POS プリンタがオフ、またはオフラインです。
OPOS_E_FAILURE(111)	デバイスがシステムに接続され、電源が入っていて、オンラインですが、リクエストされた処理をデバイスが実行できません。
OPOS_E_TIMEOUT(112)	デバイスからの応答を待ち合わせていたサービスオブジェクトがタイムアウトしたか、サービスオブジェクトからの応答を待ち合わせていたコントロールがタイムアウトしました。
OPOS_E_BUSY(113)	現在の SO の状態は、この要求を受け付けられません。例えば、非同期出

FTP2166000EQ

FTP-POS

POSPrinter OPOS コントロール機能仕様書

OPOS_E_EXTENDED(114) 力が実行中の場合、いくつかのメソッドは受け付けられません。
固有エラー状態が発生しました。**ResultCodeExtended** プロパティでエラー
状態コードを確認できます。

ResultCodeExtended プロパティ

形式

LONG ResultCodeExtended;

説明

ResultCode が **OPOS_E_EXTENDED(114)** の場合、このプロパティにデバイスクラスの説明で記述されているクラス固有のエラー情報値が設定されます。

ResultCode が別の値の場合、サービスオブジェクトが SO 固有の値をこのプロパティに設定できます。これらの値に意味があるのは、アプリケーションが SO 固有の値を追加して処理する場合だけです。

本 OPOS コントロールでは、下記の値をとります。

ResultCodeExtended	定数名 (内容)	詳細
201	OPOS_EPTR_COVER_OPEN	プリンタカバーが開いている状態です。エラーを復旧するには、カバーを閉じてください。このとき、OCX をディセーブル、 ReleaseDevice 、 Close する必要はありません。
203	OPOS_EPTR_REC_EMPTY	レシート切れが発生しました。エラーを復旧するには、レシート紙を給紙してください。このとき OCX をディセーブル、 ReleaseDevice 、 Close する必要はありません。
206	OPOS_EPTR_TOOBIG	ビットマップが、変換無しで印刷するにはその幅が広すぎるか、あるいは変換するには大きすぎます。このとき、OCX をディセーブル、 ReleaseDevice 、 Close する必要はありません。
207	OPOS_EPTR_BADFORMAT	指定されたファイルが、ビットマップファイルでないか、あるいはサポートされていないフォーマットです。
固有エラー 10001	OPOS_FCL_EPTR_POWER_SUPPLY	プリンタ電源電圧異常が発生しました。このエラーは、印字メソッドの結果として発生し、 StatusUpdateEvent では通知されません。回復方法がないため、OCX を Close してください。
固有エラー 10002	OPOS_FCL_EPTR_DATA	送信データが異常です。このエラーは、印字メソッドの結果として発生し、 StatusUpdateEvent では通知されません。リトライ後も回復しないようであれば、OCX を Close してください。

固有エラー 10003	OPOS_FCL_EPTR_CUTTER	カッター異常が発生しました。このエラーは、印字メソッドの結果として発生し、 StatusUpdateEvent では通知されません。硬い物が挿入されて正常にカットできない可能性がありますので、原因を取り除けば復帰可能です。このとき OCX をディセーブル、 ReleaseDevice.Close する必要はありません。
固有エラー 10004	OPOS_FCL_EPTR_HARDWARE	ハードウェア異常が発生しました。このエラーは、印字メソッドの結果として発生し、 StatusUpdateEvent では通知されません。回復方法がないため、OCX を Close してください。
固有エラー 10005	OPOS_FCL_EPTR_HEADHOT	ヘッド温度異常が発生しました。このエラーは、印字メソッドの結果として発生し、 StatusUpdateEvent では通知されません。ヘッド温度が下がれば、復帰可能です。このとき OCX をディセーブル、 ReleaseDevice.Close する必要はありません。
固有エラー 10006	OPOS_FCL_EPTR_MARK	マーク未検出エラーが発生しました。このエラーは、印字メソッドの結果として発生し、 StatusUpdateEvent では通知されません。 MarkFeed メソッドの結果として通知されます。用紙ジャムの可能性が考えられます。原因を取り除けば復帰可能です。このとき、OCX をディセーブル、 ReleaseDevice.Close する必要はありません。
固有エラー 10007	OPOS_FCL_EPTR_PRESENTER	プレゼンターエラーが発生しました。用紙ジャムなどプレゼンターが用紙搬送できない可能性が考えられます。原因を取り除けば復帰可能です。このとき OCX をディセーブル、 ReleaseDevice.Close する必要はありません。

State プロパティ

形式

LONG State;

説明

コントロールの現在の状態を示します。

値	意味
OPOS_S_CLOSED(1)	コントロールはクローズしています。(デフォルト)
OPOS_S_IDLE(2)	コントロールは正常な状態にあり、ビジーではありません。
OPOS_S_BUSY(3)	コントロールは正常な状態にあり、出力を実行しているためビジーです。
OPOS_S_ERROR(4)	エラーが報告され、通常の I/O を再開するには、その前にアプリケーションがコントロールを正常な状態に戻さなければなりません。この状態を取りうるのは、ErrorEvent ハンドラ内部のみとなります。

このプロパティはいつでも読み取り可能です。

ControlObjectDescription プロパティ

形式

BSTR ControlObjectDescription;

説明

このプロパティでコントロールオブジェクトを識別します。

このプロパティはいつでも読み取り可能です。

ControlObjectVersion プロパティ

形式

LONG ControlObjectVersion;

説明

コントロールオブジェクトバージョン番号を示します。

このプロパティはいつでも読み取り可能です。

ServiceObjectDescription プロパティ

形式

BSTR ServiceObjectDescription;

説明

サービスオブジェクトディスクリプションが設定されています。

このプロパティは **Open** メソッドによって初期化されます。

ServiceObjectVersion プロパティ

形式

LONG ServiceObjectVersion;

説明

サービスオブジェクトバージョン番号を示します。

DeviceDescription プロパティ

形式

BSTR DeviceDescription;

説明

このプロパティは、デバイスとそれに関連する情報を示します。
このプロパティは **Open** メソッドによって初期化されます。

DeviceName プロパティ

形式

BSTR DeviceName;

説明

このプロパティは、デバイスとそれに関連する情報を示します。
このプロパティは **Open** メソッドにより初期化されます。

※以下の共通プロパティはサポートされません。

BOOL CapStatisticsReporting;

BOOL CapUpdateStatistics;

4. 4. 共通メソッド

CheckHealth メソッド

形式

LONG CheckHealth (LONG *Level*);

Level パラメーターは、デバイスで実行するヘルスチェックのタイプを示します。以下の値を指定できます。

値	意味
OPOS_CH_INTERNAL(1)	オンラインチェックを行います。結果を以下のように CheckHealthText プロパティに設定します。 POS プリンタが POS に接続されている且つ、電源 ON = “Internal HCheck: Successful” POS プリンタが POS に接続されていない、あるいは電源が入っていない = “Internal HCheck: OFF/OFFLINE”
OPOS_CH_EXTERNAL(2)	テスト印字を実行し、その結果を以下のように CheckHealthText プロパティに設定します。 印字できた = “External HCheck: Successful” 失敗した = “External HCheck: Failure”
OPOS_CH_INTERACTIVE(3)	UI を表示して印字実行をすることができます。 CheckHealthText プロパティは、実行後に “Interactive HCheck: Complete” が設定されます。

説明

デバイスの状態をテストするときに呼び出します。このメソッドの結果は **CheckHealthText** プロパティに格納されます。**CheckHealth** メソッドは常に同期です。

RS-232C 接続且つ *Level* が OPOS_CH_INTERNAL の場合、オフライン時も **CheckHealthText** プロパティを “Internal HCheck: OFF/OFFLINE” に設定します。

Bluetooth 接続の場合、*Level* が OPOS_CH_INTERNAL の動作は非サポートです。

戻り値

次の値のいずれかが戻され、**ResultCode** プロパティにも格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	ヘルスチェックプロシージャが適切に開始されたことを示し、確認できた場合、デバイスが正常であることを示します。しかし、正常かどうかはテスト結果を見ないと決定できません。
OPOS_E_ILLEGAL(106)	サポートされていない <i>Level</i> パラメーターが指定されました。
OPOS_E_NOHARDWARE(107)	OPOS_CH_INTERNAL(1) を指定して実行した結果、電源オフまたはオフラインでした。
OPOS_E_BUSY(113)	出力が進行中かエラー中のため実行できません。
その他	ResultCode の項目を参照してください。

ClaimDevice メソッド

形式

LONG ClaimDevice (LONG Timeout);

Timeout パラメーターは、排他アクセス権を獲得するまでの最大待ち時間(ミリ秒単位)を示します。

ゼロの場合、メソッドはデバイスの排他アクセスが獲得できなかった場合でも、その結果を直ちに返します。

OPOS_FOREVER(-1)が設定されている場合は、メソッドは排他アクセス権が獲得できるまで必要なだけ待ちます。

説明

デバイスに対して排他アクセスを要求するときに、このメソッドを呼び出します。

POS プリンタデバイスは排他アクセス権を獲得しなければ、使用することはできません。

成功すると、**Claimed** プロパティは **TRUE** に設定されます。

ClaimDevice メソッドを実行すると、POS プリンタデバイスとの接続を確立し、処理可能な状況であることを確認します。処理可能であれば、固定データを要求し、**ClaimDevice** メソッドは正常終了します。

戻り値

次の値のいずれかが返され、**ResultCode** プロパティにも格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	排他アクセス権が認められました。 Claimed プロパティは TRUE になっています。このアプリケーションがすでにデバイスを排他アクセスしていた場合も戻されます。
OPOS_E_ILLEGAL(106)	無効な Timeout パラメーターが指定されています。またはプリンタ未接続か、SO 内部でエラーが発生したため、処理を続行できませんでした。
OPOS_E_NOHARDWARE(107)	POS プリンタがオフラインです。これらを解消した後、もう一度実行してください。このエラーはプリンタがエラー状態(カバーオープンや用紙切れ等)でも発生します。
OPOS_E_FAILURE(111)	POS プリンタに接続できませんでした。シリアルポートの設定が間違っているか、既にシリアルポートを他のアプリケーションが使用している可能性があります。
OPOS_E_TIMEOUT(112)	別のアプリケーションがデバイスに排他アクセスしていて、解放されるのを待っていましたが Timeout 時間(ミリ秒単位)が過ぎました。もしくは、 Timeout 時間(ミリ秒)経過しても、POS プリンタデバイスが処理可能な状態になりませんでした。
その他	ResultCode の項目を参照してください。

ClearOutput メソッド

形式

LONG ClearOutput ();

説明

PrintNormal, CutPaper, RotatePrint, PrintBarCode, PrintBitmap, TransactionPrint の各メソッドの非同期発行によりバッファリングされている全てのデバイス出力をすべてクリアするときに呼び出します。また、RotatePrint メソッド、TransactionPrint メソッドにより回転モード、一括処理モード中の場合、解除を行ないません。

保留になっていた出力エラーイベント (FreezeEvents が FALSE に設定されるのを待ち合わせているもの) もクリアされます。

戻り値

次の値が戻され、ResultCode プロパティにも格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	出力がクリアされました。
OPOS_E_FAILURE(111)	デバイスは他のプロセスにより排他アクセスされています。
その他	ResultCode の項目を参照してください。

Close メソッド

形式

LONG Close ();

説明

デバイスとそのリソースを解放するときに呼び出します。

DeviceEnabled プロパティが **TRUE** の場合、まずデバイスがディセーブルにされます。

Claimed プロパティが **TRUE** の場合、まずデバイスの排他アクセスが解除されます。

イベント処理中(イベントハンドラ内)では実行しないでください。

戻り値

次の値のいずれかが戻され、**ResultCode** プロパティにも格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	デバイスがディセーブルにされ、クローズしました。
OPOS_E_BUSY(113)	非同期処理が実行中です。
その他	ResultCode の項目を参照してください。

CompareFirmWareVersion メソッド

形式

LONG CompareFirmWareVersion(BSTR *FirmWareFileName*, LONG* *pResult*);

値	意味
<i>FirmWareFileName</i>	デバイスのファームウェアバージョンを比較するファームウェアのデータファイルをフルパスで指定します。
<i>pResult</i>	比較結果が格納されます。

説明

このメソッドは、引数で示されるデータファイルのファームウェアバージョンと、デバイスのファームウェアバージョンを比較して、データファイルのバージョンが新しい、古い、同じであることを決定します。

プリンタモデルによっては非対応の場合があります。[プリンタ仕様](#)を参照して下さい。

pResult には比較結果として次の値のいずれかが格納されます。

値	意味
OPOS_CFV_FIRMWARE_OLDER (1)	データファイルのファームウェアバージョンが、デバイスのファームウェアバージョンより古いことを示します。
OPOS_CFV_FIRMWARE_SAME (2)	データファイルのファームウェアバージョンが、デバイスのファームウェアのバージョンと同じであることを示します。
OPOS_CFV_FIRMWARE_NEWER (3)	データファイルのファームウェアバージョンが、デバイスのファームウェアバージョンより新しいことを示します。

戻り値

次の値のいずれかが戻され、**ResultCode** プロパティにも格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	メソッドは正常に終了しました。
OPOS_E_ILLEGAL(106)	不正なパラメーターが指定されました。
OPOS_E_NOHARDWARE(107)	POS プリンタはオフ、またはオフラインです。
OPOS_E_NOEXIST(109)	<i>FirmWareFileName</i> によって示されるファイルが存在しません。
OPOS_E_BUSY(113)	出力中なので実行できません。
OPOS_E_EXTENDED(114)	ResultCodeExtended : ※に記載の値と説明を参照してください。
その他	ResultCode の項目を参照してください。

※戻り値 OPOS_E_EXTENDED(114)時の **ResultCodeExtended** 値

- OPOS_EFIRMWARE_BAD_FILE(281):
指定されたデータファイルが正しくありません。あるいはフォーマットが壊れています。
- OPOS_FCL_EFIRMWARE_DIFFERENT_BOOT(11001):
ファームウェアのブート領域の機種分類が異なります。
- OPOS_FCL_EFIRMWARE_DIFFERENT_MAIN(11002):
ファームウェアのメイン領域の機種分類が異なります。
- OPOS_FCL_EFIRMWARE_DIFFERENT_BOOTMAIN(11003):
ファームウェアのブート領域およびメイン領域の機種分類が異なります。

ブート領域やメイン領域の機種分類が異なるファームウェアをダウンロードすると、ファームウェア破損し復帰不能となる可能性があります。機種分類が異なる場合のダウンロード可否については、FCL コンポーネント(株)にお問

い合わせください。

DirectIO メソッド

形式

LONG DirectIO (LONG *Command*, LONG* *pData*, BSTR* *pString*);

パラメーター	説明
<i>Command</i>	コマンド番号。サービスオブジェクトが割り当てた特定値です。
<i>pData</i>	数値データのポインター。値はコマンド番号とサービスオブジェクトによって変化します。
<i>pString</i>	文字列データのポインター。値はコマンド番号とサービスオブジェクトによって変化します。

本リリースでの *Command* パラメーターの値は以下の通りです。

値	機能
OPOS_FCL_PTR_DIO_GET_QR_ENCODING(4)	QRコードのエンコーディング取得
OPOS_FCL_PTR_DIO_SET_QR_ENCODING(5)	QRコードのエンコーディング設定
OPOS_FCL_PTR_DIO_SEND_BINARY_DATA(10)	バイナリデータの送信

説明

Command パラメーターで指定された内容に従って、各機能を実行します。

戻り値

各コマンドによって変化します。各コマンドの機能説明を参照して下さい。

OPOS_FCL_PTR_DIO_GET_QR_ENCODING

パラメーター	説明
<i>Command</i>	OPOS_FCL_PTR_DIO_GET_QR_ENCODING(4)
<i>pData</i>	現在の設定が保持されます。
<i>pString</i>	使用しません。

説明

QR コードのエンコーディングを取得します。

この値は、**ClaimDevice** メソッドにより OPOS_FCL_PTR_DIO_SYSTEM_LOCALE に初期化されます。

pData の意味は [OPOS_FCL_PTR_DIO_SET_QR_ENCODING](#) を参照して下さい。

戻り値

次の値のいずれかが戻され、**ResultCode** プロパティにも格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	メソッドは正常終了しました。
OPOS_E_ILLEGAL(106)	不正な値が指定されました。
その他	ResultCode の項目を参照してください。

OPOS_FCL_PTR_DIO_SET_QR_ENCODING

パラメーター	説明
<i>Command</i>	OPOS_FCL_PTR_DIO_SET_QR_ENCODING(5)
<i>pData</i>	OPOS_FCL_PTR_DIO_SYSTEM_LOCALE(0)または OPOS_FCL_PTR_DIO_UTF8(1)
<i>pString</i>	使用しません。

説明

QRコードのエンコーディングを設定します。デフォルトは OPOS_FCL_PTR_DIO_SYSTEM_LOCALE です。本コマンドによる設定は、一度 Close()～Open()するとデフォルト設定に戻りますので、必要に応じて再設定して下さい。

BinaryConversion プロパティが OPOS_BC_NONE 以外の場合、エンコーディングは OPOS_FCL_PTR_DIO_SYSTEM_LOCALE 固定となります。

pData が OPOS_FCL_PTR_DIO_SYSTEM_LOCALE ならば、**PrintBarCode** メソッドで QRコード印刷時、システムロケールでエンコードします。

pData が OPOS_FCL_PTR_DIO_UTF8 ならば、**PrintBarCode** メソッドで QRコード印刷時、UTF-8 でエンコードします。

戻り値

次の値のいずれかが戻され、**ResultCode** プロパティにも格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	メソッドは正常終了しました。
OPOS_E_ILLEGAL(106)	不正な値が指定されました。
OPOS_E_BUSY(113)	出力中なので実行できません。
その他	ResultCode の項目を参照してください。

OPOS_FCL_PTR_DIO_SEND_BINARY_DATA

パラメーター	説明
<i>Command</i>	OPOS_FCL_PTR_DIO_SEND_BINARY_DATA (10)
<i>pData</i>	PTR_S_RECEIPT(2)を指定
<i>pString</i>	送信するバイナリデータを指定 最大サイズは 192 × 1024 文字です。

説明

バイナリデータを送信します。

送信するデータによっては他のメソッドの動作に影響があります。

transactionPrint による一括処理および **rotatePrint** によるバッファリングは行われません。

pString で指定可能な値は U+0000～U+00FF です。

pString は **BinaryConversion** プロパティで指定された値によって変換されます。

戻り値

次の値のいずれかが戻され、**ResultCode** プロパティにも格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	メソッドは正常終了しました。
OPOS_E_ILLEGAL(106)	不正な値が指定されました。
その他	ResultCode の項目を参照してください。

Open メソッド

形式

LONG Open (BSTR DeviceName);
DeviceName パラメーターは、オープンするデバイス名を指定します。
“FTP-POSPrinter”を指定してください。

説明

デバイスをオープンするときに呼び出します。
Open メソッドが成功すると、共通プロパティ、その他のクラス固有プロパティが初期化されます。

戻り値

次の値のいずれかが戻され、**ResultCode** プロパティにも格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	オープンに成功しました。
OPOS_E_NOSERVICE(104)	対応するサービスオブジェクトに接続できません。
OPOS_E_ILLEGAL(106)	該当のコントロールはすでにオープンしています。
OPOS_E_NOEXIST(109)	指定された DeviceName が見つかりません。
OPOS_E_FAILER(111)	OCX の初期化に失敗しました。

ReleaseDevice メソッド

形式

LONG ReleaseDevice ();

説明

デバイスの排他アクセスを解除するときにこのメソッドを呼び出します。
DeviceEnabled プロパティが **TRUE** で排他デバイスならば、デバイスはディセーブルにされます。イベント処理中(イベントハンドラ内)では実行しないでください。

戻り値

次の値のいずれかが戻され、**ResultCode** プロパティにも格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	排他アクセスが解除されました。 Claimed プロパティは FALSE になります。
OPOS_E_ILLEGAL(106)	アプリケーションは該当のデバイスへの排他アクセス権を持っていません。
OPOS_E_BUSY(113)	非同期処理が実行中です。
その他	ResultCode プロパティの説明を参照ください。

ResetStatistics メソッド

形式

LONG ResetStatistics(**BSTR** *StatisticsBuffer*);

説明

本 OCX ではサポートされません。

戻り値

次の値のいずれかが戻され、**ResultCode** プロパティにも格納されます。

値	意味
OPOS_E_ILLEGAL(106)	サポートされていません。
その他	ResultCode の項目を参照してください。

RetrieveStatistics メソッド

形式

LONG RetrieveStatistics(**BSTR*** *pStatisticsBuffer*);

説明

本 OCX ではサポートされません。

戻り値

次の値のいずれかが戻され、**ResultCode** プロパティにも格納されます。

値	意味
OPOS_E_ILLEGAL(106)	サポートされていません。
その他	ResultCode の項目を参照してください。

UpdateStatistics メソッド

形式

LONG UpdateStatistics(**BSTR** *StatisticsBuffer*);

説明

本 OCX ではサポートされません。

戻り値

次の値のいずれかが戻され、**ResultCode** プロパティにも格納されます。

値	意味
OPOS_E_ILLEGAL(106)	サポートされていません。
その他	ResultCode の項目を参照してください。

UpdateFirmware メソッド

形式

LONG UpdateFirmware(BSTR *FirmWareFileName*);

値	意味
<i>FirmWareFileName</i>	デバイスにダウンロードされるファームウェアのデータファイルをフルパスで指定します。

説明

このメソッドは、デバイスのファームウェアバージョンに関わらず、*FirmWareFileName* で指定したデータファイルでファームウェアの更新を行います。

このメソッドを実行すると、OCX は指定されたデータファイルの内容を解析します。データファイルが正常であればこのメソッドは直ちに終了し、ファームウェア更新処理の残りは非同期に継続されます。OCX はファームウェア更新処理の状態を OPOS_SUE_UF_PROGRESS(2100) に 1, 25, 50, 75 を加えたパーセント値と、ファームウェアの更新終了後プリンタの初期化完了時に OPOS_SUE_UF_COMPLETE を StatusUpdateEvent でアプリケーションに通知します。

プリンタモデルによっては非対応場合があります。[プリンタ仕様](#)を参照して下さい。

ファームウェア更新を非同期に実行している途中でエラーが検出されれば、以下の StatusUpdateEvent が通知されます。

値	意味
OPOS_UF_FAILED_DEV_OK(2201)	ファームウェア更新処理が失敗しましたが、デバイスはまだ操作可能です。
OPOS_UF_FAILED_DEV_UNKNOWN (2204)	ファームウェア更新処理が失敗し、デバイスは不安定な状態です。

戻り値

次の値のいずれかが戻され、**ResultCode** プロパティにも格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	メソッドは正常に終了しました。
OPOS_E_ILLEGAL(106)	不正なパラメーターが指定されました。
OPOS_E_NOHARDWARE(107)	POS プリンタはオフ、またはオフラインです。
OPOS_E_NOEXIST(109)	<i>FirmWareFileName</i> によって示されるファイルが存在しません。
OPOS_E_BUSY(113)	出力中なので実行できません。
OPOS_E_EXTENDED(114)	ResultCodeExtended = OPOS_EFIRMWARE_BAD_FILE(281): 指定されたデータファイルが正しくありません。あるいはフォーマットが壊れています。
その他	ResultCode の項目を参照してください。

4. 5. 専用プロパティ

AsyncMode プロパティ R/W

形式

BOOL AsyncMode;

説明

TRUE: PrintNormal, CutPaper, MarkFeed, PrintBarCode, PrintBitmap, RotatePrint, TransactionPrint の印刷メソッドが非同期で実行されます。

FALSE: メソッドが同期で実行されます。

このプロパティは、Open メソッドにより FALSE に初期化されます。

CapCharacterSet プロパティ

形式

LONG CapCharacterSet;

説明

POS プリンタの印刷可能な文字設定を示します。

このプロパティには、次に示す値が入ります。プリンタによってはこれらの範囲以上の文字を印刷可能な場合があります。

値	意味
---	----

PTR_CCS_ASCII(998)	文字設定は、0x20 と 0x7F の間の全ての ASCII 文字をサポートします。
--------------------	--

このプロパティは、Open メソッドにより初期化されます。

CapCoverSensor プロパティ

形式

BOOL CapCoverSensor;

説明

TRUE: POS プリンタは「カバーオープンセンサー」を持ちます。

このプロパティは、Open メソッドにより初期化されます。

CapMapCharacterSet プロパティ

形式

BOOL CapMapCharacterSet;

説明

TRUE: サービスオブジェクトは文字を CharacterSetList プロパティに定義された文字セットにマッピングすることが可能です。

このプロパティは、Open メソッドにより初期化されます

CapRec2Color プロパティ

形式

BOOL CapRec2Color;

説明

FALSE: 2 色印字は不可です。

このプロパティは、**Open** メソッドにより初期化されます。

CapRecBarCode プロパティ

形式

BOOL CapRecBarCode;

説明

TRUE: レシートのバーコード印刷が可能です。

このプロパティは、**Open** メソッドにより初期化されます。

CapRecBitmap プロパティ

形式

BOOL CapRecBitmap;

説明

TRUE: レシートのビットマップ印刷が可能です。

このプロパティは、**Open** メソッドにより初期化されます。

CapRecBold プロパティ

形式

BOOL CapRecBold;

説明

TRUE: レシートのボールド属性が可能です。

このプロパティは、**Open** メソッドにより初期化されます。

本プロパティが TRUE となる場合でも、プリンタモデルによっては非対応の場合があります。[プリンタ仕様](#)を参照して下さい。

CapRecCartridgeSensor プロパティ

形式

LONG CapRecCartridgeSensor;

説明

0: レシートカートリッジセンサーの機能はサポートされません。

このプロパティは、**Open** メソッドにより初期化されます。

CapRecColor プロパティ

形式

LONG CapRecColor;

説明

0: レシートカラー印刷の機能はサポートされません。
このプロパティは、**Open** メソッドにより初期化されます。

CapRecDhigh プロパティ

形式

BOOL CapRecDhigh;

説明

TRUE: レシートの縦倍角属性が可能です。
このプロパティは、**Open** メソッドにより初期化されます。

CapRecDwide プロパティ

形式

BOOL CapRecDwide;

説明

TRUE: レシートの横倍角属性が可能です。
このプロパティは、**Open** メソッドにより初期化されます。

CapRecDwideDhigh プロパティ

形式

BOOL CapRecDwideDhigh;

説明

TRUE: レシートの縦横倍角属性が可能です。
このプロパティは、**Open** メソッドにより初期化されます。

CapRecEmptySensor プロパティ

形式

BOOL CapRecEmptySensor;

説明

TRUE: レシートの「用紙無しセンサー」を持ちます。
このプロパティは、**Open** メソッドにより初期化されます。

CapRecItalic プロパティ

形式

BOOL CapRecItalic;

説明

FALSE: レシートのイタリック属性は不可能です。

このプロパティは、Open メソッドにより初期化されます。

CapRecLeft90 プロパティ

形式

BOOL CapRecLeft90;

説明

TRUE: レシートの左 90 度回転属性は可能です。

このプロパティは、Open メソッドにより初期化されます。

本プロパティが TRUE となる場合でも、プリンタモデルによっては非対応場合があります。[プリンタ仕様](#)を参照して下さい。

CapRecMarkFeed プロパティ

形式

LONG CapRecMarkFeed;

説明

PTR_MF_TO_NEXT_TOF(8): 次のマーク付き用紙の先頭へフィードできます。

このプロパティは、Open メソッドにより初期化されます。

CapRecNearEndSensor プロパティ

形式

BOOL CapRecNearEndSensor;

説明

TRUE: レシートの「用紙ニアエンドセンサー」を持ちます。

このプロパティは、Open メソッドにより初期化されます。

本プロパティが TRUE となる場合でも、プリンタモデルによっては非対応場合があります。[プリンタ仕様](#)を参照して下さい。

CapRecPapercut プロパティ

形式

BOOL CapRecPapercut;

説明

TRUE: レシートの用紙カット機能が可能です。

このプロパティは、Open メソッドにより初期化されます。

本プロパティが TRUE となる場合でも、プリンタモデルによっては非対応場合があります。[プリンタ仕様](#)を参照して下さい。

FTP2166000EQ

FTP-POS

POSPrinter OPOS コントロール機能仕様書

CapRecPresent プロパティ

形式

BOOL CapRecPresent;

説明

TRUE:レシートが可能です。

このプロパティは、**Open** メソッドにより初期化されます。

CapRecRight90 プロパティ

形式

BOOL CapRecRight90;

説明

TRUE:レシートの右 90 度回転属性が可能です。

このプロパティは、**Open** メソッドにより初期化されます。

本プロパティが TRUE となる場合でも、プリンタモデルによっては非対応場合があります。[プリンタ仕様](#)を参照して下さい。

CapRecRotate180 プロパティ

形式

BOOL CapRecRotate180;

説明

TRUE:レシートの 180 度回転属性が可能です。

このプロパティは、**Open** メソッドにより初期化されます。

CapRecStamp プロパティ

形式

BOOL CapRecStamp;

説明

FALSE:レシートのスタンプ印刷が不可能です。

このプロパティは、**Open** メソッドにより初期化されます。

CapRecUnderline プロパティ

形式

BOOL CapRecUnderline;

説明

TRUE:レシートのアンダーライン属性が可能です。

このプロパティは、**Open** メソッドにより初期化されます。

本プロパティが TRUE となる場合でも、プリンタモデルによっては非対応場合があります。[プリンタ仕様](#)を参照して下さい。

CapTransaction プロパティ

形式

BOOL CapTransaction;

説明

TRUE:POS プリンタの一括処理が有効です。
このプロパティは、**Open** メソッドにより初期化されます。

CartridgeNotify プロパティ R/W

形式

LONG CartridgeNotify;

説明

カートリッジの状態通知機能の有効/無効を示します。
このプロパティは、アプリケーションにより設定されます。

値	意味
PTR_CN_DISABLED(0)	コントロールは、アプリケーションに対してカートリッジ状態通知を提供しません。カートリッジ状態通知に関する StatusUpdateEvent は通知されず、また RecCartridgeState プロパティには何も設定されません。

このプロパティは、**Open** メソッドで PTR_CN_DISABLED(0) に初期化されます。

戻り値

本プロパティ設定時、次の値のいずれかが **ResultCode** プロパティに格納されます。

値	意味
OPOS_E_ILLEGAL(106)	本プロパティの設定はできません。
その他	ResultCode の項目を参照してください。

CharacterSet プロパティ R/W

形式

LONG CharacterSet;

説明

文字の印字に用いるキャラクターを設定します。

このプロパティは、**Open** メソッド後、最初にデバイスをイネーブルにした時に初期化されます。

プリンタが搭載する ROM により印刷可能な文字は異なります。

このプロパティは、**Open** メソッドで PTR_CS_ASCII (998)に初期化されます。

このプロパティには、次に示す値の内の一つが設定されます。

値	意味
437	CP437(USA:Standard Europe)文字セットを選択します。0x20～0x7E、0x80～0xFE をサポートします。 BinaryConversion プロパティが OPOS_BC_NIBBLE もしくは OPOS_BC_DECIMAL の場合、プリンタモデルによっては、0xFF を指定することで '€' の印刷が可能です。 プリンタ仕様 を参照して下さい。
932	Windows のコードページ; 日本語 Shift-JIS。
950	Windows のコードページ; 繁体字 Big5。
PTR_CS_ASCII (998)	ASCII キャラクターを設定します。0x20 と 0x7F の間の ASCII キャラクターをサポートします。この定数値は 998 です。
PTR_CS_WINDOWS(999)	Windows ANSI キャラクターを設定します。これは CP1252 と同じです。0x20～0x7E をサポートします。プリンタモデルによっては、0x80('€')の印刷が可能です。 プリンタ仕様 を参照して下さい。

戻り値

本プロパティ設定時、次の値のいずれかが **ResultCode** プロパティに格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	このプロパティの設定に成功しました。
OPOS_E_ILLEGAL(106)	不正な値が使用されました。
その他	ResultCode の項目を参照してください。

CharacterSetList プロパティ

形式

BSTR CharacterSetList;

説明

キャラクター設定番号の文字列。"437,932,950,998,999"が設定されます。このプロパティは、**Open** メソッドにより初期化されます。

CoverOpen プロパティ

形式

BOOL CoverOpen;

説明

TRUE:POS プリンタのカバーが開いている状態です。

FALSE:POS プリンタのカバーが閉まっています。

このプロパティは、デバイスをイネーブルにしている間に初期化され、現状を保持します。

FTP2166000EQ

FTP-POS

POSPrinter OPOS コントロール機能仕様書

ErrorLevel プロパティ

形式

LONG ErrorLevel;

説明

エラー状態の重大さを示します。
このプロパティには、次に示す値の内の一つが設定されます。

値	意味
PTR_EL_NONE(1)	エラー状態ではありません。
PTR_EL_RECOVERABLE(2)	復帰可能エラーが発生しました。
PTR_EL_FATAL(3)	復帰不可能エラーが発生しました。 ResultCode =OPOS_E_EXTENDED(114), ResultCodeExtended =OPOS_FCL_EPTR_POWERSUPPLY(10001), OPOS_FCL_EPTR_HARDWARE(10004) が発生した場合、設定されます。

このプロパティは、**ErrorEvent** が通知される前に、コントロールにより設定されます。復帰不可能エラーと復帰可能エラーが同時に POS プリンタから通知された場合、復帰不可能エラーを優先して設定します。エラーが解除されれば、このプロパティは PTR_EL_NONE(1)に変わります。

ErrorStation プロパティ

形式

LONG ErrorStation;

説明

エラーを察知した時に、印刷している POS プリンタ (PTR_S_RECEIPT(2)) を保持します。エラーが解除されれば、このプロパティは、0 に設定されます。

このプロパティは **ErrorEvent** が通知される前に設定されます。

ErrorString プロパティ

形式

BSTR ErrorString;

説明

現在のエラーについてのベンダー固有の記述を保持します。

このプロパティは、**ErrorEvent** が通知される前に、コントロールにより設定されます。この記述を利用しないならば、プロパティには空文字列が設定されます。エラーが解除されれば、このプロパティは空文字列に変わります。

尚、同時に複数のエラーが検知された場合には、下記の優先度で設定されます。

POS プリンタで設定されるのは以下の文言です。

優先度高

・ハードウェア異常	"Hardware Error"
・プリンタ電源電圧異常発生時	"Power Supply Error"
・ヘッド温度異常発生時	"Head Hot"
・送信データ異常発生時	"Data Error"
・カッター異常	"Cutter Error"
・プレゼンター異常発生時	"Presenter Error"
・マークエラー発生時	"Mark Error"
・カバーオープン発生時	"Cover Open"
・レシートエンド発生時	"Paper End"
・送信タイムアウト	"Timeout"
・オフ/オフライン	"Offline"

優先度低

FlagWhenIdle プロパティ R/W

形式

BOOL FlagWhenIdle;

説明

TRUE: POS プリンタコントロールがアイドル状態であれば、**StatusUpdateEvent** を通知します。

FALSE: このイベントは通知されません。

このステータスイベントが通知されると、**FlagWhenIdle** は自動的に **FALSE** にリセットされます。

このプロパティを使用してステータスイベントを利用することにより、アプリケーションは全ての非同期出力が終了した時を知ることができます。出力が正常終了した時、または **ErrorEvent** を受け取ったイベントハンドラにより出力が削除された時に、イベントが通知されます。

もし、**FlagWhenIdle** プロパティを **TRUE** に設定する時に、**State** プロパティが既に **OPOS_S_IDLE(2)** であれば、**StatusUpdateEvent** は直ちに通知されます。従って、非同期出力の終了とこのフラグの設定のずれ違いを気にせずに、アプリケーションはこのイベントを使用できます。

このプロパティは、**Open** メソッドにより **FALSE** に初期化されます。

本プロパティ設定時、次の値が **ResultCode** プロパティに格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	プロパティは正常に設定されました。

FontTypefaceList プロパティ

形式

BSTR FontTypefaceList;

説明

空文字列が設定されています。デフォルトのフォントタイプだけがサポートされていることを示します。

このプロパティは、**Open** メソッドにより初期化されます。

MapCharacterSet プロパティ R/W

形式

BOOL MapCharacterSet;

説明

TRUE: **MapCharacterSet** が true の場合、デバイスサービスは印字の際に、アプリケーションから依頼された文字を、**CharacterSet** プロパティで指定した文字にマッピングします。

このプロパティは常に TRUE です。

このプロパティは、**Open** メソッドにより初期化されます。

MapMode プロパティ R/W

形式

LONG MapMode;

説明

POS プリンタのマッピングモードを示します。マッピングモードは他のプロパティで使用するラインの高さや行間を示すような尺度の単位を定義します。

以下のマップモードをサポートしています。()内の値は、単位あたりを dot 換算した値です。

値	意味
PTR_MM_DOTS(1)	POS プリンタのドット幅 0.125mm (1 dot)
PTR_MM_TWIPS(2)	1 インチの 1/1440 (0.1409 dot)
PTR_MM_ENGLISH(3)	0.001 インチ (0.203 dot)
PTR_MM_METRIC(4)	0.01 ミリメートル (0.08 dot)

MapMode を設定すると、RecLineSpacing、RecLineWidth、RecLineHeight も変化します。

Open メソッド後最初にデバイスをイネーブルにした時に、PTR_MM_DOTS(1)に初期化されます。

戻り値

本プロパティ設定時、次の値が ResultCode プロパティに格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	プロパティは正常に設定されました。
OPOS_E_ILLEGAL(106)	不正なマッピングモードが指定されました。

RecBarcodeRotationList プロパティ

形式

BSTR RecBarcodeRotationList;

説明

この文字列は、レシートのバーコードが回転できる方向を示します。

本プロパティで設定されている回転方向であっても、プリンタモデルによっては非対応の場合があります。[プリンタ仕様](#)を参照して下さい。

このプロパティは、Open メソッドにより初期化されます。文字列は、カンマで区切られた回転方向を示す文字列群で構成されます。回転方向を示す文字列は以下の内容になります。

値	意味
0	バーコードは通常の方法に印刷できます。
R90	バーコードは右 90 度に回転印刷できます。
L90	バーコードは左 90 度に回転印刷できます。
180	バーコードは 180 度(倒立)に回転印刷できます。

RecBitmapRotationList プロパティ

形式

BSTR RecBitmapRotationList;

説明

この文字列は、レシートのビットマップが回転できる方向を示します。

本プロパティで設定されている回転方向であっても、プリンタモデルによっては非対応の場合があります。[プリンタ仕様](#)を参照して下さい。

このプロパティは、**Open** メソッドにより初期化されます。文字列は、カンマで区切られた回転方向を示す文字列群で構成されます。回転方向を示す文字列は以下の内容になります。

値	意味
0	ビットマップは通常の方法に印刷できます。
R90	ビットマップは右 90 度に回転印刷できます。
L90	ビットマップは左 90 度に回転印刷できます。
180	ビットマップは 180 度(倒立)に回転印刷できます。

RecCartridgeState プロパティ

形式

LONG RecCartridgeState;

説明

現在選択されているレシートのカートリッジ(インク、リボン、トナー)の状態を示します。

本 POS プリンタはサーマルプリンタなので、この値は以下の値で固定値です。

値	意味
PTR_CART_UNKNOWN(268435456)	
デバイスは、カートリッジ状態通知機能をサポートしていません。	
このプロパティは、デバイスをイネーブルにしている間に初期化され、現状を保持します。	

RecCurrentCartridge プロパティ R/W

形式

LONG RecCurrentCartridge;

説明

レシートカートリッジの選択はサポートされません。0 で初期化されています。

戻り値

本プロパティ設定時、次の値のいずれかが **ResultCode** プロパティに格納されます。

値	意味
OPOS_E_ILLEGAL(106)	カートリッジの指定は無効です。
その他	ResultCode の項目を参照してください。

RecEmpty プロパティ

形式

BOOL RecEmpty;

説明

TRUE: レシート用紙は紙切れです。

FALSE: レシート用紙はあります。

このプロパティは、デバイスをイネーブルにしている間に初期化され、現状を保持します。

RecLetterQuality プロパティ R/W

形式

BOOL RecLetterQuality;

説明

TRUE: レシートは品質優先で印刷されます。(中速モードでの印刷)

FALSE: レシートは速度優先で印刷されます。(高速モードでの印刷)

このプロパティは、**Open** メソッド後最初にデバイスをイネーブルにした時に、**FALSE** に初期化されます。

戻り値

本プロパティ設定時、次の値が **ResultCode** プロパティに格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	プロパティは正常に設定されました。

RecLineChars プロパティ R/W

形式

LONG RecLineChars;

説明

レシートの一行に印字される半角文字の文字数です。

[プリンタ仕様](#)の”フォント”を参照して下さい。

この値が、サポートされている行文字幅に変われば、文字幅はその指定された値に設定されます。正確な幅がサポートできない場合、サポートされている行文字幅の中で、指定された値より大きく、かつ最も近い値に設定されます。(例えば、印字幅 576 ドット時に、プリンタに 40 をセットした場合、サービスオブジェクトは文字のサイズ「48」を選択します)。もし、文字幅がサポートできなければ、エラーが返されます。

RecLineChars を 設 定 す る こ と に よ り 、 **RecLineHeight**、 **RecLineSpacing**、 **RecSideWayMaxChars**、 **RecSidewaysMaxlines** プロパティも更新されます。

戻り値

本プロパティ設定時、次の値のいずれかが **ResultCode** プロパティに格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	プロパティは正常に設定されました。
OPOS_E_ILLEGAL(106)	不正な行文字幅が指定されました。

RecLineCharsList プロパティ

形式

BSTR RecLineCharsList;

説明

レシートによりサポートされる行文字幅を含む文字列です。

このプロパティは、Open メソッドにより、初期化されます。値は[プリンタ仕様](#)を参照して下さい。

RecLineHeight プロパティ R/W

形式

LONG RecLineHeight;

説明

レシート印刷の高さです。MapMode で定義された単位で表記します。

RecLineChars が変わると、RecLineHeight は、選択された幅に対するデフォルトの行高に更新されます。

RecLineHeight の値は、Open メソッドにより POS プリンタのデフォルトの行高に初期化されます。

値は[プリンタ仕様](#)を参照して下さい。

戻り値

本プロパティ設定時、次の値のが ResultCode プロパティに格納されます。

値	意味
OPOS_E_ILLEGAL(106)	本プロパティの設定はできません。取得のみ可能です。

RecLineSpacing プロパティ R/W

形式

LONG RecLineSpacing;

説明

通常文字の印刷行の高さを示します。すなわち、印字行の高さと行間スペースの高さの両方を加えたものです。本プロパティは MapMode で定義された単位で表記します。

RecLineChars が変わったとき、新しい RecLineHeight が RecLineSpacing に指定された値より大きい場合は、RecLineHeight と同じ値が設定されます。

RecLineSpacing の値は、Open メソッド後に、POS プリンタのデフォルトの行間に初期化されます。

16(dot) ~ 255(dot) の範囲で設定が可能となります。

プリンタ仕様により RecLineHeight と RecLineSpacing が等しい場合、スムーズに印刷することができません。

RecLineSpacing は RecLineHeight よりも大きな値を指定することを推奨します。

戻り値

本プロパティ設定時、次の値のが ResultCode プロパティに格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	プロパティは正常に設定されました。
OPOS_E_ILLEGAL(116)	プロパティの設定範囲が不正です。
その他	PrintNormal メソッドを参照してください。

RecLinesToPaperCut プロパティ

形式

LONG RecLinesToPaperCut;

説明

レシート用紙が切られる前に、進まなければならない行数を保持します。

これは用紙カット機構に着くまでの行数です。

RecLineChars プロパティや **RecLineSpacing** プロパティを変えることによって、このプロパティは更新されます。

RecLineWidth プロパティ

形式

LONG RecLineWidth;

説明

RecLineChars の一行の幅です。**MapMode** で定義された単位で表記します。

このプロパティは、**Open** メソッド後に初期化されます。

値はプリンタモデルによって異なります。[プリンタ仕様](#)を参照して下さい。

RecNearEnd プロパティ

形式

BOOL RecNearEnd;

説明

TRUE: レシート用紙がニアエンドです。

FALSE: ニアエンドではありません。

このプロパティは、デバイスをイネーブルにした時に初期化され、イネーブルしている間、カレント値が保持されます。

RecSidewaysMaxChars プロパティ

形式

LONG RecSidewaysMaxChars;

説明

サイドウェイモード(左右 90 度回転印刷)において、各行に印刷される半角文字の最大文字数です。

値はプリンタによって異なります。[プリンタ仕様](#)を参照して下さい。

RecSidewaysMaxLines プロパティ

形式

LONG RecSidewaysMaxLines;

説明

サイドウェイモード(左右 90 度回転印刷)において、印刷される最大行数です。

RecLineWidth プロパティを **RecLineSpacing** プロパティで割った値となります。ただし、割った値の余りが、**RecLineHeight** プロパティ(フォントの高さ)と等しいか、あるいは大きい場合は、割った値に +1 された値となります。従って **RecLineSpacing** プロパティを変えることにより、このプロパティは変わります。

本プロパティは、**Open** メソッド後最初にデバイスをイネーブルにした時に初期化されます。

RotateSpecial プロパティ R/W

形式

LONG RotateSpecial;

説明

バーコードの回転方向を示します。

このプロパティは、**Open** メソッドにより PTR_RP_NORMAL(1)に初期化されます。

本プロパティで設定可能な回転方向であっても、プリンタモデルによっては非対応の場合があります。[プリンタ仕様](#)を参照して下さい。

このプロパティには、次に示す値の内の一つが設定されます。

値	意味
PTR_RP_NORMAL(1)	バーコードは通常の方法に印刷できます。
PTR_RP_RIGHT90(257)	バーコードは右 90 度に回転印刷できます。
PTR_RP_LEFT90(258)	バーコードは左 90 度に回転印刷できます。
PTR_RP_ROTATE180(259)	バーコードは 180 度(倒立)に回転印刷できます。

戻り値

本プロパティ設定時、次の値のいずれかが **ResultCode** プロパティに格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	プロパティは正常に設定されました。
OPOS_E_ILLEGAL(106)	不正なプロパティ値が指定されました。

※以下の POS プリンタ専用プロパティはサポートされません。

BOOL CapConcurrentJrnRec;	LONG JrnCartridgeState;
BOOL CapConcurrentJrnSlp;	LONG JrnCurrentCartridge;
BOOL CapConcurrentRecSlp;	BOOL JrnEmpty;
BOOL CapJrn2Color;	BOOL JrnLetterQuality;
BOOL CapJrnBold;	LONG JrnLineChars;
LONG CapJrnCartridgeSensor;	BSTR JrnLineCharsList;
LONG CapJrnColor;	LONG JrnLineHeight;
BOOL CapJrnDhigh;	LONG JrnLineSpacing;
BOOL CapJrnDwide;	LONG JrnLineWidth;
BOOL CapJrnDwideDhigh;	BOOL JrnNearEnd;
BOOL CapJrnEmptySensor;	BSTR SlpBarCodeRotationList;
BOOL CapJrnItalic;	BSTR SlpBitmapRotationList;
BOOL CapJrnNearEndSensor;	LONG SlpCartridgeState;
BOOL CapJrnPresent;	LONG SlpCurrentCartridge;
BOOL CapJrnUnderline;	BOOL SlpEmpty;
BOOL CapSlp2Color;	BOOL SlpLetterQuality;
BOOL CapSlpBarCode;	LONG SlpLineChars;
BOOL CapSlpBitmap;	BSTR SlpLineCharsList;
BOOL CapSlpBold;	LONG SlpLineHeight;
BOOL CapSlpBothSidesPrint;	LONG SlpLinesNearEndToEnd;
LONG CapSlpCartridgeSensor;	LONG SlpLineSpacing;
LONG CapSlpColor;	LONG SlpLineWidth;
BOOL CapSlpDhigh;	LONG SlpMaxLines;
BOOL CapSlpDwide;	BOOL SlpNearEnd;
BOOL CapSlpDwideDhigh;	LONG SlpSidewaysMaxChars;
BOOL CapSlpEmptySensor;	LONG SlpSidewaysMaxLines;
BOOL CapSlpFullslip;	LONG SlpPrintSide;
BOOL CapSlpItalic;	BOOL CapConcurrentPageMode;
BOOL CapSlpLeft90;	BOOL CapRecPageMode;
BOOL CapSlpNearEndSensor;	BOOL CapSlpPageMode;
BOOL CapSlpPresent;	BSTR PageModeArea;
BOOL CapSlpRight90;	LONG PageModeDescriptor;
BOOL CapSlpRotate180;	LONG PageModeHorizontalPosition;
BOOL CapSlpUnderline;	LONG PageModePrintArea;
	LONG PageModePrintDirection;
	LONG PageModeStation
	LONG PageModeVerticalPosition

4. 6. 専用メソッド

BeginInsertion メソッド

形式

LONG BeginInsertion (**LONG** Timeout);

説明

このメソッドはスリッププリンタを対象としているため、本 OCX ではサポートされません。

戻り値

次の値のいずれかが戻され、**ResultCode** プロパティにも格納されます。

値	意味
OPOS_E_ILLEGAL(106)	POS プリンタはスリップを持っていません。
その他	ResultCode の項目を参照してください。

BeginRemoval メソッド

形式

LONG BeginRemoval (**LONG** Timeout);

説明

このメソッドはスリッププリンタを対象としているため、本 OCX ではサポートされません。

戻り値

次の値のいずれかが戻され、**ResultCode** プロパティにも格納されます。

値	意味
OPOS_E_ILLEGAL(106)	POS プリンタはスリップを持っていません。
その他	ResultCode の項目を参照してください。

ChangePrintSide メソッド

形式

LONG ChangePrintSide (**LONG** Side);

説明

このメソッドはスリッププリンタを対象としているため、本 OCX ではサポートされません。

戻り値

次の値のいずれかが戻され、**ResultCode** プロパティにも格納されます。

値	意味
OPOS_E_ILLEGAL(106)	POS プリンタはスリップを持っていません。
その他	ResultCode の項目を参照してください。

ClearPrintArea メソッド

形式

LONG ClearPrintArea ();

説明

本 OCX ではサポートされません。

戻り値

次の値のいずれかが戻され、**ResultCode** プロパティにも格納されます。

値	意味
OPOS_E_ILLEGAL(106)	本メソッドはサポートされません。
その他	ResultCode の項目を参照してください。

CutPaper メソッド

形式

LONG CutPaper (LONG *Percentage*);

Percentage パラメーターは、カットすべき用紙のパーセンテージを示します。100 が指定された場合は“フルカット”、1～99 が指定された場合は“パーシャルカット”のみとなります。

説明

レシート用紙を切る時にこのメソッドを呼び出します。

プリンタモデルによっては非対応場合があります。[プリンタ仕様](#)を参照して下さい。

このメソッドは、**AsyncMode** が **FALSE** ならば、同期的に実行され、**AsyncMode** が **TRUE** ならば、非同期的に実行されます。**PrintNormal** や **PrintImmediate** メソッド呼び出しの際に、用紙カットのエスケープシーケンスを用いても用紙カットを行うことができます。尚、POS プリンタにバッファリングされているデータがある場合（印字要求をしたが、POS プリンタに印字されていない場合）は、バッファ内のデータ印字後にカットされます。

戻り値

次の値のいずれかが戻され、**ResultCode** プロパティにも格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	メソッドは正常終了しました。
OPOS_E_ILLEGAL(106)	不正なパーセンテージが指定されました。または、本プリンタは用紙カットに対応していません。
OPOS_E_NOHARDWARE(107)	POS プリンタはオフ、またはオフラインです。
OPOS_E_FAILURE(111)	OPOS コントロールはエラー状態です。エラー状態を解除して実行してください。
OPOS_E_BUSY(113)	出力中なので実行できません。
その他	ResultCode の項目を参照してください。

EndInsertion メソッド

形式

LONG EndInsertion ();

説明

このメソッドはスリッププリンタを対象としているため、本 OCX ではサポートされません。

戻り値

次の値のいずれかが戻され、**ResultCode** プロパティにも格納されます。

値	意味
OPOS_E_ILLEGAL(106)	POS プリンタはスリップを持っていません。
その他	ResultCode の項目を参照してください。

EndRemoval メソッド

形式

LONG EndRemoval ();

説明

このメソッドはスリッププリンタを対象としているため、本 OCX ではサポートされません。

戻り値

次の値のいずれかが戻され、**ResultCode** プロパティにも格納されます。

値	意味
OPOS_E_ILLEGAL(106)	POS プリンタはスリップを持っていません。
その他	ResultCode の項目を参照してください。

MarkFeed メソッド

形式

LONG MarkFeed (LONG *Type*);

Type パラメーターは、マーク付き用紙のハンドリングの種類を示します。

Type パラメーターの値は、以下の通りです。

値	意味
PTR_MF_TO_NEXT_TOF(8)	次のマーク付用紙の先頭を印字位置までフィードします。

説明

このメソッドは、レシート用紙用のマーク付用紙を利用するために使用されます。このメソッドは、**AsyncMode** が **FALSE** ならば、同期的に実行され、**AsyncMode** が **TRUE** ならば、非同期的に実行されます。

戻り値

次の値のいずれかが戻され、**ResultCode** プロパティにも格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	メソッドは正常終了しました。
OPOS_E_ILLEGAL(106)	不正なパラメーターが指定されました。
OPOS_E_NOHARDWARE(107)	POS プリンタはオフ、またはオフラインです。
OPOS_E_FAILURE(111)	OPOS コントロールはエラー状態です。エラー状態を解除して実行してください。
OPOS_E_BUSY(113)	出力中なので実行できません。
その他	ResultCode の項目を参照してください。

PageModePrintArea メソッド

形式

LONG PageModePrint (LONG *Control*);

説明

本 OCX ではサポートされません。

戻り値

次の値のいずれかが戻され、**ResultCode** プロパティにも格納されます。

値	意味
OPOS_E_ILLEGAL(106)	本メソッドはサポートされません。
その他	ResultCode の項目を参照してください。

PrintBarCode メソッド

形式

LONG PrintBarCode (LONG Station, BSTR Data, LONG Symbology, LONG Height, LONG Width, LONG Alignment, LONG TextPosition);

パラメーター	説明
<i>Station</i>	PTR_S_RECEIPT(2)を指定
<i>Data</i>	バーコードの文字列。データのフォーマットは BinaryConversion プロパティの値に依存します。詳細は BinaryConversion プロパティを参照してください。
<i>Symbology</i>	使用されるバーコードタイプ。(以下の値を参照)
<i>Height</i>	バーコードの高さ。 MapMode で定義された単位で表記します。1～255dot まで設定可能です。
<i>Width</i>	バーコードの幅。 MapMode で定義された単位で表記します。正立／倒立の場合は、 RecLineWidth プロパティの値まで設定可能です。また、右左 90 度回転の場合の値はプリンタによって異なります。
<i>Alignment</i>	バーコードの位置。下記の値を参照。
<i>TextPosition</i>	文字列の位置。プリンタによっては非対応です。以下の値を参照。

本リリースでの *Symbology* パラメーターの値は以下の通りです。プリンタによって対応するバーコードは異なります。[プリンタ仕様](#)を参照して下さい。

値	ラベルタイプ
PTR_BCS_UPCA(101)	UPC-A
PTR_BCS_UPCE(102)	UPC-E
PTR_BCS_EAN8(103)	EAN 8 (= JAN 8)
PTR_BCS_JAN8(103)	JAN 8 (= EAN 8)
PTR_BCS_EAN13(104)	EAN 13 (= JAN 13)
PTR_BCS_JAN13(104)	JAN 13 (= EAN 13)
PTR_BCS_ITF(106)	Interleaved 2 of 5
PTR_BCS_Codabar(107)	Codabar(NW-7)
PTR_BCS_Code39(108)	Code 39
PTR_BCS_Code128(110)	Code 128
PTR_BCS_PDF417(201)	PDF417
PTR_BCS_MAXICODE(202)	MaxiCode(モード 2)
PTR_BCS_OTHER(501)	MaxiCode(モード 3)
PTR_BCS_OTHER+1(502)	MaxiCode(モード 4、モード 5)
PTR_BCS_OTHER+2(503)	MaxiCode(モード 6)
PTR_BCS_OTHER+3(504)	QRCODE
PTR_BCS_OTHER+4(505)	GS1DataBar Omnidirectional
PTR_BCS_OTHER+5(506)	GS1DataBar Truncated
PTR_BCS_OTHER+6(507)	GS1DataBar Stacked
PTR_BCS_OTHER+7(508)	GS1DataBar Stacked Omnidirectional
PTR_BCS_OTHER+8(509)	GS1DataBar Limited
PTR_BCS_OTHER+9(510)	GS1DataBar Expanded
PTR_BCS_OTHER+10(511)	GS1DataBar Expanded Stacked

Alignment パラメーターの値は、以下の通りです。プリンタによっては対応していません。[プリンタ仕様](#)を参照して下さい。**RotateSpecial** もしくは **RotatePrint** メソッドによる 90 度回転時は PTR_BC_LEFT を指定して下さい。

値	意味
PTR_BC_LEFT(-1)	左寄せ(印字データに対して実行するので、180 度回転印字時は、POS プリンタ印字方向に対しては右寄せとなります。)
PTR_BC_CENTER(-2)	センタリング
PTR_BC_RIGHT(-3)	右寄せ(印字データに対して実行するので、180 度回転印字時は、POS プリンタ印字方向に対しては左寄せとなります。)
その他	バーコード印刷を開始する左端からの距離。 MapMode で定義された単位で表記します。 <i>Width</i> パラメーターで指定されたバーコード幅から OCX が算出する実際のバーコード印字幅+左端からの距離が RecLineWidth プロパティの値を超える場合、OPOS_E_ILLEGAL(106)が返ります。

TextPosition パラメーターの値は、以下の通りです。プリンタによっては対応していません。[プリンタ仕様](#)を参照して下さい。

値	意味
PTR_BC_TEXT_NONE(-11)	テキストは印字しない。バーコードのみ印刷します。
PTR_BC_TEXT_ABOVE(-12)	バーコードの上にテキストを印字します。
PTR_BC_TEXT_BELOW(-13)	バーコードの下にテキストを印字します。

説明

指定した POS プリンタにバーコードを印刷する時にこのメソッドを呼び出します。
このメソッドは、**AsyncMode** が **FALSE** ならば、同期的に実行され、**AsyncMode** が **TRUE** ならば、非同期的に実行されます。

Symbology 毎のバーコード印字可能条件を以下に示します。

Symbology	印字可能な キャラクター種別	文字列長	<i>Width</i> (dots)
PTR_BCS_UPCA	'0' ~ '9' の 10 種	11 ~ 12	95 ~ 864
PTR_BCS_UPCE		11 ~ 12	51 ~ 864
PTR_BCS_EAN8 PTR_BCS_JAN8		7 ~ 8	67 ~ 864
PTR_BCS_EAN13 PTR_BCS_JAN13		12 ~ 13	95 ~ 864
PTR_BCS_CODE39	'0' ~ '9', 'A' ~ 'Z', 空白, '\$', '%', '+', '-', ':', '/' の 43 種 (スタート・ストップキャラクター '*' は自動で付加されます。)	1 ~ 34	47 ~ 864
PTR_BCS_ITF	'0' ~ '9' の 10 種	2 ~ 62	27 ~ 864
PTR_BCS_CODABAR	0' ~ '9', 'A' ~ 'D', '\$', '+', '-', ':', '/', ':' の 20 種	3 ~ 71	41 ~ 864

FTP2166000EQ

FTP-POS

POSPrinter OPOS コントロール機能仕様書

PTR_BCS_CODE128	Code Set A: 0x00 ~ 0x5F Code Set B 0x20 ~ 0x7F Code Set C 0x00 ~ 0x63 但し、“”[“を含むキャラクターは除く。詳細は後述。	3~51	46~864
PTR_BCS_PDF417	0x00 ~ 0xFF	1~410byte	158~864
PTR_BCS_MAXICODE (モード 2)	Primary Message 数字“0~9” Secondary Message 0x01 ~ 0xFF	18~85	228(サイズ固定)
PTR_BCS_OTHER (MAXI モード 3)	Primary Message 郵便コード “0~9”, “A~Z”, 空白, “ “#\$%&’()*+,-./ ” 国名コード サービスコード 数字(0~9) Secondary Message 0x01 ~ 0xFF	15~85	228(サイズ固定)
PTR_BCS_OTHER + 1 (MAXI モード 4,モード 5)	0x01 ~ 0xFF	1~80	228(サイズ固定)
PTR_BCS_OTHER + 2 (MAXI モード 6)	0x01 ~ 0xFF	1~80	228(サイズ固定)
PTR_BCS_OTHER + 3 (QR コード)	数字モード 数字“0~9” 英数字モード ‘0’ ~ ‘9’, ‘A’ ~ ‘Z’, 空白, ‘\$’, ‘%’, ‘*’, ‘+’, ‘-’, ‘:’, ‘/’, ‘.’ バイトモード 0x00 ~ 0xFF シフト JIS 漢字モード 第 1 バイト 0x81 ~ 0x9F, 0xE0 ~ 0xEA 第 2 バイト 0x40 ~ 0x7E, 0x80 ~ 0xFC	1~2048byte	21 ~

PTR_BCS_OTHER + 4 (GS1DataBar Omnidirectional) PTR_BCS_OTHER + 5 (GS1DataBar Truncated) PTR_BCS_OTHER + 6 (GS1DataBar Stacked) PTR_BCS_OTHER + 7 (GS1DataBar Stacked Omnidirectional) PTR_BCS_OTHER + 8 (GS1DataBar Limited)	'0' - '9' の 10 種	13～14	～864
PTR_BCS_OTHER + 9 (GS1DataBar Expanded) PTR_BCS_OTHER + 10 (GS1DataBar Expanded Stacked)	'0' - '9', 'A' - 'Z', 'a' - 'z', 空白, '!', '"', '%', '&', "'", '), '*', '+', ',', '-', ':', '/', ';', '<', '=', '>', '?', '_', FNC1(0x1D)	1～77 (数字のみ時) ※最大データ長 は文字種類に変 動。	～864

各バーコードの印字幅決定アルゴリズムを以下に示します。最終的なバーコードの印字幅(dot)は、パラメータを変更していき、バーコード印字可能条件を超えない範囲で *Width* にもっとも近い値で印字を行います。

Symbology	印字幅計算式
PTR_BCS_UPCA	バーコード幅 = $95 \times \text{dotNarrow}$
PTR_BCS_UPCE	バーコード幅 = $51 \times \text{dotNarrow}$
PTR_BCS_JAN8	バーコード幅 = $67 \times \text{dotNarrow}$
PTR_BCS_JAN13	バーコード幅 = $95 \times \text{dotNarrow}$
PTR_BCS_CODE39	バーコード幅 = $(6 \times \text{dotNarrow} + 3 \times \text{dotWide}) \times (2 + \text{Length}) + (\text{Length} + 1) \times \text{dotNarrow}$ (Length = 印字キャラクター数、dotWide = $3 \times \text{dotNarrow}$)
PTR_BCS_ITF	バーコード幅 = $(3 \times \text{dotNarrow} + 2 \times \text{dotWide}) \times \text{Length} + (6 \times \text{dotNarrow} + \text{dotWide})$ (Length = 印字キャラクター数、dotWide = $3 \times \text{dotNarrow}$)
PTR_BCS_CODABAR	バーコード幅 = $(5 \times \text{dotNarrow} + 2 \times \text{dotWide}) \times (\text{Length} - \text{Wlen}) + (4 \times \text{dotNarrow} + 3 \times \text{dotWide}) \times \text{Wlen} + \text{dotNarrow} \times \text{Length}$ (Length = 印字キャラクター数、dotWide = $3 \times \text{dotNarrow}$ 、Wlen = “:”, “/”, “.”, “+”, “A”, “B”, “C”, “D” の文字数)
PTR_BCS_CODE128	バーコード幅 = $11 \times \text{dotNarrow} \times \text{Length} + 13 \times \text{dotNarrow}$ (Length = 印字キャラクター数 - 特殊キャラクター※) ※ “{” が先頭についているキャラクター数。”[AA[BA”が指定されたときは、Length = $6 - 2 = 4$ となります。
PTR_BCS_PDF417	バーコード幅 = $(17 \times \text{LineSum} + 69) \times \text{dotNarrow} + 2 \times 2 \times \text{dotNarrow}$ (LineSum = 1 段のカラム数)
PTR_BCS_MAXICODE PTR_BCS_OTHER PTR_BCS_OTHER + 1 PTR_BCS_OTHER + 2	シンボル幅 = 228 ドット シンボル高さ = 228 ドット
PTR_BCS_OTHER + 3 (QR コード)	シンボル幅 = $(21 + (4 \times (\text{バージョン} - 1))) \times \text{モジュールサイズ}$ ※バージョンはデータ長により変化します。
PTR_BCS_OTHER + 4 (GS1DataBar Omnidirectional)	シンボル幅 = $96 \times \text{モジュールサイズ}$ シンボル高さ = $33 \times \text{モジュールサイズ}$
PTR_BCS_OTHER + 5 (GS1DataBar Truncated)	シンボル幅 = $96 \times \text{モジュールサイズ}$ シンボル高さ = $13 \times \text{モジュールサイズ}$
PTR_BCS_OTHER + 6 (GS1DataBar Stacked)	シンボル幅 = $50 \times \text{モジュールサイズ}$ シンボル高さ = $(13 + \text{分離パターン倍率}) \times \text{モジュールサイズ}$
PTR_BCS_OTHER + 7 (GS1DataBar Stacked omnidirectional)	シンボル幅 = $50 \times \text{モジュールサイズ}$ シンボル高さ = $(66 + 3 \times \text{分離パターン倍率}) \times \text{モジュールサイズ}$
PTR_BCS_OTHER + 8 (GS1DataBar Limited)	シンボル幅 = $74 \times \text{モジュールサイズ}$ シンボル高さ = $10 \times \text{モジュールサイズ}$
PTR_BCS_OTHER + 9 (GS1DataBar Expanded)	シンボル幅 = $((49 \times \text{セグメント数}) + 8) \times \text{モジュールサイズ} \div 2$ シンボル高さ = $34 \times \text{モジュールサイズ}$ ※セグメント数は、データ長により変化します。

FTP2166000EQ

FTP-POS

POSPrinter OPOS コントロール機能仕様書

PTR_BCS_OTHER + 10 (GS1DataBar Expanded Stacked)	シンボル幅 = $((49 \times \text{セグメント数}) + 8) \times \text{モジュールサイズ} \div 2$ シンボル高さ = $(34 \times \text{スタック段数} + 3 \times \text{分離パターン倍率} \times (\text{スタック段数} - 1)) \times \text{モジュールサイズ}$ ※セグメント数およびスタック段数は、データ長により変化します。 最大サイズは(シンボル幅 \div 8) \times シンボル高さが 64KB 以下となります。
--	--

バーコード印字注意点について

- CODE39 を印字する場合、スタートキャラクター、ストップキャラクターの"*"は自動的に付加されますので、キャラクターに設定する必要はありません。
- ITF を指定する場合、キャラクター数は偶数で指定する必要があります。奇数を指定した場合、OPOS_E_ILLEGAL(106)が返ります。
- CODABAR を指定する場合、キャラクターの先頭と末尾はかならず、"A"～"D"のいずれかである必要があります。よって、その間に任意のキャラクターを設定した合計 3 文字以上で指定する必要があります。これに従っていない場合は、OPOS_E_ILLEGAL(106)が返ります。
- UPC-E を指定する場合、展開は下記の表に基づいて行われます。UPC-A レフトコードは、先頭 2～6 キャラクター、UPC-A ライトコードは、先頭 7～11 キャラクター目を示し、短縮されるコードが実際に UPC-E として印字されます。UPC-A 先頭キャラクターが 0 以外か、下記の表に基づかないキャラクターが指定された場合、OPOS_E_ILLEGAL(106)が返ります。

例 05810000226 → 58226 に変換されます。

09859363583 → OPOS_E_ILLEGAL が返ります。

メーカーコード UPC-A のレフトコード					アイテムコード UPC-A のライトコード					短縮コード					
F1	F2	F3	F4	F5	A1	A2	A3	A4	A5	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6
0-9	0-9	0	0	0	0	0	0-9	0-9	0-9	F1	F2	A3	A4	A5	0
0-9	0-9	1	0	0	0	0	0-9	0-9	0-9	F1	F2	A3	A4	A5	1
0-9	0-9	2	0	0	0	0	0-9	0-9	0-9	F1	F2	A3	A4	A5	2
0-9	0-9	3-9	0	0	0	0	0	0-9	0-9	F1	F2	F3	A4	A5	3
0-9	0-9	0-9	1-9	0	0	0	0	0	0-9	F1	F2	F3	F4	A5	4
0-9	0-9	0-9	0-9	1-9	0	0	0	0	5-9	F1	F2	F3	F4	F5	A5

- CODE128 を印字する場合は以下のようにキャラクターを設定します。
 - バーコードの先頭は、"A", "B", "C" のいずれかを指定してください。以下をそれぞれ、CODE A, CODE B, CODE C に設定します。
 - ファンクションコードを指定するには、"1", "2", "3", "4" を指定します。それぞれ、FNC1, FNC2, FNC3, FNC4 の指定となります。尚、CODE C では、FNC1 のみ有効です。CODE C で、FNC1 以外を指定すると OPOS_E_ILLEGAL(106)が返ります。
 - CODE B で、"I" を印字するには、"II" を指定してください。
 - SHIFT を設定するには、"S" を指定してください。以後の 1 キャラクターのコードセットが、CODE A ↔ CODE B のようにシフトします。CODE C で指定した場合、OPOS_E_ILLEGAL(106)が返ります。

FTP2166000EQ

FTP-POS

POSPrinter OPOS コントロール機能仕様書

CODE A, CODE B, CODE C で印字可能なキャラクターを次に示します。

【Code128】

印字するキャラクター			印字するキャラクター		
CODE-A	CODE-B	CODE-C	CODE-A	CODE-B	CODE-C
SPACE	SPACE	00(00H)	U	U	53(35H)
!	!	01(01H)	V	V	54(36H)
“	“	02(02H)	W	W	55(37H)
#	#	03(03H)	X	X	56(38H)
\$	\$	04(04H)	Y	Y	57(39H)
%	%	05(05H)	Z	Z	58(3AH)
&	&	06(06H)	[[59(3BH)
‘	‘	07(07H)	/	/	60(3CH)
((08(08H)]]	61(3DH)
))	09(09H)	^	^	62(3EH)
*	*	10(0AH)	-	-	63(3FH)
+	+	11(0BH)	NULL(00H)	`	64(40H)
,	,	12(0CH)	SOH(01H)	a	65(41H)
-	-	13(0DH)	STX(02H)	b	66(42H)
.	.	14(0EH)	ETX(03H)	c	67(43H)
/	/	15(0FH)	EOT(04H)	d	68(44H)
0	0	16(10H)	ENG(05H)	e	69(45H)
1	1	17(11H)	ACK(06H)	f	70(46H)
2	2	18(12H)	BEL(07H)	g	71(47H)
3	3	19(13H)	BS(08H)	h	72(48H)
4	4	20(14H)	HT(09H)	i	73(49H)
5	5	21(15H)	LF(0AH)	j	74(4AH)
6	6	22(16H)	VT(0BH)	k	75(4BH)
7	7	23(17H)	FF(0CH)	l	76(4CH)
8	8	24(18H)	CR(0DH)	m	77(4DH)
9	9	25(19H)	SO(0EH)	n	78(4EH)
:	:	26(1AH)	SI(0FH)	o	79(4FH)
;	;	27(1BH)	DLE(10H)	p	80(50H)
<	<	28(1CH)	DC1(11H)	q	81(51H)
=	=	29(1DH)	DC2(12H)	r	82(52H)

FTP2166000EQ

FTP-POS

POSPrinter OPOS コントロール機能仕様書

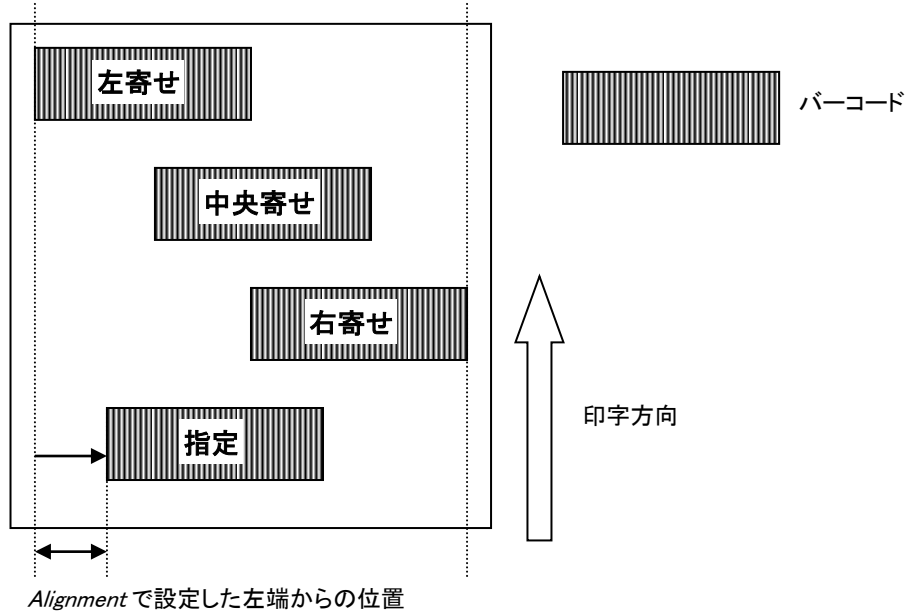
>	>	30(1EH)	DC3(13H)	s	83(53H)
?	?	31(1FH)	DC4(14H)	t	84(54H)
@	@	32(20H)	NAK(15H)	u	85(55H)
A	A	33(21H)	SYN(16H)	v	86(56H)
B	B	34(22H)	ETB(17H)	w	87(57H)
C	C	35(23H)	CAN(18H)	x	88(58H)
D	D	36(24H)	EM(19H)	y	89(59H)
E	E	37(25H)	SUB(1AH)	z	90(5AH)
F	F	38(26H)	ESC(1BH)	{ “{”	91(5BH)
G	G	39(27H)	FS(1CH)		92(5CH)
H	H	40(28H)	GS(1DH)	}	93(5DH)
I	I	41(29H)	RS(1EH)	~	94(5EH)
J	J	42(2AH)	US(1FH)	DEL	95(5FH)
K	K	43(2BH)			96(60H)
L	L	44(2CH)			97(61H)
M	M	45(2DH)			98(62H)
N	N	46(2EH)			99(63H)
O	O	47(2FH)	以下は、“{”を指定して利用します。		
P	P	48(30H)	FNC 3 “{3”	FNC 3 “{3”	
Q	Q	49(31H)	FNC 2 “{2”	FNC 2 “{2”	
R	R	50(32H)	SHIFT “{S”	SHIFT “{S”	
S	S	51(33H)	CODE C “{C”	CODE C “{C”	
T	T	52(34H)	CODE B “{B”	CODE A “{A”	CODE B “{B”
			FNC 4 “{4”	FNC 4 “{4”	CODE A “{A”
			FNC 1 “{1”	FNC 1 “{1”	FNC 1 “{1”

6. PDF417 はデータ長の増加に伴い、バーコードの段数が増加します。OCX は内部で縦横のサイズを近似計算し、指定された *Width* パラメーター、*Height* パラメーターに合わせて印字を行います。データ長の増加に伴い、エラー訂正コードワードも増加するため、正確なデータ長を計算する事ができません。少し余裕を持って判断し、印字可能と判断した場合のみデータを印字します。印字不可と判断した場合は OPOS_E_ILLEGAL(106)を返します。
- BinaryConversion** プロパティが OPOS_BC_NONE の場合、*Data* をシステムロケールでエンコードし PDF417 を印刷します。**BinaryConversion** プロパティが OPOS_BC_NONE 以外の場合、**BinaryConversion** プロパティの値に合わせて変換した *Data* を使用して PDF417 を印刷します。
7. MAXICODE はシンボルサイズ固定長のため、*Width* パラメーター、*Height* パラメーターの値に関係なく、一定の大きさで印字されます。*Width*、*Height* のパラメーターが 0 以下の場合のみ、OPOS_E_ILLEGAL(106)を返します。MAXICODE はエンコード後のデータ長が不明のため、データ長のチェックを正確に行えません。少し余裕を持って判断し、印字可能と判断した場合にデータを印字します。モード2、モード3については Secondary Message が 70byte を超える場合に OPOS_E_ILLEGAL(106)を返します。モード4～モード6については *Data* が 80byte を超える場合に OPOS_E_ILLEGAL(106)を返します。
- モード4 とモード5 の違いは、エラー訂正レベルの違いです。データ量が少ない場合(50byte 以下)は、エラー訂正レベルの高いモード5 を利用します。
8. **BinaryConversion** プロパティが OPOS_BC_NONE の場合、*Data* をシステムロケールでエンコードし QR コードを印刷します。**DirectIO** メソッドによりエンコーディングを UTF-8 に変更することが可能です。**BinaryConversion** プロパティが OPOS_BC_NONE 以外の場合、**BinaryConversion** プロパティの値に合わせて変換した *Data* を使用して QR コードを印刷します。
- QRコードはサイズが縦横同じサイズであるため、*Width* パラメーターで指定された値の近似値を印字します。*Height* パラメーターは 0 以下の場合のみ OPOS_E_ILLEGAL(106)を返します。印字サイズは QR コードのデータ長とキャラクターモード、モジュールサイズ、誤り訂正レベルによって決定されます。QRコードの印字サイズは、誤り訂正レベルは M、モジュールサイズは 1モジュール 3×3あるいは 4×4 ドットから *Width* パラメーター値の近似値を算出して決定します。
9. GS1DataBar のサイズはやモジュールサイズは、*Width* パラメーター値の近似値を算出して決定します。
- GS1DataBar Expanded および Expanded Stacked で印刷可能なデータ長は、最大 77 文字(数字のみ)となります。但し、指定する文字の種類によって印刷可能なデータ長は変動します。
10. *TextPosition* の指定で HRI 文字(Human Readable Interpretation) の有無と位置の設定を行います。PTR_BC_TEXT_ABOVE ではバーコードの上側に、PTR_BC_TEXT_BELLOW ではバーコードの下側にバーコード幅に合わせてフォントサイズを変更して HRI 文字を印刷します。
- 2次元コードの PDF417、MAXICODE、QR CODE、GS1DataBar では HRI 文字は印刷しません。

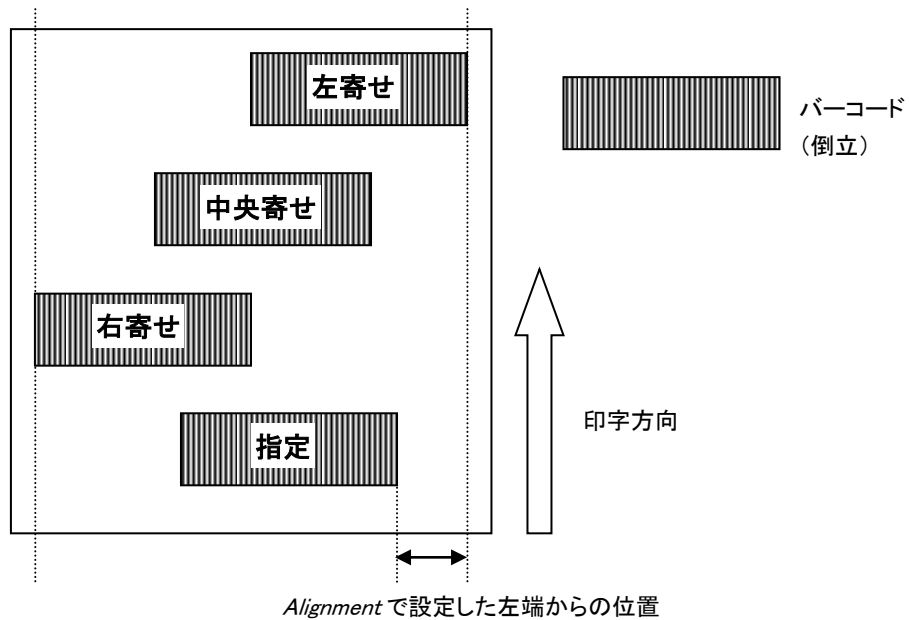
11. エスケープシーケンスの ESC |bC(ボールド)は、ESC|N(ノーマル)あるいは文字列先頭で解除します。そのため、ボールド指定のままバーコード印字を行うと HRI 文字もボールドとなります。

RotateSpecial もしくは RotatePrint を使用したバーコードの回転印字について

正立印字時の、*Alignment* 指定による印字位置の変化



倒立印字時の、*Alignment* 指定による印字位置の変化



戻り値

次の値のいずれかが戻され、**ResultCode** プロパティにも格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	メソッドは正常終了しました。
OPOS_E_ILLEGAL(106)	以下のエラーの一つが起きました。 <ul style="list-style-type: none">・ <i>Station</i> が存在しません。・ <i>Station</i> がバーコード印刷をサポートしていません。・ <i>Height</i> あるいは <i>Width</i> が、0 あるいは大きすぎます。・ サポートされていない <i>Symbology</i> です。・ <i>Symbology</i> でサポートされていない文字があります。・ <i>Alignment</i> が、不正な値であるか、大きすぎます (<i>Alignment</i> を絶対位置指定した場合は、<i>Alignment</i> の指定値と、バーコードの実際の印字幅 (<i>Width</i> に一番近い値で計算した値) の合計値が、印字可能幅を超える場合)。・ <i>TextPosition</i> が、不正な値です。
OPOS_E_NOHARDWARE(107)	POS プリンタはオフ、またはオフラインです。
OPOS_E_FAILURE(111)	OPOS コントロールはエラー状態です。エラー状態を解除して実行してください。
OPOS_E_BUSY(113)	出力中なので実行できません。
その他	ResultCode の項目を参照してください

PrintBitmap メソッド

形式

LONG PrintBitmap (**LONG** *Station*, **BSTR** *FileName*, **LONG** *Width*, **LONG** *Alignment*);

パラメーター	説明
<i>Station</i>	PTR_S_RECEIPT(2)を指定
<i>FileName</i>	Windows ビットマップファイル名。ファイルは圧縮されたフォーマットではないけません。(フルパスまたは相対パス指定)
<i>Width</i>	ビットマップの印刷幅。下記の値を参照。
<i>Alignment</i>	ビットマップの印刷位置。下記の値を参照。

Width パラメーターの値は、以下の通りです。

値	意味
PTR_BM_ASIS(-11)	POS プリンタのドット当たり 1 ビットマップピクセルで、ビットマップを印刷します。
その他	ビットマップ幅。 MapMode で定義された単位で表記します。有効値は、1～ RecLineWidth ※プロパティの値までです。

Alignment パラメーターの値は、以下の通りです。**RotatePrint** メソッドによる 90 度回転時は PTR_BM_LEFT を指定して下さい。

値	意味
PTR_BM_LEFT(-1)	左寄せ
PTR_BM_CENTER(-2)	センタリング
PTR_BM_RIGHT(-3)	右寄せ
その他	ビットマップ印刷を開始する左端からの距離。 MapMode で定義された単位で表記します。 <i>Width</i> との合計値が、 <i>Width</i> パラメーターの制限を超えてはいけません。

説明

指定されたプリンタにビットマップを印刷する時にこのメソッドを呼び出します。読み込んだビットマップをモノクロームにして、印字します。

PrintBitmap は呼び出された時点でビットマップデータをプリンタに送信するため、良好なパフォーマンスが得られません。**SetBitmap** とエスケープシーケンスによるビットマップの印刷を推奨します。

このメソッドは、**AsyncMode** が **FALSE** ならば、同期的に実行され、**AsyncMode** が **TRUE** ならば、非同期的に実行されます。

Width パラメーターはビットマップの変換をコントロールします。もし、*Width* が PTR_BM_ASIS ならば変換は実行されません。ビットマップは POS プリントドット当たり 1 ビットマップピクセルで印刷されます。

もし *Width* が 0 でなければ、ビットマップは、その幅が指定された幅でそのアスペクト比が変化しないように、拡大・圧縮変換されます。

印刷可能なビットマップの高さは 1023dot 以下となります。

印刷可能な Windows ビットマップファイルは、1/4/8/24bit かつ非圧縮フォーマットとなります。

戻り値

次の値のいずれかが戻され、**ResultCode** プロパティにも格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	メソッドは正常終了しました。
OPOS_E_ILLEGAL(106)	以下のエラーの内、一つが起きました。 ・ <i>Station</i> が存在しません。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ <i>Station</i> がビットマップ印刷をサポートしていません。 ・ <i>Width</i> が大きすぎます。 ・ <i>Alignment</i> が、不正な値であるか、大きすぎます。
OPOS_E_NOHARDWARE(107)	POS プリンタはオフ、またはオフラインです。
OPOS_E_FAILURE(111)	OPOS コントロールはエラー状態です。エラー状態を解除して実行してください。
OPOS_E_NOEXIST(109)	<i>FileName</i> で指定されたファイルが見つかりませんでした。
OPOS_E_BUSY(113)	出力中なので実行できません。(AsyncMode が FALSE の時のみ返されます。)
その他	ResultCode の項目を参照してください。

PrintImmediate メソッド

形式

LONG PrintImmediate (LONG Station, BSTR Data);

パラメーター	説明
<i>Station</i>	PTR_S_RECEIPT(2)を指定
<i>Data</i>	印刷される文字。プリント可能な文字とエスケープシーケンス、キャリッジリターン(13 decimal)、ニューライン/ラインフィード(10 decimal)から成ります。 詳細は BinaryConversion プロパティを参照してください。

説明

POS プリンタに *Data* を印刷する時にこのメソッドを呼び出します。最大桁数を越える分の印刷データは次の行に折り返して印刷します。

Data 内の特別なキャラクターの値は、以下の通りです。

値	意味
Newline/Line Feed (10)	バッファ内のデータを印字後、次の行へ進みます。(キャリッジリターンは、その行を印刷するためには必要ありません。)
Carriage Return(13)	もし、キャリッジリターンがラインフィードのすぐ前にあれば、キャリッジリターンは無視されます。 キャリッジリターンはラインフィードのように振る舞います。 ValidateData メソッドは、ラインフィード無しのキャリッジリターンが可能か否かと、そのために逆フィードがサポートされる必要があるか否かを決定するために利用されます。

戻り値

次の値のいずれかが戻され、**ResultCode** プロパティにも格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	メソッドは正常終了しました。
OPOS_E_ILLEGAL(106)	指定した POS プリンタ(レシート以外)が存在しません。
OPOS_E_NOHARDWARE(107)	POS プリンタはオフ、またはオフラインです。
OPOS_E_FAILURE(111)	OPOS コントロールはエラー状態です。エラー状態を解除して実行してください。
OPOS_E_BUSY(113)	出力中なので実行できません。
その他	ResultCode の項目を参照してください

PrintNormal メソッド

形式

LONG PrintNormal (LONG Station, BSTR Data);

パラメーター	説明
Station	PTR_S_RECEIPT(2)を指定
Data	印刷される文字。プリント可能な文字とエスケープシーケンス、キャリッジリターン(13 decimal)、ニューライン/ラインフィード(10 decimal)から成ります。 詳細は BinaryConversion プロパティを参照してください。

説明

レシートプリンタに *Data* を印刷する時にこのメソッドを呼び出します。最大桁数を越える分の印刷データは次の行に折り返して印刷します。

このメソッドは、**AsyncMode** が **FALSE** ならば、同期的に実行され、**AsyncMode** が **TRUE** ならば、非同期的に実行されます。

Data 内の特別なキャラクターの値は、以下の通りです。

値	意味
Newline/Line Feed (10)	バッファ内のデータを印字後、次の行へ進みます。 (キャリッジリターンは、その行を印刷するためには必要ありません。)
Carriage Return(13)	もし、キャリッジリターンがラインフィードのすぐ前にあれば、キャリッジリターンは無視されます。 キャリッジリターンはラインフィードのように振る舞います。 ValidateData メソッドは、ラインフィード無しのキャリッジリターンが可能か否かと、そのために逆フィードがサポートされる必要があるか否かを決定するために利用されます。

戻り値

次の値のいずれかが戻され、**ResultCode** プロパティにも格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	メソッドは正常終了しました。
OPOS_E_ILLEGAL(106)	指定した POS プリンタ(レシート以外)が存在しません。
OPOS_E_NOHARDWARE(107)	POS プリンタはオフ、またはオフラインです。
OPOS_E_FAILURE(111)	OPOS コントロールはエラー状態です。エラー状態を解除して実行してください。
OPOS_E_BUSY(113)	出力中なので実行できません。
その他	ResultCode の項目を参照してください。

PrintTwoNormal メソッド

形式

LONG PrintTwoNormal (**LONG** *Stations*, **BSTR** *Data1*, **BSTR** *Data2*);

パラメーター	説明
<i>Station</i>	使用される POS プリントステーション。
<i>Data1</i>	第 1 のステーションに印刷される文字。
<i>Data2</i>	第 2 のステーションに印刷される文字。 詳細は BinaryConversion プロパティを参照してください。

説明

2 つの文字列を 2 つの POS プリンタに同時に印字する時にこのメソッドを呼び出します。
このメソッドはスリッププリンタを対象としているため、本 OCX ではサポートされません。

戻り値

次の値のいずれかが戻され、**ResultCode** プロパティにも格納されます。

値	意味
OPOS_E_ILLEGAL(106)	指定した POS プリンタ(レシート以外)が存在しません。
その他	ResultCode の項目を参照してください。

RotatePrint メソッド

形式

LONG RotatePrint (LONG Station, LONG Rotation);

パラメーター	説明
<i>Station</i>	PTR_S_RECEIPT(2)を指定
<i>Rotation</i>	回転方向。下記の値を参照。 <i>Rotation</i> の値は、以下の通りです。
値	意味
PTR_RP_RIGHT90(257)	右に 90 度回転(時計回りに)印刷の開始。
PTR_RP_LEFT90(258)	左に 90 度回転(時計と反対回りに)印刷の開始。
PTR_RP_ROTATE180(259)	180 度回転印刷、つまり、倒立印字の開始。
PTR_RP_BARCODE(4096)	回転バーコード印刷の開始。この値は上記の回転印刷開始の値の1つとの論理和。
PTR_RP_BITMAP(8192)	回転ビットマップ印刷の開始。この値は上記の回転印刷開始の値の1つとの論理和。 PrintBitmap で印字されるビットマップを回転させます。 PrintNormal メソッド中に指定されたエスケープシーケンス(ビットマップ、スタンプ)は回転しません。
PTR_RP_NORMAL(1)	回転印刷の終了。

説明

このメソッドは、**AsyncMode** が **FALSE** ならば、同期的に実行され、**AsyncMode** が **TRUE** ならば、非同期的に実行されます。

もし、*Rotation* が PTR_RP_ROTATE180 ならば、倒立印刷モードが開始されます。**RotatePrint** が *Rotation* パラメーターを PTR_RP_NORMAL に設定して呼ばれるまで、**PrintNormal** と **PrintImmediate** の呼び出しによるデータは倒立して印刷されます。行は POS プリンタコントロールに送られた順に印刷され、各行の先頭はプリンタの右マージンに合わされます。**PrintNormal**と**PrintImmediate**の印刷メソッドが、倒立印刷モード中に使用されます。

もし、*Rotation* が PTR_RP_RIGHT90、PTR_RP_LEFT90 ならば、横書きモードが開始されます。**RotatePrint** が *Rotation* パラメーターを PTR_RP_NORMAL に設定して呼ばれるまで、**PrintNormal**、**DirectIO** メソッドの呼び出しによるデータはバッファリングされます。(この場合、上記のメソッドのデータはバッファリングされるだけで、印刷は開始しません。また、**AsyncMode** プロパティの値は、そのオペレーションに影響しません。つまり、その要求に **OutputID** は割り当てられませんし、**OutputCompleteEvent** も通知しません。尚、この場合、POS プリンタのエラー状態に関わらず、各メソッドは成功します。例えば、POS プリンタの電源が切れていても、**RotatePrint** による印刷データのバッファリング中は、各メソッドの呼び出し時にエラーを返しません。)

横書きモード時は **PrintNormal** メソッドの呼び出しによるバッファリング中の文字データを解析し、すべての行における幅の最大値にあわせて、横幅が決定されます。文字データ総数の幅が最大印字幅を超えた場合、はみ出したデータについては、ページ内に折り返して印字されます。最大印字幅はプリンタによって異なります。[プリンタ仕様](#)を参照して下さい。また、文字データの横幅がエスケープシーケンスによって 2 倍以上になる場合も、倍率をかけた値で計算されます。

FTP2166000EQ

FTP-POS

POSPrinter OPOS コントロール機能仕様書

倒立印刷モードで **PrintBitmap** を発行すると、ビットマップは倒立されて印字されます。
倒立印刷モードで **SetBitmap** を行ったビットマップは、倒立して印字されます（通常印字モードであっても、倒立して印字されます）。

もし、*Rotation* が PTR_RP_NORMAL ならば、回転印刷モードは終了します。もし、横向き回転印刷モードが有効な時に、あるデータが **PrintNormal** によってバッファリングされていたならば、そのバッファリングされたデータは印刷されます。全体の回転した行のブロックは、一つのメッセージとして扱われます。

Rotation に PTR_RP_BARCODE(4096)、あるいは PTR_RP_BITMAP(8192)が含まれている場合には、(**PrintBarCode** で印刷される)バーコード、**PrintBitmap** で印字されるビットマップはすべて、**RotatePrint** で回転印刷できます。回転方向は、それぞれ **RecBarCodeRotationList**、**RecBitmapRotationList**、プロパティで制限されます。バーコード、ビットマップの回転印字は、PTR_RP_NORMAL(1)を指定することで解除されます。**TransactionPrint** 実行中の **RotatePrint** の呼び出しでは、文字列、バーコード、ビットマップの回転方向が異なると正しく印刷されません。**TransactionPrint** と組み合わせて実行する場合は、PTR_RP_BARCODE(4096)と PTR_RP_BITMAP(8192)も同時にセットして下さい。

ClearOutput メソッドを呼ぶことにより、回転印刷モードは中止されます。いかなるバッファリングされた横向き回転印刷行も削除されます。

戻り値

次の値のいずれかが戻され、**ResultCode** プロパティにも格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	メソッドは正常終了しました。
OPOS_E_ILLEGAL(106)	指定した POS プリンタ(レシート以外)が存在しません。 または、 <i>Station</i> が指定した回転をサポートしていません。 異なる回転モード中です。一旦、PTR_RP_NORMAL(1)を指定するか、 ClearOutput にて回転印字をクリアした後、再実行してください。
OPOS_E_NOHARDWARE(107)	POS プリンタはオフ、またはオフラインです。
OPOS_E_FAILURE(111)	OPOS コントロールはエラー状態です。エラー状態を解除して実行してください。
OPOS_E_BUSY(113)	出力中なので実行できません。(AsyncMode が FALSE の時のみ返されます。)
その他	ResultCode の項目を参照してください

SetBitmap メソッド

形式

LONG SetBitmap (LONG *BitmapNumber*, LONG *Station*, BSTR *FileName*, LONG *Width*, LONG *Alignment*);

パラメーター	説明
<i>BitmapNumber</i>	このビットマップに割り当てられる番号。 有効な値は、1～255 までの値です。
<i>Station</i>	PTR_S_RECEIPT(2)を指定
<i>FileName</i>	Windows ビットマップファイル名。ファイルは圧縮されたフォーマットではない けません。(フルパスまたは相対パス指定) 空文字が設定された場合、指定された <i>BitmapNumber</i> のビットマップを POS プリンタから消去します。
<i>Width</i>	ビットマップの印刷幅。値は PrintBitmap 参照。
<i>Alignment</i>	ビットマップの印刷位置。値は PrintBitmap 参照。

説明

まもなく印刷するビットマップに関する情報を保存する時に呼び出します。
ビットマップは、印刷データ内にビットマップ印刷のエスケープシーケンスをもつ **PrintNormal** あるいは **PrintImmediate** を呼ぶことによって印刷されます。
登録可能なビットマップは、横サイズ(*Width*)が **RecLineWidth** dot 以下 (*Alignment* が絶対位置指定の場合、 $Width + Alignment \leq RecLineWidth$)、且つ縦サイズが範囲内のもののみです。この条件に適合しない場合、OPOS_EPTR_TOOBIG(206)が通知されます。登録可能な縦サイズはプリンタによって異なります。[プリンタ仕様](#)を参照して下さい。
本 OCX では、SetBitmap を実行すると、ビットマップを POS プリンタの不揮発メモリ上に書き込む為、いったん OCX の ReleaseDevice を行った後でも、セットしたビットマップ自体は有効となります。つまり、1 度設定を行えば、エスケープシーケンスによるビットマップの印字が有効となります。
登録可能な Windows ビットマップファイルは、1/4/8/24bit かつ非圧縮フォーマットとなります。
本メソッドを実行時、ステータス(ニアエンドなど)が一時的に解除され、**StatusUpdateEvent** もしくは **DirectIOEvent** により通知される場合があります。

戻り値

次の値のいずれかが戻され、**ResultCode** プロパティにも格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	メソッドは正常終了しました。
OPOS_E_ILLEGAL(106)	指定した POS プリンタ(レシート以外)が存在しません。 <ul style="list-style-type: none">• <i>BitmapNumber</i> が不正な値です。• POS プリンタ(レシート以外)が存在しません。• <i>Station</i> がビットマップ印刷をサポートしていません。• <i>Width</i> が大きすぎます。• <i>Alignment</i> が、不正な値であるか、大きすぎます。
OPOS_E_NOEXIST(109)	<i>FileName</i> で指定されたビットマップファイルが見つかりませんでした。
OPOS_E_FAILURE(111)	POS プリンタにビットマップデータを送信できませんでした。カバーが開いているか、レシート用紙がないか、POS プリンタの電源が切れている可能性があります。
OPOS_E_BUSY(113)	デバイスが出力中のため、実行できません。
OPOS_E_EXTENDED(114)	ResultCodeExtended = OPOS_EPTR_TOOBIG(206): ビットマップが、変換無しで印刷するにはその幅が広すぎるか、あるいは

FTP2166000EQ

FTP-POS

POSPrinter OPOS コントロール機能仕様書

変換するには大きすぎます。

ResultCodeExtended = OPOS_EPTR_BADFORMAT(207):

指定されたファイルが、ビットマップファイルでないか、あるいはサポートされていないフォーマットです。

ResultCode の項目を参照してください。

その他

SetLogo メソッド

形式

LONG SetLogo (LONG Location, BSTR Data);

パラメーター	説明
<i>Location</i>	設定するロゴ。PTR_L_TOP(1)あるいは PTR_L_BOTTOM(2)です。
<i>Data</i>	ロゴを作る文字。プリント可能な文字とエスケープシーケンス、キャリッジリターン(13 decimal)、ニューライン/ラインフィード(10 decimal)から成ります。 詳細は BinaryConversion プロパティを参照してください。

説明

データ文字列を上端あるいは下端のロゴとして保存する時に呼び出します。
プリントデータ内に、上端ロゴあるいは下端ロゴのエスケープシーケンスを含んだ **PrintNormal**,あるいは **PrintImmediate** メソッドを呼ぶことによって、ロゴは印刷されます。

戻り値

次の値のいずれかが戻され、**ResultCode** プロパティにも格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	メソッドは正常終了しました。
OPOS_E_BUSY(113)	出力中なので実行できません。
OPOS_E_ILLEGAL(106)	不正な <i>Location</i> が指定されました。
その他	ResultCode の項目を参照してください。

TransactionPrint メソッド

形式

LONG TransactionPrint(LONG Station, LONG Control);

パラメーター	説明
Station	PTR_S_RECEIPT(2)を指定
Control	一括処理。下記の値を参照。 Controlの値は、以下の通りです。
値	意味
PTR_TP_TRANSACTION(11)	一括処理の開始。
PTR_TP_NORMAL(12)	バッファデータを印字して一括処理を終了する。

説明

一括処理モードに入る時または抜ける時にこのメソッドを呼び出します。

ControlがPTR_TP_TRANSACTION(11)ならば、一括処理モードに入ります。その後のPrintNormal、CutPaper、MarkFeed、RotatePrint、PrintBarCode、PrintBitmap への呼び出しは、Control パラメーターにPTR_TP_NORMAL(12)をセットして TransactionPrint が呼び出されるまで、印刷データをサービスオブジェクトでバッファリングします。(この場合、前記のメソッドの印刷データはバッファリングされるだけで、印刷は開始しません。また、AsyncMode プロパティの値は、そのオペレーションに影響しません。つまり、その要求にOutputID は割り当てられませんし、OutputCompleteEvent も通知しません。尚、この場合、POS プリンタのエラー状態に関わらず、各メソッドは成功します。例えば、POS プリンタの電源が切れていても、TransactionPrint による印刷データのバッファリング中は、各メソッドの呼び出し時にエラーを返しません。) ControlがPTR_TP_NORMAL(12)ならば、一括処理モードを抜けます。PrintNormal、CutPaper、RotatePrint、PrintBarCode、PrintBitmap、MarkFeed、DirectIO メソッドによりデータがバッファされていたならば、そのデータは印刷されます。一括処理全体は一つのメッセージとして処理されます。このメソッドは AsyncMode がFALSE ならば、同期的に実行され AsyncMode が TRUE ならば、非同期的に実行されます。

ClearOutput メソッドを呼び出すことによって、一括処理モードは取り消されます。バッファされた印刷行も削除されます。

注意点として、RotatePrint メソッドを実行した場合があります。TransactionPrint メソッドを実行し、一括処理モードを抜けるまで、RotatePrint メソッドを回転指定で呼び出し、PrintNormal メソッド呼び出し、RotatePrint メソッドを PTR_TP_NORMAL (1)で呼び出しによる印字はされません。また、RotatePrint メソッドを回転指定で呼び出し、TransactionPrint メソッドPTR_TP_TRANSACTION(11)で呼び出した場合、TransactionPrint メソッドによるバッファリングの方が優先度が高い為、この間にバッファリングされたデータは、回転印字されず、正しく印字することができません。よって、RotatePrint メソッドを実行する場合は、TransactionPrint メソッドの後に実行してください。

戻り値

次の値のいずれかが戻され、ResultCode プロパティにも格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	メソッドは正常終了しました。
OPOS_E_ILLEGAL(106)	指定した POS プリンタ(レシート以外)が存在しません。
OPOS_E_NOHARDWARE(107)	POS プリンタはオフ、またはオフラインです。
OPOS_E_FAILURE(111)	OPOS コントロールはエラー状態です。エラー状態を解除して実行してください。
OPOS_E_BUSY(113)	出力中なので実行できません。(AsyncMode が FALSE で Control パラメーターが PTR_TP_NORMAL(12)の時のみ返されます。)
その他	ResultCode の項目を参照してください。

FTP2166000EQ

FTP-POS

POSPrinter OPOS コントロール機能仕様書

ValidateData メソッド

形式

LONG ValidateData(LONG *Station*, BSTR *Data*);

パラメーター	説明
<i>Station</i>	PTR_S_RECEIPT(2)を指定
<i>Data</i>	判定されるデータ。印刷可能データとエスケープシーケンスを含みます。 詳細は BinaryConversion プロパティを参照してください。

説明

PrintNormal, **PrintImmediate** メソッドを呼び出す前に、指定された POS プリンタにとって、一つ以上のエスケープシーケンスを含むデータシーケンスが、有効か否かを判定する時に呼び出します。
このメソッドは、全く印刷しませんが、その POS プリンタの能力を判定するために使用されます。
このメソッドの戻り値が OPOS_SUCCESS となる場合でも、プリンタによっては対応していない機能があります。
[プリンタ仕様](#)を参照して下さい。

戻り値

次の値のいずれかが戻され、**ResultCode** プロパティにも格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	データは有効です。
OPOS_E_ILLEGAL(106)	一つ以上のエスケープシーケンスが範囲外です。しかし、コントロールは有効な選択肢を選ぶことができます。
OPOS_E_FAILURE(111)	一つ以上のエスケープシーケンスがサポートされていません。選ぶことのできる選択肢はありません。
その他	ResultCode の項目を参照してください。

OPOS_E_ILLEGAL(106)が返されるケースは、以下の場合は、

エスケープシーケンス	状況
用紙カット/フィードと用紙カット	パーセンテージ' #' は正確にサポートされていません。
単位フィード	フィード量' #' は大きすぎます。(0~255dot のみ有効)
逆フィード	逆フィード行数' #' は大きすぎます。(0~255 のみ有効)
アンダーライン	太さ' #' はサポートされていません。
縦倍率	倍率' #' はサポートされていません。
横倍率	倍率' #' はサポートされていません。

OPOS_E_FAILURE(111)が返されるケースは、以下の場合は、

エスケープシーケンス	状況
用紙カット/フィードと用紙カット	サポートされていません。
フィードとカットとスタンプ印刷	サポートされていません。
スタンプ印刷	サポートされていません。
ビットマップ印刷	ビットマップ番号' #' が範囲外です。(1~255 のみ有効)
フォントタイプ指定	サポートされていません。
ボールド	サポートされていません。
アンダーライン	サポートされていません。
イタリック	サポートされていません。
カスタムカラー	サポートされていません。
赤色	サポートされていません。

FTP2166000EQ

FTP-POS

POSPrinter OPOS コントロール機能仕様書

RGB カラー	サポートされていません。
網掛け文字	サポートされていません。
色指定	サポートされていません。
サブスクリプト/スーパースクリプト	サポートされていません。

データ	状況
<i>data1</i> CR <i>data2</i> LF	(CR はキャリッジリターン、LF はラインフィードです。)データを印刷後その行に残ることができません。データ <i>data1</i> は 1 行に印刷され、データ <i>data2</i> は次の行に印刷されます。

4. 7. イベント

DirectIOEvent イベント

形式

void DirectIOEvent(LONG EventNumber, LONG* pData, BSTR* pString);

パラメーター	説明
<i>EventNumber</i>	イベント番号。サービスオブジェクトが割り当てた特定値です。
<i>pData</i>	数値データのポインター。
<i>pString</i>	文字列のポインター。

EventNumber の値は、以下の通りです。

値	意味
OPOS_FCL_DIE_PTR_PRESENTER_ERROR(2)	プレゼンターエラーです。
OPOS_FCL_DIE_PTR_PRESENTER_OK(3)	プレゼンターエラーから復帰しました。
OPOS_FCL_DIE_PTR_LOW_BATTERY(4)	ローバッテリーです。
OPOS_FCL_DIE_PTR_BATTERY_OK(5)	ローバッテリーから復帰しました。

説明

アプリケーションと直接通信するために、サービスオブジェクトが通知します。

OPOS_FCL_DIE_PTR_PRESENTER_ERROR

パラメーター	説明
<i>EventNumber</i>	OPOS_FCL_DIE_PTR_PRESENTER_ERROR
<i>pData</i>	使用しません。
<i>pString</i>	使用しません。

説明

プレゼンターエラー発生時に通知します。

OPOS_FCL_DIE_PTR_PRESENTER_OK

パラメーター	説明
<i>EventNumber</i>	OPOS_FCL_DIE_PTR_PRESENTER_OK
<i>pData</i>	使用しません。
<i>pString</i>	使用しません。

説明

プレゼンターエラーから復帰時に通知します。

OPOS_FCL_DIE_PTR_LOW_BATTERY

パラメーター	説明
<i>EventNumber</i>	OPOS_FCL_DIE_PTR_LOW_BATTERY
<i>pData</i>	使用しません。
<i>pString</i>	使用しません。

説明

ローバッテリー発生時に通知します。

OPOS_FCL_DIE_PTR_BATTERY_OK

パラメーター	説明
<i>EventNumber</i>	OPOS_FCL_DIE_PTR_BATTERY_OK
<i>pData</i>	使用しません。
<i>pString</i>	使用しません。

説明

ローバッテリーから復帰時に通知します。

ErrorEvent イベント

形式

```
void ErrorEvent (LONG ResultCode, LONG ResultCodeExtended, LONG ErrorLocus, LONG* pErrorResponse);
```

パラメーター	説明
<i>ResultCode</i>	エラーイベントを起こした要因のコード。値は ResultCode の項目を参照。
<i>ResultCodeExtended</i>	エラーイベントを起こした要因の拡張コード。下記の値を参照。
<i>ErrorLocus</i>	OPOS_EL_OUTPUT(1)に設定します。非同期出力中にエラーが起きました。
<i>pErrorResponse</i>	エラーイベント応答へのポインターです。下記の値を参照。

もし、**ResultCode** が OPOS_E_EXTENDED(114)であれば、**ResultCodeExtended** は次に示す値のいずれかに設定されます。

値	意味
OPOS_EPTR_COVER_OPEN(201)	POS プリンタカバーが開いています。
OPOS_EPTR_REC_EMPTY(203)	レシート用紙がありません。
OPOS_FCL_EPTR_POWERSUPPLY(10001)	プリンタ電源電圧異常が発生しました。
OPOS_FCL_EPTR_DATA(10002)	送信データ異常が発生しました。
OPOS_FCL_EPTR_CUTTER(10003)	カッター異常が発生しました。
OPOS_FCL_EPTR_HARDWARE(10004)	ハードウェア異常が発生しました。
OPOS_FCL_EPTR_HEADHOT(10005)	ヘッド温度異常が発生しました。
OPOS_FCL_EPTR_MARK(10006)	マーク未検出エラーが発生しました。
OPOS_FCL_EPTR_PRESENTER(10007)	プレゼンターエラーが発生しました。

pErrorResponse によって指定される位置の内容は、OPOS_ER_RETRY(11)のデフォルト値にプリセットされます。

アプリケーションは、次に示す値の内の一つを設定します。

値	意味
OPOS_ER_RETRY(11)	その非同期処理を再度試みます。エラー状態は抜けます。
OPOS_ER_CLEAR(12)	その非同期出力を含むすべてのバッファリングされたデータを削除します (ClearOutput メソッドと同様の効果があります)。エラー状態は抜けます。

説明

非同期で実行可能なメソッド実行時に、OPOS コントロールの状態がエラー状態に移った時に通知します。

OutputCompleteEvent イベント

形式

`void OutputCompleteEvent (LONG OutputID);`
OutputID パラメーターは、完了した非同期出力リクエストの ID 番号を示します。

説明

前に開始された非同期出力リクエストが正常に終了したときに通知します。

StatusUpdateEvent イベント

形式

`void StatusUpdateEvent (LONG Status);`

説明

Status は、次に示す値のいずれかに設定されます。

値	意味
PTR_SUE_COVER_OPEN(11)	POS プリンタカバーが開いています。
PTR_SUE_COVER_OK(12)	POS プリンタカバーが閉じています。
PTR_SUE_REC_EMPTY(24)	レシート用紙がありません。
PTR_SUE_REC_NEAREMPTY(25)	レシート用紙がニアエンドです。
PTR_SUE_REC_PAPEROK(26)	レシート用紙が用意できました。
PTR_SUE_IDLE(1001)	全ての非同期出力が、成功するか、または削除されることによって終了しました。POS プリンタの State は現在 OPOS_S_IDLE(2)です。 FlagWhenIdle プロパティは、このイベントが通知するために TRUE でなければなりません。そして、POS プリンタコントロールは、イベントが通知する前に、そのプロパティを FALSE へ自動的にリセットします。
OPOS_SUE_POWER_ONLINE(2001)	デバイスは電源オンでかつレディ状態です。(PowerNotify = OPOS_PN_ENABLED(1)の場合に通知)
OPOS_SUE_POWER_OFF_OFFLINE(2004)	デバイスは電源オフ、またはオフライン状態です。(PowerNotify = OPOS_PN_ENABLED(1)の場合に通知)

説明

プリンタデバイス側に重要な状態の変化が起こった時に通知されます。
デバイスがイネーブルとなったとき、アプリケーションにデバイスの状態を知らせるために、コントロールは最初の **StatusUpdateEvent** を発行します。

参照

CapPowerReporting プロパティ、PowerNotify プロパティ

5. ログファイル出力

FTP-POS POSPrinter OCX コントロールは、レジストリの **LogFolder**, **LogFileName**, **LogLevel** もしくは設定ツールのログ出力を変更することで、ログファイルを出力します。ログファイル出力時の動作は下記の通りです。

1. 以下の命名規約でログファイルを作成します。

LogFolder = "C:\Users\Public\FCL\OPOS\POSPrinter\FTP2166000EQ\Log"

LogFileName = "FTP-POS" と設定し、本 OCX を実行した年月日が YYYY / MM / DD である場合、ログファイルは

C:\Users\Public\FCL\OPOS\POSPrinter\FTP2166000EQ\Log\FTP-POS[DD].log

として作成されます。

(例) 2016 年 9 月 27 日 の出力ログファイル

C:\Users\Public\FCL\OPOS\POSPrinter\FTP2166000EQ\Log\FTP-POS27.log

2. もし、1.の命名規約で作成されたファイルが既に存在し、且つ現在の月とそのファイルの最新更新月が異なっている場合、そのログファイルを削除します。そうでない場合は、新規作成または追加書込みとなります。
3. 結果として、最新1ヶ月のログファイルが POS(PC)上にプールされます。また、ログファイル単体のファイルサイズ上限はありません。詳細ログを出力している場合、POS(PC)のディスクスペースを圧迫するケースも考えられるので、注意してご使用ください。
4. **LogLevel** の設定によって下記ログファイルを出力します。
LogLevel = -1 : ログ出力なし
LogLevel = 0 : 通常トレースログ・警告・エラーログ出力
LogLevel = 1 : エラーログのみ出力

・ログファイルの見方について

LogLevel = 0 設定時

出力例:

20160927:165025:Inf:Result : ResultCode is 0	
20160927:165025:Inf:Exit : CPOSPrinter::PrintNormal	ログの出力時間を示します。
20160927:165025:Inf:Prop Get: ResultCode is 0	
20160927:165025:Inf:Prop Get: State is 2	
20160927:165025:Inf:Prop Get: ResultCodeExtended is 0	
20160927:165025:Inf:Enter : CPOSPrinter::PrintNormal	ログ中の“Enter”はある関数に入ったことを示し、Exit は関数から出たことを示します。また、Param は設定パラメーター、ResultCode は結果となります。OCX のメソッドが実行された場合は、先頭に OCX Method が出力されます。
20160927:165025:Inf:Enter : Param: Station is 2, Data is 123456789ABCD	
20160927:165025:Inf:DoSendThreadSerial	
Addr : +0 +1 +2 +3 +4 +5 +6 +7 +8 +9 +A +B +C +D +E +F	

0000 : 1B 61 00 31 32 33 34 35 36 37 38 39 41 42 43 44 a	
0010 : 45 46 47 0A	EFG
20160927:165025:Inf:Result : ResultCode is 0	Inf は一般的な情報ログ、Err はエラーを示します。
20160927:165025:Inf:Exit : CPOSPrinter::PrintNormal	
20160927:165025:Inf:Prop Get: ResultCode is 0	Prop Get, Prop Set は OCX のプロパティから値を取得、設定したことを示します。
20160927:165025:Inf:Prop Get: State is 2	
20160927:165025:Inf:Prop Get: ResultCodeExtended is 0	
20160927:165025:Inf:Enter : CPOSPrinter::PrintNormal	
20160927:165025:Inf:Enter : Param: Station is 2, Data is 123456789ABCD	電文のやりとりを示します。受信・送信データはバイナリダンプされます。
20160927:165025:Inf:DoSendThread	
Addr : +0 +1 +2 +3 +4 +5 +6 +7 +8 +9 +A +B +C +D +E +F	

0000 : 1B 61 00 31 32 33 34 35 36 37 38 39 41 42 43 44 a	
0010 : 45 46 47 0A	EFG

FTP2166000EQ

FTP-POS

POSPrinter OPOS コントロール機能仕様書

6. プリンタ仕様

使用可能な機能はプリンタモデルによって異なります。本項目および、プリンタ製品仕様書、コマンド仕様書を参照して下さい。

6. 1. FTP-627DSL440

6. 1. 1. 印字幅

印字幅
432 ドット
576 ドット

6. 1. 2. 解像度

解像度
203dpi

6. 1. 3. 用紙タイプ

タイプ	用紙種類
1	設定禁止
2	設定禁止
3	TF50KS-E45
4	PD150R PD160R PD170R
5	TP60KS-F1 TP50KJ-R
6	TF60KS-E P220VBB-1
7	HA220AA
8	設定禁止
9	AFP-235
10	設定禁止
11	設定禁止
12	設定禁止

6. 1. 4. 印刷可能なバーコード、2D コード

バーコード、2D コード	対応	備考
UPC-A	✓	
UPC-E	✓	
JAN(EAN)13	✓	
JAN(EAN)8	✓	
CODE39	✓	
ITF	✓	

FTP2166000EQ

FTP-POS

POSPrinter OPOS コントロール機能仕様書

CODABAR	✓	
CODE128	✓	
QR Code	✓	
MaxiCode		
PDF417	✓	
GS1 Databar	✓	

6. 1. 5. 機能

(※プロパティの値は、MapMode プロパティが PTR_MM_DOTS の場合)

機能	対応範囲	備考
ボード	対応	
反転文字	対応	
横倍率	1～4	
縦倍率	1～4	
アンダーライン	1～2	
用紙カット	フルカット パーシャルカット	
フィードと用紙カット	フルカット パーシャルカット	
エスケープシーケンスによるビットマップ印刷	対応	拡張不揮発性メモリ搭載モデルのみ対応。
中央寄せ	対応	
右寄せ	対応	
バーコードの HRI 文字	対応	
印刷可能な文字		プリンタモデルによって異なります。
‘€’ の印刷	対応	
RotatePrint メソッドの左右 90 度回転時の最大印字幅	1920 ドット	
レシートの左 90 度回転	対応	
レシートの右 90 度回転	対応	
レシートの 180 度回転	対応	
ニアエンドセンサー	対応	
RotateSpecial プロパティ	PTR_RP_NORMAL PTR_RP_RIGHT90 PTR_RP_LEFT90 PTR_RP_ROTATE180	
PrintBitmap メソッドで印刷可能な最大高さ	1023 ドット	左右 90 度回転時の最大高さは RecLineWidth プロパティの値です。
SetBitmap メソッドで登録可能な高さ	512 ドット	
RecBarCodeRotationList プロパティ	“0,R90,L90,180”	
RecBitmapRotationList プロパティ		

RecLineCharsList プロパティ	印字幅 576 ドット: “48,72” 印字幅 432 ドット: “36,54”	
RecLineWidth プロパティ	印字幅 576 ドット: 576 印字幅 432 ドット: 432	
左右 90 度回転時に PrintBarCode メソッドで width に設定可能な最大値	864 ドット	
ファームウェアのアップデート およびバージョン比較	非対応	
PowerState プロパティで OPOS_PS_OFF_OFFLINE が 通知される状態	USB-COM: 電源オフもしくは 切断時 RS-232C: 電源オフ、切断時、 もしくはプリンタエラー時	

6. 1. 6. フォント

(※プロパティの値は、MapMode プロパティが PTR_MM_DOTS(1)の場合)

印字幅	RecLineChars プロパティ	RecLineHeight プロパティ	RecSidewaysMaxChars プロパティ	フォント
576 ドット	48	24	160(全角 80)	12×24 ドット
	72	16	240(全角 120)	8×16 ドット
432 ドット	36	24	160(全角 80)	12×24 ドット
	54	16	240(全角 120)	8×16 ドット

6. 1. 7. 備考

- ・プリンタモデルによってはニアエンドセンサーがデフォルトで無効になっています。有効にする場合 DirectIO メソッドの PTR_DIO_SEND_BINARY_DATA で FS 9 コマンドもしくは GS (E pL pH fn a b8~b1 (fn=3)を送信して下さい。コマンドの詳細はプリンタの製品仕様書もしくはコマンド仕様書をご参照下さい。
- ・プリンタモデルによってはカッターがデフォルトで無効になっています。有効にする場合 DirectIO メソッドの OPOS_FCL_PTR_DIO_SEND_BINARY_DATA で GS (E pL pH fn a b8~b1 (fn=3)を送信して下さい。コマンドの詳細はプリンタの製品仕様書もしくはコマンド仕様書をご参照下さい。

6. 2. FTP-629DSL310

6. 2. 1. 印字幅

印字幅
432 ドット
576 ドット
640 ドット

6. 2. 2. 解像度

解像度
203dpi

6. 2. 3. 用紙タイプ

タイプ	用紙種類
1	設定禁止
2	設定禁止
3	TF50KS-E45
4	PD150R PD160R PD170R
5	TP60KS-F1 TP50KJ-R
6	TF60KS-E P220VBB-1
7	HA220AA
8	設定禁止
9	AFP-235
10	設定禁止
11	設定禁止
12	設定禁止

6. 2. 4. 印刷可能なバーコード、2D コード

バーコード、2D コード	対応	備考
UPC-A	✓	
UPC-E	✓	
JAN(EAN)13	✓	
JAN(EAN)8	✓	
CODE39	✓	
ITF	✓	
CODABAR	✓	
CODE128	✓	
QR Code	✓	
MaxiCode		
PDF417	✓	
GS1 Databar	✓	

FTP2166000EQ

FTP-POS

POSPrinter OPOS コントロール機能仕様書

6. 2. 5. 機能

(※プロパティの値は、MapMode プロパティが PTR_MM_DOTS の場合)

機能	対応範囲	備考
ボード	対応	
反転文字	対応	
横倍率	1～4	
縦倍率	1～4	
アンダーライン	1～2	
用紙カット	フルカット パーシャルカット	
フィードと用紙カット	フルカット パーシャルカット	
エスケープシーケンスによるビットマップ印刷	対応	拡張不揮発性メモリ搭載モデルのみ対応。
中央寄せ	対応	
右寄せ	対応	
バーコードの HRI 文字	対応	
印刷可能な文字		プリンタモデルによって異なります。
‘€’ の印刷	対応	
RotatePrint メソッドの左右 90 度回転時の最大印字幅	1920 ドット	
レシートの左 90 度回転	対応	
レシートの右 90 度回転	対応	
レシートの 180 度回転	対応	
ニアエンドセンサー	対応	
RotateSpecial プロパティ	PTR_RP_NORMAL PTR_RP_RIGHT90 PTR_RP_LEFT90 PTR_RP_ROTATE180	
PrintBitmap メソッドで印刷可能な最大高さ	1023 ドット	左右 90 度回転時の最大高さは RecLineWidth プロパティの値です。
SetBitmap メソッドで登録可能な高さ	512 ドット	
RecBarCodeRotationList プロパティ	“0,R90,L90,180”	
RecBitmapRotationList プロパティ		
RecLineCharsList プロパティ	印字幅 640 ドット: “53,80” 印字幅 576 ドット: “48,72” 印字幅 432 ドット: “36,54”	

FTP2166000EQ

FTP-POS

POSPrinter OPOS コントロール機能仕様書

RecLineWidth プロパティ	印字幅 640 ドット: 640 印字幅 576 ドット: 576 印字幅 432 ドット: 432	
左 右 90 度 回 転 時 に PrintBarCode メソッドで width に設定可能な最大値	864 ドット	
ファームウェアのアップデートおよびバージョン比較	非対応	
PowerState プロパティで OPOS_PS_OFF_OFFLINE が 通知される状態	USB-COM: 電源オフもしくは 切断時 RS-232C: 電源オフ、切断時、 もしくはプリンタエラー時	

6. 2. 6. フォント

(※プロパティの値は、MapMode プロパティが PTR_MM_DOTS(1)の場合)

印字幅	RecLineChars プロパティ	RecLineHeight プロパティ	RecSidewaysMaxChars プロパティ	フォント
640 ドット	53	24	144(全角 72)	12×24 ドット
	80	16	216(全角 108)	8×16 ドット
576 ドット	48	24	160(全角 80)	12×24 ドット
	72	16	240(全角 120)	8×16 ドット
432 ドット	36	24	213(全角 106)	12×24 ドット
	54	16	320(全角 160)	8×16 ドット

6. 2. 7. 備考

- ・プリンタモデルによってはニアエンドセンサーがデフォルトで無効になっています。有効にする場合 directIO メソッドの PTR_DIO_SEND_BINARY_DATA で FS 9 コマンドもしくは GS (E pL pH fn a b8~b1 (fn=3)を送信して下さい。
各コマンドの詳細はプリンタの製品仕様書もしくはコマンド仕様書をご参照下さい。
- ・プリンタモデルによってはカッターがデフォルトで無効になっています。有効にする場合 directIO メソッドの OPOS_FCL_PTR_DIO_SEND_BINARY_DATA で GS (E pL pH fn a b8~b1 (fn=3)を送信して下さい。
コマンドの詳細はプリンタの製品仕様書もしくはコマンド仕様書をご参照下さい。

6. 3. FTP-629DSL350

・FTP-639USL100、FTP-639USL200 も同様の仕様です。

6. 3. 1. 設定可能な印字幅

印字幅
576ドット

6. 3. 2. 解像度

解像度
203dpi

6. 3. 3. 設定可能な用紙タイプ

タイプ	用紙種類
1	設定禁止
2	設定禁止
3	TF50KS-E4
4	PD150R PD160R-N PD170R
5	TP60KS-F1
6	TF60KS-E P220VBB-1
7	HA220AA
8	設定禁止
9	AFP-235
10	設定禁止
11	設定禁止
12	設定禁止

6. 3. 4. 印刷可能なバーコード、2D コード

バーコード、2D コード	対応	備考
UPC-A	✓	
UPC-E	✓	
JAN(EAN)13	✓	
JAN(EAN)8	✓	
CODE39	✓	
ITF	✓	
CODABAR	✓	
CODE128	✓	
QR Code	✓	拡張不揮発性メモリおよび拡張揮発性メモリ搭載モデルのみ対応。
MaxiCode		

FTP2166000EQ

FTP-POS

POSPrinter OPOS コントロール機能仕様書

PDF417	✓	拡張不揮発性メモリおよび拡張揮発性メモリ搭載モデルのみ対応。
GS1 Databar		

6. 3. 5. 機能

(※プロパティの値は、MapMode プロパティが PTR_MM_DOTS の場合)

機能	対応範囲	備考
ボールド	非対応	
反転文字	対応	
横倍率	1～4	
縦倍率	1～4	
アンダーライン	1～2	
用紙カット	フルカット パーシャルカット	FTP-639USL200 ではパーシャルカットを行わないで下さい。
フィードと用紙カット	フルカット パーシャルカット	FTP-639USL200 ではパーシャルカットを行わないで下さい。
エスケープシーケンスによるビットマップ印刷	対応	拡張不揮発性メモリ搭載モデルのみ対応。
中央寄せ	対応	プリンタファームウェアが V1.05 以上のみ対応。
右寄せ	対応	プリンタファームウェアが V1.05 以上のみ対応。
バーコードの HRI 文字	非対応	
印刷可能な文字		プリンタモデルによって異なります。
‘€’ の印刷	対応	
レシートの左右 90 度回転	非対応	
レシートの左右 90 度回転時の最大印字幅	非対応	
レシートの 180 度回転	対応	PrintBitmap メソッドによるビットマップ印刷には非対応です。
ニアエンドセンサー	対応	
RotateSpecial プロパティ	PTR_RP_NORMAL PTR_RP_ROTATE180	
PrintBitmap メソッドで印刷可能な最大高さ	1023 ドット	
SetBitmap メソッドで登録可能な高さ	512 ドット	
RecBarCodeRotationList プロパティ	“0,180”	
RecBitmapRotationList プロパティ	“0”	
RecLineCharsList プロパティ	印字幅 576 ドット: “48,72”	
RecLineWidth プロパティ	印字幅 576 ドット: 576	
左右 90 度回転時に PrintBarCode メソッドで width に設定可能な最大値	非対応	

FTP2166000EQ

FTP-POS

POSPrinter OPOS コントロール機能仕様書

ファームウェアのアップデートおよびバージョン比較	非対応	
PowerState プロパティで OPOS_PS_OFF_OFFLINE が通知される状態	USB-COM: 電源オフもしくは切断時 RS-232C: 電源オフ、切断時、もしくはプリンタエラー時	

6. 3. 6. フォント

(※プロパティの値は、MapMode プロパティが PTR_MM_DOTS(1)の場合)

印字幅	RecLineChars プロパティ	RecLineHeight プロパティ	RecSidewaysMaxChars プロパティ	フォント
576 ドット	48	24	0	12 × 24 ドット
	72	16	0	8 × 16 ドット

6. 3. 7. FTP-639USL200 をご使用になる場合

- ・プレゼンターで保持可能なレシート長に制限があります。1 ページのレシート長が 50mm 以上 250mm 以下となるようにレシート内容を調節して用紙カットして下さい。
- ・パーシャルカットを行わないで下さい。
- ・用紙カット後は自動でレシートを排出します。
- ・イネーブル後もしくは用紙カット後、用紙を抜き取らずに下記メソッドを実行した場合、レシートを放出します。
CutPaper メソッド
MarkFeed メソッド
PrintBarCode メソッド
PrintBitmap メソッド
PrintImmediate メソッド
PrintNormal メソッド
SetBitmap メソッド
- ・PrintNormal メソッド、PrintImmediate メソッドもしくは SetLogo メソッドで下記のエスケープシーケンスを使用する場合、Data の終端でのみ使用して下さい。
用紙カットエスケープシーケンス
フィードと用紙カットエスケープシーケンス
- ・TransactionPrint メソッドを使用する場合、下記の機能は一括処理の最後にバッファリングして下さい。
CutPaper メソッド
用紙カットエスケープシーケンス
フィードと用紙カットエスケープシーケンス

6. 4. FTP-839DSL310

6. 4. 1. 印字幅

印字幅
960ドット

6. 4. 2. 解像度

解像度
300dpi

6. 4. 3. 用紙タイプ

タイプ	用紙種類
1	設定禁止
2	設定禁止
3	設定禁止
4	PD150R
5	設定禁止
6	設定禁止
7	設定禁止
8	設定禁止
9	設定禁止
10	設定禁止
11	設定禁止
12	設定禁止

6. 4. 4. 印刷可能なバーコード、2D コード

バーコード、2D コード	対応	備考
UPC-A	✓	
UPC-E	✓	
JAN(EAN)13	✓	
JAN(EAN)8	✓	
CODE39	✓	
ITF	✓	
CODABAR	✓	
CODE128	✓	
QR Code	✓	
MaxiCode		
PDF417	✓	
GS1 Databar	✓	

FTP2166000EQ

FTP-POS

POSPrinter OPOS コントロール機能仕様書

6. 4. 5. 機能

(※プロパティの値は、MapMode プロパティが PTR_MM_DOTS の場合)

機能	対応範囲	備考
ボード	対応	
反転文字	対応	
横倍率	1～4	
縦倍率	1～4	
アンダーライン	1～2	
用紙カット	非対応	
フィードと用紙カット	非対応	
エスケープシーケンスによるビットマップ印刷	対応	拡張不揮発性メモリ搭載モデルのみ対応。
中央寄せ	対応	
右寄せ	対応	
バーコードの HRI 文字	対応	
印刷可能な文字		プリンタモデルによって異なります。
‘€’ の印刷	対応	
RotatePrint メソッドの左右 90 度回転時の最大印字幅	1152 ドット	
レシートの左 90 度回転	対応	
レシートの右 90 度回転	対応	
レシートの 180 度回転	対応	
ニアエンドセンサー	対応	
RotateSpecial プロパティ	PTR_RP_NORMAL PTR_RP_RIGHT90 PTR_RP_LEFT90 PTR_RP_ROTATE180	
PrintBitmap メソッドで印刷可能な最大高さ	1023 ドット	左右 90 度回転時の最大高さは RecLineWidth プロパティの値です。
SetBitmap メソッドで登録可能な高さ	512 ドット	
RecBarCodeRotationList プロパティ	“0,R90,L90,180”	
RecBitmapRotationList プロパティ		
RecLineCharsList プロパティ	“80,120”	
RecLineWidth プロパティ	960	
左右 90 度回転時に PrintBarCode メソッドで width に設定可能な最大値	864 ドット	
ファームウェアのアップデートおよびバージョン比較	非対応	

FTP2166000EQ

FTP-POS

POSPrinter OPOS コントロール機能仕様書

PowerState プロパティで OPOS_PS_OFF_OFFLINE が 通知される状態	USB-COM:電源オフもしくは 切断時 RS-232C:電源オフ、切断時、 もしくはプリンタエラー時	
---	--	--

6. 4. 6. フォント

(※プロパティの値は、MapMode プロパティが PTR_MM_DOTS(1)の場合)

印字幅	RecLineChars プロパ ティ	RecLineHeight プロパ ティ	RecSidewaysMaxChars プロパティ	フォント
960ドット	80	24	96(全角 48)	12×24ドット
	120	16	144(全角 72)	8×16ドット

6. 4. 7. 備考

プリンタモデルによってはニアエンドセンサーがデフォルトで無効になっています。有効にする場合 directIO メソッドの OPOS_FCL_PTR_DIO_SEND_BINARY_DATA で FS 9 コマンドもしくは GS (E pL pH fn a b8～b1 (fn=3)を送信して下さい。

各コマンドの詳細はプリンタの製品仕様書もしくはコマンド仕様書をご参照下さい。

6. 5. FTP-62GDSL000

FTP-62GDSL100、FTP-62GDSL110、FTP-62GDSL120、FTP-62GUSL000、FTP-62GUSL070、FTP-62GUSL100、FTP-63GUSL000、FTP-63GUSL070、FTP-64GDSL130 も同様の仕様です。

6. 5. 1. 印字幅

印字幅
432 ドット
576 ドット
832 ドット

6. 5. 2. 解像度

解像度
203dpi

6. 5. 3. 用紙タイプ

タイプ	用紙種類
1	設定禁止
2	設定禁止
3	TF50KS-E45
4	PD150R PD160R PD170R
5	TP60KS-F1 TP50KJ-R
6	TF60KS-E P220VBB-1
7	HA220AA
8	設定禁止
9	AFP-235
10	設定禁止
11	設定禁止
12	設定禁止

6. 5. 4. 印刷可能なバーコード、2D コード

バーコード、2D コード	対応	備考
UPC-A	✓	
UPC-E	✓	
JAN(EAN)13	✓	
JAN(EAN)8	✓	
CODE39	✓	
ITF	✓	
CODABAR	✓	
CODE128	✓	
QR Code	✓	拡張揮発性メモリ搭載モデルのみ対応。
MaxiCode		

FTP2166000EQ

FTP-POS

POSPrinter OPOS コントロール機能仕様書

PDF417	✓	FW バージョンにより対応が異なります。 *1 を参照して下さい。
GS1 Databar	✓	FW バージョンにより対応が異なります。 *1 を参照して下さい。

6. 5. 5. 機能

(※プロパティの値は、MapMode プロパティが PTR_MM_DOTS の場合)

機能	対応範囲	備考
ボード	非対応	
反転文字	対応	
横倍率	1～4	
縦倍率	1～4	
アンダーライン	1～2	
用紙カット	フルカット パーシャルカット	
フィードと用紙カット	フルカット パーシャルカット	
エスケープシーケンスによるビットマップ印刷	対応	拡張不揮発性メモリ搭載モデルのみ対応。
中央寄せ	対応	FW バージョンにより対応が異なります。 *1 を参照して下さい。
右寄せ	対応	FW バージョンにより対応が異なります。 *1 を参照して下さい。
バーコードの HRI 文字	対応	FW バージョンにより対応が異なります。 *1 を参照して下さい。
印刷可能な文字		プリンタモデルによって異なります。
‘€’ の印刷	対応	
RotatePrint メソッドの左右 90 度回転時の最大印字幅	印字幅 832 ドット:1320 ドット 印字幅 576 ドット:1702 ドット 印字幅 432 ドット:1702 ドット	FW バージョンにより対応が異なります。 *1 を参照して下さい。
レシートの左 90 度回転	対応	FW バージョンにより対応が異なります。 *1 を参照して下さい。 拡張揮発性メモリ搭載モデルのみ対応。
レシートの右 90 度回転	対応	FW バージョンにより対応が異なります。 *1 を参照して下さい。 拡張揮発性メモリ搭載モデルのみ対応。
レシートの 180 度回転	対応	
ニアエンドセンサー	対応	

FTP2166000EQ

FTP-POS

POSPrinter OPOS コントロール機能仕様書

RotateSpecial プロパティ	PTR_RP_NORMAL PTR_RP_RIGHT90 PTR_RP_LEFT90 PTR_RP_ROTATE180	PTR_RP_RIGHT90、PTR_RP_LEFT90 は FW バージョンにより対応が異なります。 *1 を参照して下さい。 拡張揮発性メモリ非搭載の場合、PTR_RP_RIGHT90、PTR_RP_LEFT90 には非対応。
PrintBitmap メソッドで印刷可能な最大高さ	1023ドット	左右 90 度回転時の最大高さは RecLineWidth プロパティの値。
SetBitmap メソッドで登録可能な高さ	512ドット	
RecBarCodeRotationList プロパティ	"0,R90,L90,180"	R90, L90 は FW バージョンにより対応が異なります。 *1 を参照して下さい。 拡張揮発性メモリ非搭載の場合、R90, L90 には非対応。
RecBitmapRotationList プロパティ		
RecLineCharsList プロパティ	印字幅 832ドット: "69, 104" 印字幅 576ドット: "48, 72" 印字幅 432ドット: "36, 54"	
RecLineWidth プロパティ	印字幅 832ドット: 832 印字幅 576ドット: 576 印字幅 432ドット: 432	
左右 90 度回転時に PrintBarcode メソッドで width に設定可能な最大値	864ドット	
ファームウェアのアップデートおよびバージョン比較	対応	
PowerState プロパティで OPOS_PS_OFF_OFFLINE が通知される状態	USB-COM: 電源オフもしくは切断時 RS-232C: 電源オフ、切断時、もしくはプリンタエラー時	

6. 5. 6. フォント

(※プロパティの値は、MapMode プロパティが PTR_MM_DOTS(1)の場合)

印字幅	RecLineChars プロパティ	RecLineHeight プロパティ	RecSidewaysMaxChars プロパティ	フォント
832ドット	69	24	110(全角 55)	12×24ドット
	104	16	165(全角 82)	8×16ドット
576ドット	48	24	141(全角 70)	12×24ドット
	72	16	212(全角 106)	8×16ドット
432ドット	36	24	141(全角 70)	12×24ドット
	54	16	212(全角 106)	8×16ドット

*1) 対応 FW バージョンは下記の通りです。

プリンタモデル	対応する FW バージョン
FTP-62GDSL000	V1.01 以上
FTP-62GDSL100	
FTP-62GDSL120	
FTP-62GUSL000	
FTP-62GUSL070	
FTP-62GUSL100	
FTP-63GUSL000	
FTP-63GUSL070	
FTP-62GDSL110	V1.00 以上
FTP-64GDSL130	

6. 6. FTP-63GDSL483/FTP-83GDSL483

6. 6. 1. 印字幅

印字幅
FTP-63GDSL483: 640 ドット
FTP-83GDSL483: 960 ドット

6. 6. 2. 解像度

解像度
FTP-63GDSL483: 203dpi
FTP-83GDSL483: 300dpi

6. 6. 3. 用紙タイプ

タイプ	用紙種類
1	設定禁止
2	設定禁止
3	設定禁止
4	PD150R PD450-145
5	設定禁止
6	設定禁止
7	設定禁止
8	設定禁止
9	設定禁止
10	設定禁止
11	設定禁止
12	設定禁止

6. 6. 4. 印刷可能なバーコード、2D コード

バーコード、2D コード	対応	備考
UPC-A	✓	
UPC-E	✓	
JAN(EAN)13	✓	
JAN(EAN)8	✓	
CODE39	✓	
ITF	✓	
CODABAR	✓	
CODE128	✓	
QR Code	✓	
MaxiCode		
PDF417	✓	
GS1 Databar	✓	

6. 6. 5. 機能

(※プロパティの値は、MapMode プロパティが PTR_MM_DOTS の場合)

機能	対応範囲	備考
ボード	対応	
反転文字	対応	
横倍率	1～4	
縦倍率	1～4	
アンダーライン	1～2	
用紙カット	フルカット パーシャルカット	
フィードと用紙カット	フルカット パーシャルカット	
エスケープシーケンスによるビットマップ印刷	対応	
中央寄せ	対応	
右寄せ	対応	
バーコードの HRI 文字	対応	
印刷可能な文字		プリンタモデルによって異なります。
‘€’ の印刷	対応	
RotatePrint メソッドの左右 90 度回転時の最大印字幅	FTP-63G:1728 ドット FTP-83G:1152 ドット	
レシートの左 90 度回転	対応	
レシートの右 90 度回転	対応	
レシートの 180 度回転	対応	
ニアエンドセンサー	対応	
RotateSpecial プロパティ	PTR_RP_NORMAL PTR_RP_RIGHT90 PTR_RP_LEFT90 PTR_RP_ROTATE180	
PrintBitmap メソッドで印刷可能な最大高さ	1023 ドット	左右 90 度回転時の最大高さは RecLineWidth プロパティの値です。
SetBitmap メソッドで登録可能な高さ	512 ドット	
RecBarCodeRotationList プロパティ	“0,R90,L90,180”	
RecBitmapRotationList プロパティ		
RecLineCharsList プロパティ	印字幅 960 ドット:“80, 120” 印字幅 640 ドット:“63,80”	
RecLineWidth プロパティ	印字幅 960 ドット:960 印字幅 640 ドット:640	
左右 90 度回転時に PrintBarCode メソッドで width に設定可能な最大値	864 ドット	

FTP2166000EQ

FTP-POS

POSPrinter OPOS コントロール機能仕様書

ファームウェアのアップデートおよびバージョン比較	非対応	
PowerState プロパティで OPOS_PS_OFF_OFFLINE が通知される状態	USB-COM: 電源オフもしくは切断時 RS-232C: 電源オフ、切断時、もしくはプリンタエラー時	

6. 6. 6. フォント

(※プロパティの値は、MapMode プロパティが PTR_MM_DOTS(1)の場合)

印字幅	RecLineChars プロパティ	RecLineHeight プロパティ	RecSidewaysMaxChars プロパティ	フォント
960 ドット	80	24	96(全角 48)	12×24 ドット
	120	16	144(全角 72)	8×16 ドット
640 ドット	53	24	144(全角 72)	12×24 ドット
	80	16	216(全角 108)	8×16 ドット

6. 6. 7. 備考

- ・プリンタモデルによってはニアエンドセンサーがデフォルトで無効になっています。有効にする場合 directIO メソッドの OPOS_FCL_PTR_DIO_SEND_BINARY_DATA で FS 9 コマンドもしくは GS (E pL pH fn a b8～b1 (fn=3)を送信して下さい。
各コマンドの詳細はプリンタの製品仕様書もしくはコマンド仕様書をご参照下さい。
- ・プリンタモデルによってはカッターがデフォルトで無効になっています。有効にする場合 directIO メソッドの OPOS_FCL_PTR_DIO_SEND_BINARY_DATA で GS (E pL pH fn a b8～b1 (fn=3)を送信して下さい。
コマンドの詳細はプリンタの製品仕様書もしくはコマンド仕様書をご参照下さい。

6. 7. FTP-62HWSL001

6. 7. 1. 設定可能な印字幅

印字幅
384ドット

6. 7. 2. 解像度

解像度
203dpi

6. 7. 3. 設定可能な用紙タイプ

タイプ	用紙種類
1	設定禁止
2	設定禁止
3	設定禁止
4	PD150R
5	TP50KJ-R
6	設定禁止
7	設定禁止
8	HW54S
9	設定禁止
10	設定禁止
11	設定禁止
12	設定禁止

6. 7. 4. 印刷可能なバーコード、2D コード

バーコード、2D コード	対応	備考
UPC-A	✓	
UPC-E	✓	
JAN(EAN)13	✓	
JAN(EAN)8	✓	
CODE39	✓	
ITF	✓	
CODABAR	✓	
CODE128	✓	
QR Code	✓	
MaxiCode	✓	
PDF417	✓	
GS1 Databar	✓	

6. 7. 5. 機能

(※プロパティの値は、MapMode プロパティが PTR_MM_DOTS の場合)

機能	対応範囲	備考
ボード	対応	プリンタファームウェアが V1.01 以上のみ対応。
反転文字	対応	
横倍率	1～8	0.5 単位には対応していません。
縦倍率	1～8	0.5 単位には対応していません。
アンダーライン	1～2	
用紙カット	非対応	
フィードと用紙カット	非対応	
エスケープシーケンスによるビットマップ印刷	対応	
中央寄せ	非対応	
右寄せ	非対応	
バーコードの HRI 文字	対応	
印刷可能な文字		プリンタモデルによって異なります。
‘€’ の印刷	対応	
レシートの左右 90 度回転	対応	
レシートの左右 90 度回転時の最大印字幅	1920 ドット	
レシートの 180 度回転	対応	
ニアエンドセンサー	非対応	
RotateSpecial プロパティ	PTR_RP_NORMAL PTR_RP_RIGHT90 PTR_RP_LEFT90 PTR_RP_ROTATE180	
PrintBitmap メソッドで印刷可能な最大高さ	1023 ドット	左右 90 度回転時の最大高さは RecLineWidth プロパティの値です。
SetBitmap メソッドで登録可能な高さ	512 ドット	
RecBarCodeRotationList プロパティ	“0,R90,L90,180”	
RecBitmapRotationList プロパティ		
RecLineCharsList プロパティ	”32,48”	
RecLineWidth プロパティ	384	
左右 90 度回転時に PrintBarCode メソッドで width に設定可能な最大値	864 ドット	
ファームウェアのアップデートおよびバージョン比較	非対応	
PowerState プロパティで OPOS_PS_OFF_OFFLINE が通知される状態	USB-COM: 電源オフ、切断時 もしくはプリンタエラー時 Bluetooth: プリンタエラー時	

FTP2166000EQ

FTP-POS

POSPrinter OPOS コントロール機能仕様書

6. 7. 6. フォント

(※プロパティの値は、MapMode プロパティが PTR_MM_DOTS(1)の場合)

印字幅	RecLineChars プロパティ	RecLineHeight プロパティ	RecSidewaysMaxChars プロパティ	フォント
384ドット	32	24	160(全角 80)	12×24ドット
	48	16	240(全角 120)	8×16ドット

6. 7. 7. 備考

- ・ ClaimDevice メソッド実行時、*Timeout* パラメーターとは別に最大約 3000 ミリ秒の接続待機時間がかかります。
- ・ Bluetooth インターフェース使用時、電源オフや通信切断からの復帰時に自動再接続は行いません。
ReleaseDevice メソッドおよび ClaimDevice メソッドにより再接続して下さい。
- ・ マーク未検出エラーが発生した場合、用紙ジャムの原因を取り除く、もしくはカバークローズすることで復帰します。
- ・ CheckHealth メソッドで *Level* パラメーターに OPOS_CH_INTERNAL(1)を指定した場合、接続状態および電源状態に関わらず、CheckHealthText プロパティに“Internal HCheck: Successful”を設定します。

6. 8. FTP-62HDSL100

6. 8. 1. 印字幅

印字幅
384 ドット
576 ドット
832 ドット

6. 8. 2. 解像度

解像度
203dpi

6. 8. 3. 用紙タイプ

タイプ	用紙種類
1	設定禁止
2	設定禁止
3	TF50KS-E45
4	PD150R
5	PD160R TP50KJ-R
6	設定禁止
7	HA220AA
8	設定禁止
9	設定禁止
10	設定禁止
11	設定禁止
12	設定禁止

6. 8. 4. 印刷可能なバーコード、2D コード

バーコード、2D コード	対応	備考
UPC-A	✓	
UPC-E	✓	
JAN(EAN)13	✓	
JAN(EAN)8	✓	
CODE39	✓	
ITF	✓	
CODABAR	✓	
CODE128	✓	
QR Code	✓	
MaxiCode	✓	
PDF417	✓	
GS1 Databar	✓	

FTP2166000EQ

FTP-POS

POSPrinter OPOS コントロール機能仕様書

6. 8. 5. 機能

(※プロパティの値は、MapMode プロパティが PTR_MM_DOTS の場合)

機能	対応範囲	備考
ボード	非対応	
反転文字	対応	
横倍率	1～4	
縦倍率	1～4	
アンダーライン	1～2	
用紙カット	フルカット パーシャルカット	
フィードと用紙カット	フルカット パーシャルカット	
エスケープシーケンスによるビットマップ印刷	対応	拡張不揮発性メモリ搭載モデルのみ対応。
中央寄せ	対応	
右寄せ	対応	
バーコードの HRI 文字	対応	
印刷可能な文字		プリンタモデルによって異なります。
‘€’ の印刷	対応	
RotatePrint メソッドの左右 90 度回転時の最大印字幅	1144 ドット	
レシートの左 90 度回転	対応	
レシートの右 90 度回転	対応	
レシートの 180 度回転	対応	
ニアエンドセンサー	対応	
RotateSpecial プロパティ	PTR_RP_NORMAL PTR_RP_RIGHT90 PTR_RP_LEFT90 PTR_RP_ROTATE180	
PrintBitmap メソッドで印刷可能な最大高さ	1023 ドット	左右 90 度回転時の最大高さは RecLineWidth プロパティの値です。
SetBitmap メソッドで登録可能な高さ	512 ドット	
RecLineWidth プロパティ	印字幅 832 ドット:832 印字幅 576 ドット:576 印字幅 384 ドット:384	
左右 90 度回転時に PrintBarCode メソッドで width に設定可能な最大値	864 ドット	
ファームウェアのアップデートおよびバージョン比較	非対応	
PowerState プロパティで OPOS_PS_OFF_OFFLINE が通知される状態	USB-COM: 電源オフもしくは切断時 RS-232C: 電源オフ、切断時、もしくはプリンタエラー時	

FTP2166000EQ

FTP-POS

POSPrinter OPOS コントロール機能仕様書

6. 8. 6. フォント

(※プロパティの値は、MapMode プロパティが PTR_MM_DOTS(1)の場合)

印字幅	RecLineChars プロパティ	RecLineHeight プロパティ	RecSidewaysMaxChars プロパティ	フォント
832 ドット	69	24	95(全角 47)	12×24ドット
	104	16	143(全角 71)	8×16ドット
576 ドット	48	24	95(全角 47)	12×24ドット
	72	16	143(全角 71)	8×16ドット
384 ドット	32	24	95(全角 47)	12×24ドット
	48	16	143(全角 71)	8×16ドット

6. 8. 7. 備考

- ・プリンタモデルによってはニアエンドセンサーがデフォルトで無効になっています。有効にする場合 DirectIO メソッドの PTR_DIO_SEND_BINARY_DATA で FS 9 コマンドもしくは GS (E pL pH fn a b8～b1 (fn=3)を送信して下さい。コマンドの詳細はプリンタの製品仕様書もしくはコマンド仕様書をご参照下さい。

6. 9. FTP-62EDSL200

6. 9. 1. 印字幅

印字幅
1152 ドット
1696 ドット

6. 9. 2. 解像度

解像度
203dpi

6. 9. 3. 用紙タイプ

タイプ	用紙種類
1	設定禁止
2	設定禁止
3	TF50KS-E45
4	PD150R PD160R
5	設定禁止
6	設定禁止
7	設定禁止
8	設定禁止
9	設定禁止
10	設定禁止
11	設定禁止
12	設定禁止

6. 9. 4. 印刷可能なバーコード、2D コード

バーコード、2D コード	対応	備考
UPC-A		
UPC-E		
JAN(EAN)13		
JAN(EAN)8		
CODE39		
ITF		
CODABAR		
CODE128		
QR Code		
MaxiCode		
PDF417		
GS1 Databar		

FTP2166000EQ

FTP-POS

POSPrinter OPOS コントロール機能仕様書

6. 9. 5. 機能

(※プロパティの値は、MapMode プロパティが PTR_MM_DOTS の場合)

機能	対応範囲	備考
ボード	非対応	
反転文字	対応	
横倍率	1～4	
縦倍率	1～4	
アンダーライン	1～2	
用紙カット	非対応	
フィードと用紙カット	非対応	
エスケープシーケンスによるビットマップ印刷	非対応	
中央寄せ	非対応	
右寄せ	非対応	
バーコードの HRI 文字	非対応	
印刷可能な文字		プリンタモデルによって異なります。
‘€’ の印刷	対応	
RotatePrint メソッドの左右 90 度回転時の最大印字幅	－	
レシートの左 90 度回転	非対応	
レシートの右 90 度回転	非対応	
レシートの 180 度回転	対応	
ニアエンドセンサー	対応	
RotateSpecial プロパティ	－	
PrintBitmap メソッドで印刷可能な最大高さ	1023 ドット	左右 90 度回転時の最大高さは RecLineWidth プロパティの値です。
SetBitmap メソッドで登録可能な高さ		
RecLineWidth プロパティ	印字幅 1152 ドット:1152 印字幅 1696 ドット:1696	
左右 90 度回転時に PrintBarcode メソッドで width に設定可能な最大値	－	
ファームウェアのアップデートおよびバージョン比較	非対応	
PowerState プロパティで OPOS_PS_OFF_OFFLINE が通知される状態	USB-COM: 電源オフもしくは切断時 RS-232C: 電源オフ、切断時、もしくはプリンタエラー時	

6. 9. 6. フォント

(※プロパティの値は、MapMode プロパティが PTR_MM_DOTS(1)の場合)

印字幅	RecLineChars プロパティ	RecLineHeight プロパティ	RecSidewaysMaxChars プロパティ	フォント
1696 ドット	96	24	–	12 × 24 ドット
	144	16	–	8 × 16 ドット
1152 ドット	96	24	–	12 × 24 ドット
	144	16	–	8 × 16 ドット

6. 9. 7. 備考

- ・プリンタモデルによってはニアエンドセンサーがデフォルトで無効になっています。有効にする場合 DirectIO メソッドの PTR_DIO_SEND_BINARY_DATA で FS 9 コマンドもしくは GS (E pL pH fn a b8～b1 (fn=3)を送信して下さい。コマンドの詳細はプリンタの製品仕様書もしくはコマンド仕様書をご参照下さい。

7. POS for .NET

当社 OPOS を POS for .NET 上で使用することが可能です。

7. 1. インストール

7. 1. 1. インストール条件

■ 動作環境

- OS : Microsoft Windows 7 Service Pack 1 / 8.1 / 10 / 11 32bit / 64bit オペレーティングシステム
- CPU : 各オペレーティングシステムの推奨値に従ってください。
- RAM : 各オペレーティングシステムの推奨値に従ってください。
- ストレージ : 10MB 以上の空き領域
- Microsoft .NET Framework 4.0 以上

7. 1. 2. インストール手順

インストールには管理者権限が必要です。

1. Microsoft POS for .NET のインストール

下記の Web サイトから Microsoft Point of Service for .NET v1.14.1 をダウンロードし、インストールします。

<https://www.microsoft.com/en-us/download/details.aspx?id=55758>

2. OPOS Common Control Object のインストール

下記の Web サイトから 1.14.001 CCO Installer をダウンロードし、インストールします。

http://monroecs.com/oposccos_current.htm

3. OPOS コントロールのインストール

[2. 4. インストール手順]を参照し、OPOS コントロールのインストールおよび POS プリンタの設定変更を行います。

4. 64bit OS 用プラグインのインストール

64bit OS の場合、POSforDotNETPluginX64.msi をインストールします。

7. 1. 3. アンインストール手順

1. コントロールパネルを開き、「プログラムと機能」を選択して実行します。

2. 64bit OS 用プラグインのアンインストール

64bit OS の場合、FTP2166000EQ POS for .NET Plugin x64 をアンインストールします。

CCO を使用する他社製 OPOS をインストールしている場合、64bit OS 用プラグインをアンインストール後に CCO をアンインストールし、CCO を再インストールして下さい。

3. OPOS コントロールのアンインストール

[2. 5. アンインストール手順]を参照し、OPOS コントロールをアンインストールします。

4. OPOS Common Control Object のアンインストール

OposCCOs をアンインストールします。

CCO を使用する他社製 OPOS をインストールしている場合、アンインストールしないで下さい。

5. Microsoft POS for .NET のアンインストール

Microsoft POS for .NET 1.14.1 をアンインストールします。

他社製 POS for .NET をインストールしている場合、アンインストールしないで下さい。

FTP2166000EQ

FTP-POS

POSPrinter OPOS コントロール機能仕様書

7. 2. 注意事項

他社製 OPOS もしくは POS for .NET 製品がインストールされた環境では正常動作しない場合がございます。

POS for .NET 固有の機能は使用できません。

POSExplorer API によるデバイス検出時、POSExplorer.GetDevices(DeviceCompatibilities compatibility)のパラメーター compatibility には、DeviceCompatibilities.Opos もしくは DeviceCompatibilities.OposAndCompatibilityLevel1 を指定して下さい。

OPOS V1.9 で定義されていない機能は使用できません。[4. OPOS インターフェース仕様(プリンタ)]を参照して下さい。

プラグアンドプレイには対応していません。

7. 3. OPOS との相違

7. 3. 1. 定数と列挙体

OPOS の定数と POS for .NET の列挙体の対応は下記のとおりです。

一部は列挙体ではなく定数です。

本製品では使用できない定数も含まれます。

OPOS の定数	POS for .NET の列挙体		
	クラス名	パラメーター	
		型	名前
OPOS_S_CLOSED	ControlState	enum	Closed
OPOS_S_IDLE	ControlState	enum	Idle
OPOS_S_BUSY	ControlState	enum	Busy
OPOS_S_ERROR	ControlState	enum	Error
OPOS_SUCCESS	ErrorCode	enum	Success
	ErrorCode	enum	Unspecified
OPOS_E_CLOSED	ErrorCode	enum	Closed
OPOS_E_CLAIMED	ErrorCode	enum	Claimed
OPOS_E_NOTCLAIMED	ErrorCode	enum	NotClaimed
OPOS_E_NOSERVICE	ErrorCode	enum	NoService
OPOS_E_DISABLED	ErrorCode	enum	Disabled
OPOS_E_ILLEGAL	ErrorCode	enum	Illegal
OPOS_E_NOHARDWARE	ErrorCode	enum	NoHardware
OPOS_E_OFFLINE	ErrorCode	enum	Offline
OPOS_E_NOEXIST	ErrorCode	enum	NoExist
OPOS_E_EXISTS	ErrorCode	enum	Exists
OPOS_E_FAILURE	ErrorCode	enum	Failure
OPOS_E_TIMEOUT	ErrorCode	enum	Timeout
OPOS_E_BUSY	ErrorCode	enum	Busy
OPOS_E_EXTENDED	ErrorCode	enum	Extended
OPOS_CH_INTERNAL	HealthCheckLevel	enum	Internal
OPOS_CH_EXTERNAL	HealthCheckLevel	enum	External
OPOS_CH_INTERACTIVE	HealthCheckLevel	enum	Interactive
OPOS_PR_NONE	PowerReporting	enum	None
OPOS_PR_STANDARD	PowerReporting	enum	Standard
OPOS_PR_ADVANCED	PowerReporting	enum	Advanced
OPOS_PN_DISABLED	PowerNotification	enum	Disabled
OPOS_PN_ENABLED	PowerNotification	enum	Enabled
OPOS_PS_UNKNOWN	PowerState	enum	Unknown
OPOS_PS_ONLINE	PowerState	enum	Online
OPOS_PS_OFF	PowerState	enum	Off
OPOS_PS_OFFLINE	PowerState	enum	Offline

FTP2166000EQ

FTP-POS

POSPrinter OPOS コントロール機能仕様書

OPOS の定数	POS for .NET の列挙体		
	クラス名	パラメーター	
		型	名前
OPOS_PS_OFF_OFFLINE	PowerState	enum	OffOffline
OPOS_EL_OUTPUT	ErrorLocus	enum	Output
OPOS_EL_INPUT	ErrorLocus	enum	Input
OPOS_EL_INPUT_DATA	ErrorLocus	enum	InputData
OPOS_ER_RETRY	ErrorResponse	enum	Retry
OPOS_ER_CLEAR	ErrorResponse	enum	Clear
OPOS_ER_CONTINUEINPUT	ErrorResponse	enum	ContinueInput
OPOS_SUE_POWER_ONLINE	PosCommon	int	StatusPowerOnline
OPOS_SUE_POWER_OFF	PosCommon	int	StatusPowerOff
OPOS_SUE_POWER_OFFLINE	PosCommon	int	StatusPowerOffline
OPOS_SUE_POWER_OFF_OFFLINE	PosCommon	int	StatusPowerOffOffline
OPOS_FOREVER	PosCommon	int	WaitForever
OPOS_BC_NONE	BinaryConversion	enum	None
OPOS_BC_NIBBLE	BinaryConversion	enum	Nibble
OPOS_BC_DECIMAL	BinaryConversion	enum	Decimal
	PrinterStation	enum	None
PTR_S_JOURNAL	PrinterStation	enum	Journal
PTR_S_RECEIPT	PrinterStation	enum	Receipt
PTR_S_SLIP	PrinterStation	enum	Slip
PTR_S_JOURNAL_RECEIPT	PrinterStation	enum	TwoReceiptJournal
PTR_S_JOURNAL_SLIP	PrinterStation	enum	TwoSlipJournal
PTR_S_RECEIPT_SLIP	PrinterStation	enum	TwoSlipReceipt
PTR_TWO_RECEIPT_JOURNAL	PrinterStation	enum	TwoReceiptJournal
PTR_TWO_SLIP_JOURNAL	PrinterStation	enum	TwoSlipJournal
PTR_TWO_SLIP_RECEIPT	PrinterStation	enum	TwoSlipReceipt
	CharacterSetCapability	enum	Numeric
PTR_CCS_ALPHA	CharacterSetCapability	enum	Alpha
PTR_CCS_ASCII	CharacterSetCapability	enum	Ascii
PTR_CCS_KANA	CharacterSetCapability	enum	Kana
PTR_CCS_KANJI	CharacterSetCapability	enum	Kanji
PTR_CCS_UNICODE	CharacterSetCapability	enum	Unicode
PTR_CS_UNICODE	PosPrinter	System.Int32	CharacterSetUnicode

OPOS の定数	POS for .NET の列挙体		
	クラス名	パラメーター	
		型	名前
PTR_CS_ASCII	PosPrinter	System.Int32	CharacterSetAscii
PTR_CS_WINDOWS		System.Int32	999 を指定して下さい
PTR_CS_ANSI	PosPrinter	System.Int32	CharacterSetAnsi
PTR_EL_NONE	PrinterErrorLevel	enum	None
PTR_EL_RECOVERABLE	PrinterErrorLevel	enum	Recoverable
PTR_EL_FATAL	PrinterErrorLevel	enum	Fatal
PTR_MM_DOTS	MapMode	enum	Dots
PTR_MM_TWIPS	MapMode	enum	Twips
PTR_MM_ENGLISH	MapMode	enum	English
PTR_MM_METRIC	MapMode	enum	Metric
	PrinterColors	enum	None
PTR_COLOR_PRIMARY	PrinterColors	enum	Primary
PTR_COLOR_CUSTOM1	PrinterColors	enum	Custom1
PTR_COLOR_CUSTOM2	PrinterColors	enum	Custom2
PTR_COLOR_CUSTOM3	PrinterColors	enum	Custom3
PTR_COLOR_CUSTOM4	PrinterColors	enum	Custom4
PTR_COLOR_CUSTOM5	PrinterColors	enum	Custom5
PTR_COLOR_CUSTOM6	PrinterColors	enum	Custom6
PTR_COLOR_CYAN	PrinterColors	enum	Cyan
PTR_COLOR_MAGENTA	PrinterColors	enum	Magenta
PTR_COLOR_YELLOW	PrinterColors	enum	Yellow
PTR_COLOR_FULL	PrinterColors	enum	Full
PTR_CART_UNKNOWN	PrinterCartridgeStates	enum	Unknown
PTR_CART_OK	PrinterCartridgeStates	enum	OK
PTR_CART_REMOVED	PrinterCartridgeStates	enum	Removed
PTR_CART_EMPTY	PrinterCartridgeStates	enum	Empty
PTR_CART_NEAREND	PrinterCartridgeStates	enum	NearEnd
PTR_CART_CLEANING	PrinterCartridgeStates	enum	Cleaning
PTR_CN_DISABLED	PrinterCartridgeNotify	enum	Disabled
PTR_CN_ENABLED	PrinterCartridgeNotify	enum	Enabled
PTR_CP_FULLCUT	PosPrinter	System.Int32	PrinterCutPaperFullCut
PTR_BC_LEFT	PosPrinter	System.Int32	PrinterBarCodeLeft
PTR_BC_CENTER	PosPrinter	System.Int32	PrinterBarCodeCenter
PTR_BC_RIGHT	PosPrinter	System.Int32	PrinterBarCodeRight
PTR_BC_TEXT_NONE	BarCodeTextPosition	enum	None

OPOS の定数	POS for .NET の列挙体		
	クラス名	パラメーター	
		型	名前
PTR_BC_TEXT_ABOVE	BarCodeTextPosition	enum	Above
PTR_BC_TEXT_BELOW	BarCodeTextPosition	enum	Below
	BarCodeSymbology	enum	Unknown
PTR_BCS_UPCA	BarCodeSymbology	enum	Upca
PTR_BCS_UPCE	BarCodeSymbology	enum	Upce
PTR_BCS_JAN8	BarCodeSymbology	enum	EanJan8
PTR_BCS_EAN8			
PTR_BCS_JAN13	BarCodeSymbology	enum	EanJan13
PTR_BCS_EAN13			
PTR_BCS_TF	BarCodeSymbology	enum	TF
PTR_BCS_ITF	BarCodeSymbology	enum	Itf
PTR_BCS_Codabar	BarCodeSymbology	enum	Codabar
PTR_BCS_Code39	BarCodeSymbology	enum	Code39
PTR_BCS_Code93	BarCodeSymbology	enum	Code93
PTR_BCS_Code128	BarCodeSymbology	enum	Code128
PTR_BCS_UPCA_S	BarCodeSymbology	enum	Upcas
PTR_BCS_UPCE_S	BarCodeSymbology	enum	Upces
PTR_BCS_UPCD1	BarCodeSymbology	enum	Upcd1
PTR_BCS_UPCD2	BarCodeSymbology	enum	Upcd2
PTR_BCS_UPCD3	BarCodeSymbology	enum	Upcd3
PTR_BCS_UPCD4	BarCodeSymbology	enum	Upcd4
PTR_BCS_UPCD5	BarCodeSymbology	enum	Upcd5
PTR_BCS_EAN8_S	BarCodeSymbology	enum	Ean8S
PTR_BCS_EAN13_S	BarCodeSymbology	enum	Ean13S
PTR_BCS_EAN128	BarCodeSymbology	enum	Ean128
PTR_BCS_OCRA	BarCodeSymbology	enum	Ocra
PTR_BCS_OCRB	BarCodeSymbology	enum	Ocrb
PTR_BCS_Code128_Parsed	BarCodeSymbology	enum	Rss14
PTR_BCS_RSS14	BarCodeSymbology	enum	RssExpanded
PTR_BCS_RSS_EXPANDED	BarCodeSymbology	enum	Cca
	BarCodeSymbology	enum	Ccb
	BarCodeSymbology	enum	Ccc
PTR_BCS_PDF417	BarCodeSymbology	enum	Pdf417
PTR_BCS_MAXICODE	BarCodeSymbology	enum	Maxicode
PTR_BCS_OTHER	BarCodeSymbology	enum	Other
PTR_BM_ASIS	PosPrinter	System.Int32	PrinterBitmapAsIs
PTR_BM_LEFT	PosPrinter	System.Int32	PrinterBitmapLeft
PTR_BM_CENTER	PosPrinter	System.Int32	PrinterBitmapCenter
PTR_BM_RIGHT	PosPrinter	System.Int32	PrinterBitmapRight

OPOS の定数	POS for .NET の列挙体		
	クラス名	パラメーター	
		型	名前
PTR_RP_NORMAL	PrintRotation	enum	Normal
PTR_RP_RIGHT90	PrintRotation	enum	Right90
PTR_RP_LEFT90	PrintRotation	enum	Left90
PTR_RP_ROTATE180	PrintRotation	enum	Rotate180
PTR_RP_BARCODE	PrintRotation	enum	Barcode
PTR_RP_BITMAP	PrintRotation	enum	Bitmap
PTR_L_TOP	PrinterLogoLocation	enum	Top
PTR_L_BOTTOM	PrinterLogoLocation	enum	Bottom
PTR_TP_TRANSACTION	PrinterTransactionControl	enum	Transaction
PTR_TP_NORMAL	PrinterTransactionControl	enum	Normal
	PrinterMarkFeeds	enum	None
PTR_MF_TO_TAKEUP	PrinterMarkFeeds	enum	Takeup
PTR_MF_TO_CUTTER	PrinterMarkFeeds	enum	Cutter
PTR_MF_TO_CURRENT_TOF	PrinterMarkFeeds	enum	CurrentTopOfForm
PTR_MF_TO_NEXT_TOF	PrinterMarkFeeds	enum	NextTopOfForm
PTR_PS_UNKNOWN	PrinterSide	enum	Unknown
PTR_PS_SIDE1	PrinterSide	enum	Side1
PTR_PS_SIDE2	PrinterSide	enum	Side2
PTR_PS_OPPOSITE	PrinterSide	enum	Opposite
PTR_SUE_COVER_OPEN	PrinterStatus	enum	CoverOpen
PTR_SUE_COVER_OK	PrinterStatus	enum	CoverOK
PTR_SUE_JRN_EMPTY	PrinterStatus	enum	JournalEmpty
PTR_SUE_JRN_NEAREMPTY	PrinterStatus	enum	JournalNearEmpty
PTR_SUE_JRN_PAPEROK	PrinterStatus	enum	JournalPaperOK
PTR_SUE_REC_EMPTY	PrinterStatus	enum	ReceiptEmpty
PTR_SUE_REC_NEAREMPTY	PrinterStatus	enum	ReceiptNearEmpty
PTR_SUE_REC_PAPEROK	PrinterStatus	enum	ReceiptPaperOK
PTR_SUE_SLP_EMPTY	PrinterStatus	enum	SlipEmpty
PTR_SUE_SLP_NEAREMPTY	PrinterStatus	enum	SlipNearEmpty
PTR_SUE_SLP_PAPEROK	PrinterStatus	enum	SlipPaperOK
PTR_SUE_JRN_CARTRIDGE_EMPTY	PrinterStatus	enum	JournalCartridgeEmpty
PTR_SUE_JRN_CARTRIDGE_NEAREMPTY	PrinterStatus	enum	JournalCartridgeNearEmpty
PTR_SUE_JRN_HEAD_CLEANING	PrinterStatus	enum	JournalHeadCleaning
PTR_SUE_JRN_CARTRIDGE_OK	PrinterStatus	enum	JournalCartridgeOK
PTR_SUE_REC_CARTRIDGE_EMPTY	PrinterStatus	enum	ReceiptCartridgeEmpty
PTR_SUE_REC_CARTRIDGE_NEAREMPTY	PrinterStatus	enum	ReceiptCartridgeNearEmpty

OPOS の定数	POS for .NET の列挙体		
	クラス名	パラメーター	
		型	名前
PTR_SUE_REC_HEAD_CLEANING	PrinterStatus	enum	ReceiptHeadCleaning
PTR_SUE_REC_CARTRIDGE_OK	PrinterStatus	enum	ReceiptCartridgeOK
PTR_SUE_SLP_CARTRIDGE_EMPTY	PrinterStatus	enum	SlipCartridgeEmpty
PTR_SUE_SLP_CARTRIDGE_NEAREMPTY	PrinterStatus	enum	SlipCartridgeNearEmpty
PTR_SUE_SLP_HEAD_CLEANING	PrinterStatus	enum	SlipHeadCleaning
PTR_SUE_SLP_CARTRIDGE_OK	PrinterStatus	enum	SlipCartridgeOK
PTR_SUE_JRN_COVER_OPEN	PrinterStatus	enum	JournalCoverOpen
PTR_SUE_JRN_COVER_OK	PrinterStatus	enum	JournalCoverOK
PTR_SUE_REC_COVER_OPEN	PrinterStatus	enum	ReceiptCoverOpen
PTR_SUE_REC_COVER_OK	PrinterStatus	enum	ReceiptCoverOK
PTR_SUE_SLP_COVER_OPEN	PrinterStatus	enum	SlipCoverOpen
PTR_SUE_SLP_COVER_OK	PrinterStatus	enum	SlipCoverOK
PTR_SUE_IDLE	PrinterStatus	enum	Idle
OPOS_EPTR_COVER_OPEN	PosPrinter	System.Int32	ExtendedErrorCoverOpen
OPOS_EPTR_JRN_EMPTY	PosPrinter	System.Int32	ExtendedErrorJrnEmpty
OPOS_EPTR_REC_EMPTY	PosPrinter	System.Int32	ExtendedErrorRecEmpty
OPOS_EPTR_SLP_EMPTY	PosPrinter	System.Int32	ExtendedErrorSlpEmpty
OPOS_EPTR_SLP_FORM	PosPrinter	System.Int32	ExtendedErrorSlpForm
OPOS_EPTR_TOOBIG	PosPrinter	System.Int32	ExtendedErrorTooBig
OPOS_EPTR_BADFORMAT	PosPrinter	System.Int32	ExtendedErrorBadFormat
OPOS_EPTR_JRN_CARTRIDGE_REMOVED	PosPrinter	System.Int32	ExtendedErrorJrnCartridgeRemoved
OPOS_EPTR_JRN_CARTRIDGE_EMPTY	PosPrinter	System.Int32	ExtendedErrorJrnCartridgeEmpty
OPOS_EPTR_JRN_HEAD_CLEANING	PosPrinter	System.Int32	ExtendedErrorJrnHeadCleaning
OPOS_EPTR_REC_CARTRIDGE_REMOVED	PosPrinter	System.Int32	ExtendedErrorRecCartridgeRemoved
OPOS_EPTR_REC_CARTRIDGE_EMPTY	PosPrinter	System.Int32	ExtendedErrorRecCartridgeEmpty
OPOS_EPTR_REC_HEAD_CLEANING	PosPrinter	System.Int32	ExtendedErrorRecHeadCleaning
OPOS_EPTR_SLP_CARTRIDGE_REMOVED	PosPrinter	System.Int32	ExtendedErrorSlpCartridgeRemoved
OPOS_EPTR_SLP_CARTRIDGE_EMPTY	PosPrinter	System.Int32	ExtendedErrorSlpCartridgeEmpty
OPOS_EPTR_SLP_HEAD_CLEANING	PosPrinter	System.Int32	ExtendedErrorSlpHeadCleaning

独自の定数

OPOS の定数	型	値
OPOS_FCL_EPTR_POWERSUPPLY	System.Int32	10001
OPOS_FCL_EPTR_DATA	System.Int32	10002
OPOS_FCL_EPTR_CUTTER	System.Int32	10003
OPOS_FCL_EPTR_HARDWARE	System.Int32	10004
OPOS_FCL_EPTR_HEADHOT	System.Int32	10005
OPOS_FCL_EPTR_MARK	System.Int32	10006

OPOS の定数	型	値
OPOS_FCL_EPTR_PRESENTER	System.Int32	10007
OPOS_FCL_EFIRMWARE_DIFFERENT_BOOT	System.Int32	11001
OPOS_FCL_EFIRMWARE_DIFFERENT_MAIN	System.Int32	11002
OPOS_FCL_EFIRMWARE_DIFFERENT_BOOTMAIN	System.Int32	11003
OPOS_FCL_PTR_DIO_SET_QR_ENCODING	System.Int32	5
OPOS_FCL_PTR_DIO_SYSTEM_LOCALE	System.Int32	0
OPOS_FCL_PTR_DIO_UTF8	System.Int32	1
OPOS_FCL_DIE_PTR_PRESENTER_ERROR	System.Int32	2
OPOS_FCL_DIE_PTR_PRESENTER_OK	System.Int32	3
OPOS_FCL_DIE_PTR_LOW_BATTERY	System.Int32	4
OPOS_FCL_DIE_PTR_BATTERY_OK	System.Int32	5

PrintBarcode メソッドの定数

バーコードの種類	OPOS の定数	値
MaxiCode(Mode 3)	PTR_BCS_OTHER	BarCodeSymbology.Other
MaxiCode(Mode 4, Mode 5)	PTR_BCS_OTHER+1	BarCodeSymbology.Other+1
MaxiCode(Mode 6)	PTR_BCS_OTHER+2	BarCodeSymbology.Other+2
QRCODE	PTR_BCS_OTHER+3	BarCodeSymbology.Other+3
GS1DataBar Omnidirectional	PTR_BCS_OTHER+4	BarCodeSymbology.Other+4
GS1DataBar Truncated	PTR_BCS_OTHER+5	BarCodeSymbology.Other+6
GS1DataBar Stacked	PTR_BCS_OTHER+6	BarCodeSymbology.Other+6
GS1DataBar Stacked Omnidirectional	PTR_BCS_OTHER+7	BarCodeSymbology.Other+7
GS1DataBar Limited	PTR_BCS_OTHER+8	BarCodeSymbology.Other+8
GS1DataBar Expanded	PTR_BCS_OTHER+9	BarCodeSymbology.Other+9
GS1DataBar Expanded Stacked	PTR_BCS_OTHER+10	BarCodeSymbology.Other+10

7. 3. 2. ILegacyControlObject インターフェース

本製品は ILegacyControlObject インターフェースに対応しているため、POS for .NET から下記のプロパティを使用することができます。

BinaryConversion

ControlObjectDescription

ControlObjectVersion

7. 3. 3. BinaryConversion プロパティ

BinaryConversion プロパティを None 以外で使用する場合、下記のように指定して下さい。

例: “1 あ”を Nibble で指定する	
OPOS	string text = “3182:0”; と指定する。

FTP2166000EQ

FTP-POS

POSPrinter OPOS コントロール機能仕様書

POS for .NET (C#)	<pre>string text = "1" + "¥x82¥xA0"; と指定する。 string text = "¥x31" + "¥x82¥xA0"; string text = "¥x31" + "¥x82" + "¥xA0"; でもよい。</pre>
POS for .NET (VB)	<pre>Dim text As String text = "1" + ChrW(&H82) + ChrW(&HA0) と指定する。</pre>

7. 3. 4. Open メソッド

メソッドのパラメーターはありません

例外スロー時、POSControlException.ErrorCode の値が OPOS の OpenResult プロパティの取り得る値となる場合があります。

7. 3. 5. Claim メソッド

OPOS の ClaimDevice メソッドに相当します。ClaimDevice メソッドを参照して下さい。

7. 3. 6. CheckHealth メソッド

CheckHealth メソッドのパラメーター level に HealthCheckLevel.Interactive を指定して実行時に表示されるダイアログは OPOS の定数を使用した表記です。適宜読み替えて下さい。

7. 3. 7. Close メソッド

クローズ状態で Close メソッド実行時、PosControlException をスローしません。

プロセス起動後、一度もオープンしていない状態で Close メソッド実行時、ArgumentNullException をスローする場合があります。

7. 3. 8. DirectIO メソッド

パラメーター *obj* を String クラスオブジェクトで指定して下さい。

結果はパラメーターではなく戻り値 DirectIOData 構造体で確認して下さい。

8. オープンソースソフトウェア

本製品は下記のオープンソースソフトウェアを使用しています。

8. 1. OPOS Common Control Objects

<http://monroeecs.com/index.htm>

Copyright 2015 Monroe Consulting Services, Inc.

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License");
you may not use this file except in compliance with the License.
You may obtain a copy of the License at

<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software
distributed under the License is distributed on an "AS IS" BASIS,
WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied.
See the License for the specific language governing permissions and
limitations under the License.

8. 2. Apache License Version 2.0

Apache License

Version 2.0, January 2004

<http://www.apache.org/licenses/>

TERMS AND CONDITIONS FOR USE, REPRODUCTION, AND DISTRIBUTION

1. Definitions.

"License" shall mean the terms and conditions for use, reproduction, and distribution as defined by Sections 1 through 9 of this document.

"Licensor" shall mean the copyright owner or entity authorized by the copyright owner that is granting the License.

"Legal Entity" shall mean the union of the acting entity and all other entities that control, are controlled by, or are under common control with that entity. For the purposes of this definition, "control" means (i) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (ii) ownership of fifty percent (50%) or more of the outstanding shares, or (iii) beneficial ownership of such entity.

"You" (or "Your") shall mean an individual or Legal Entity exercising permissions granted by this License.

"Source" form shall mean the preferred form for making modifications, including but not limited to software source code, documentation source, and configuration files.

"Object" form shall mean any form resulting from mechanical transformation or translation of a Source form, including but not limited to compiled object code, generated documentation, and conversions to other media types.

"Work" shall mean the work of authorship, whether in Source or Object form, made available under the License, as indicated by a copyright notice that is included in or attached to the work (an example is provided in the Appendix below).

"Derivative Works" shall mean any work, whether in Source or Object form, that is based on (or derived from) the Work and for which the editorial revisions, annotations, elaborations, or other modifications represent, as a whole, an original work of authorship. For the purposes of this License, Derivative Works shall not include works that remain separable from, or merely link (or bind by name) to the interfaces of, the Work and Derivative Works thereof.

"Contribution" shall mean any work of authorship, including the original version of the Work and any modifications or additions to that Work or Derivative Works thereof, that is intentionally submitted to Licensor for inclusion in the Work by the copyright owner or by an individual or Legal Entity authorized to submit on behalf of the copyright owner. For the purposes of this definition, "submitted" means any form of electronic, verbal, or written communication sent to the Licensor or its representatives, including but not limited to communication on electronic mailing lists, source code control systems, and issue tracking systems that are managed by, or on behalf of, the Licensor for the purpose of discussing and improving the Work, but excluding communication that is conspicuously marked or otherwise designated in writing by the copyright owner as "Not a Contribution."

"Contributor" shall mean Licensor and any individual or Legal Entity on behalf of whom a Contribution has been received by Licensor and subsequently incorporated within the Work.

2. Grant of Copyright License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable copyright license to reproduce, prepare Derivative Works of, publicly display, publicly perform, sublicense, and distribute the Work and such Derivative Works in Source or Object form.

3. Grant of Patent License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable (except as stated in this section) patent license to make, have made, use, offer to sell, sell, import, and otherwise transfer the Work, where such license applies

FTP2166000EQ

FTP-POS

POSPrinter OPOS コントロール機能仕様書

only to those patent claims licensable by such Contributor that are necessarily infringed by their Contribution(s) alone or by combination of their Contribution(s) with the Work to which such Contribution(s) was submitted. If You institute patent litigation against any entity (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that the Work or a Contribution incorporated within the Work constitutes direct or contributory patent infringement, then any patent licenses granted to You under this License for that Work shall terminate as of the date such litigation is filed.

4. Redistribution. You may reproduce and distribute copies of the Work or Derivative Works thereof in any medium, with or without modifications, and in Source or Object form, provided that You meet the following conditions:

(a) You must give any other recipients of the Work or Derivative Works a copy of this License; and

(b) You must cause any modified files to carry prominent notices stating that You changed the files; and (c) You must retain, in the Source form of any Derivative Works that You distribute, all copyright, patent, trademark, and attribution notices from the Source form of the Work, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works; and

(d) If the Work includes a "NOTICE" text file as part of its distribution, then any Derivative Works that You distribute must include a readable copy of the attribution notices contained within such NOTICE file, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works, in at least one of the following places: within a NOTICE text file distributed as part of the Derivative Works; within the Source form or documentation, if provided along with the Derivative Works; or, within a display generated by the Derivative Works, if and wherever such third-party notices normally appear. The contents of the NOTICE file are for informational purposes only and do not modify the License. You may add Your own attribution notices within Derivative Works that You distribute, alongside or as an addendum to the NOTICE text from the Work, provided that such additional attribution notices cannot be construed as modifying the License.

You may add Your own copyright statement to Your modifications and may provide additional or different license terms and conditions for use, reproduction, or distribution of Your modifications, or for any such Derivative Works as a whole, provided Your use, reproduction, and distribution of the Work otherwise complies with the conditions stated in this License.

5. Submission of Contributions. Unless You explicitly state otherwise, any Contribution intentionally submitted for inclusion in the Work by You to the Licensor shall be under the terms and conditions of this License, without any additional terms or conditions. Notwithstanding the above, nothing herein shall supersede or modify the terms of any separate license agreement you may have executed with Licensor regarding such Contributions.

6. Trademarks. This License does not grant permission to use the trade names, trademarks, service marks, or product names of the Licensor, except as required for reasonable and customary use in describing the origin of the Work and reproducing the content of the NOTICE file.

7. Disclaimer of Warranty. Unless required by applicable law or agreed to in writing, Licensor provides the Work (and each Contributor provides its Contributions) on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied, including, without limitation, any warranties or conditions of TITLE, NON-INFRINGEMENT, MERCHANTABILITY, or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. You are solely responsible for determining the appropriateness of using or redistributing the Work and assume any risks associated with Your exercise of permissions under this License.

8. Limitation of Liability. In no event and under no legal theory, whether in tort (including negligence), contract, or otherwise, unless required by applicable law (such as deliberate and grossly negligent acts) or agreed to in writing, shall any Contributor be liable to You for damages, including any direct, indirect, special, incidental, or consequential damages of any character arising as a result of this License or out of the use or inability to use the Work (including but not limited to damages for loss of goodwill, work stoppage, computer failure or malfunction, or any and all other

FTP2166000EQ

FTP-POS

POSPrinter OPOS コントロール機能仕様書

commercial damages or losses), even if such Contributor has been advised of the possibility of such damages.

9. Accepting Warranty or Additional Liability. While redistributing the Work or Derivative Works thereof, You may choose to offer, and charge a fee for, acceptance of support, warranty, indemnity, or other liability obligations and/or rights consistent with this License. However, in accepting such obligations, You may act only on Your own behalf and on Your sole responsibility, not on behalf of any other Contributor, and only if You agree to indemnify, defend, and hold each Contributor harmless for any liability incurred by, or claims asserted against, such Contributor by reason of your accepting any such warranty or additional liability.

END OF TERMS AND CONDITIONS

APPENDIX: How to apply the Apache License to your work

To apply the Apache License to your work, attach the following boilerplate notice, with the fields enclosed by brackets "[]" replaced with your own identifying information. (Don't include the brackets!) The text should be enclosed in the appropriate comment syntax for the file format. We also recommend that a file or class name and description of purpose be included on the same "printed page" as the copyright notice for easier identification within third-party archives.

Copyright [yyyy] [name of copyright owner]

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License"); you may not use this file except in compliance with the License.

You may obtain a copy of the License at

<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied.

See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

FTP2166000EQ

FTP-POS

POSPrinter OPOS コントロール機能仕様書

9. 修正履歴

文書図番 A1NC40216-6000EQ		
版数	変更日	変更箇所／変更理由／変更内容
1	20181130	初版リリース
2	20190118	FTP-629DSL350 をサポート。
		プレゼンターをサポート
		DirectIO メソッドに QR コードのエンコーディング設定機能を追加。
		PrintBarCode メソッドにおける QR コード及び PDF417 印刷時のエンコーディングについて追記。
		DirectIOEvent イベントの誤記を修正。
3	20190329	CharacterSet プロパティで PTR_CS_WINDOWS に対応。
		FTP-62HWSL001 をサポート。
		FTP-62GDSDL110、FTP-62GDSDL120、FTP-62GUSL070、FTP-63GUSL070、FTP-64GDSDL130 をサポート。
		PowerState プロパティの説明を追記。
		ResultCodeExtended プロパティの OPOS_FCL_EPTR_MARK の説明を追記。
		CheckHealth メソッドの説明を追記。
		SetBitmap メソッドの説明を追記。
		DirectIOEvent イベントにローバッテリーに関するイベントを追記。
		PowerState プロパティで OPOS_PS_OFF_OFFLINE が通知される状態を追記。
4	20210820	電源オフもしくは未接続後に発生したエラーについての制限事項を追記。
		POS for .NET をサポート。
		CCO に関する制限事項追加。
		ResultCodeExtended プロパティの説明を追記。
5	20211116	DirectIO メソッドによる QR コードのエンコーディング設定と、BinaryConversion プロパティの関連を追記。
		FTP-627DSL440、FTP-629DSL310、FTP-839DSL310、FTP-63GDSDL483、FTP-83GDSDL483 をサポート。
		DirectIO メソッドに QR コードのエンコーディング取得機能を追加。
6	20240612	DirectIO メソッドにバイナリデータ送信機能を追加。
		社名変更。
		FTP-62HDSL100、FTP-62EDSL200 をサポート。

FTP2166000EQ

FTP-POS

POSPrinter OPOS コントロール機能仕様書

10. ドライバ変更履歴

バージョン	変更内容	作成日	圧縮ファイル名
V3.00	製品版リリース	20181130	FTP2166000EQ_FTP-POS_O POSV300.zip
V3.01	FTP-629DSL350 をサポート。 プレゼンターをサポート。	20190118	FTP2166000EQ_FTP-POS_O POSV301.zip
	DirectIO メソッドに PrintBarCode メソッドで QR コード 印刷時のエンコーディング設定機能を追加。		
	CharacterSet プロパティで PTR_CS_WINDOWS に対応。		
	CharacterSet プロパティで 437 指定時、 BinaryConversion プロパティが OPOS_BC_NONE でも CP437 の 0x80~0xFE の文字を印刷可能にした。		
	最大幅に近いサイズの QR コード指定時、エラーとな る問題を修正。		
	PrintNormal メソッド、PrintImmediate メソッド、SetLogo メソッドにおいて、システムロケールおよびスレッドの ロケールにより、エンコード結果が変わる問題を修 正。CharacterSet プロパティによりエンコードするよう に変更。		
	QR コード印刷において、スレッドのロケールにより印 刷結果が異なる場合がある問題を修正。システムロ ケールでエンコードするように修正。		
	PDF417 印刷において、スレッドのロケールにより印刷 結果が異なる場合がある問題を修正。システムロケ ールでエンコードするように修正。		
	CharacterSet プロパティで 437 指定時、SetLogo メソ ッドで CP437 の 0x80 以降の文字を指定すると文字化け する問題を修正。		
	埋め込みデータの送信エスケープシーケンスにおい て、データが置き換わってしまう場合がある問題を修 正。		
	FTP-62GDSL000 で PDF417 に対応。		
	PrintBarCode メソッドで QR コード印刷時、”,” が正しく 指定できない問題を修正。		
V3.02	FTP-62HWSL001 をサポート。	20190329	FTP2166000EQ_FTP-POS_O POSV302.zip
	FTP-62GDSL110、FTP-62GDSL120、 FTP-62GUSL070、FTP-63GUSL070、 FTP-64GDSL130 をサポート。		
	DirectIOEvent イベントにローバッテリーに関するイベ ントを追加。		
V3.03	ドキュメントをドライバセットに同梱。	20200318	FTP2166000EQ_FTP-POS_O POSV303.zip
V3.04	POS for .NET に対応。	20210820	FTP2166000EQ_FTP-POS_O POSV304.zip
	用紙カットエスケープシーケンス、フィードと用紙カット エスケープシーケンスでフルカットが行われない問題 を修正。		

V3.05	FTP-627DSL440 、 FTP-629DSL310 、 FTP-839DSL310 、 FTP-63GDSL483 、 FTP-83GDSL483 をサポート。	20211116	FTP2166000EQ_FTP-POS_O POSV305.zip
	DirectIO メソッドに QR コードのエンコーディング取得 機能を追加。		
	DirectIO メソッドにバイナリデータ送信機能を追加。		
V4.00	社名変更。	20240612	FTP2166000EQ_FTP-POS_O POSV4.00.zip
	FTP-62HDSL100、FTP-62EDSL200 をサポート。		